optimus G LGL21

取扱説明書　詳細版

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、optimus G（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』（付属品）または『取扱説明書（詳細版）』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』（付属品）を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

『取扱説明書』（付属品）では、主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』をご参照ください。

■ 取扱説明書アプリケーション

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［セキュリティ / サポート］▶［取扱説明書］

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。
以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／CDMA／GSM方式は通信上の高い秘話機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

■マナーも携帯！

- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- 本製品はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の本製品の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本製品に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

■周りの人への配慮も大切！

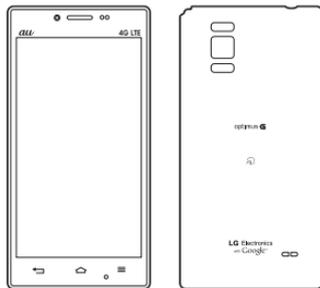
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

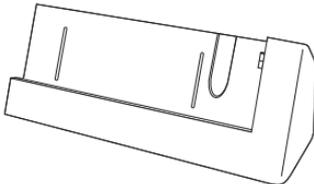
■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

● 本体（電池フタ含む）

● 電池パック（LGL21UAA）

● 卓上ホルダ（LGL21PUA）
- 取り外し可能なPhoneガイド付き

● LG Tag+（2枚）（試供品）

● 設定ガイド

● 取扱説明書

● 保証書

以下のものは同梱されていません。

● イヤホン

● microUSBケーブル

● ACアダプタ

● microSDメモリカード

memo

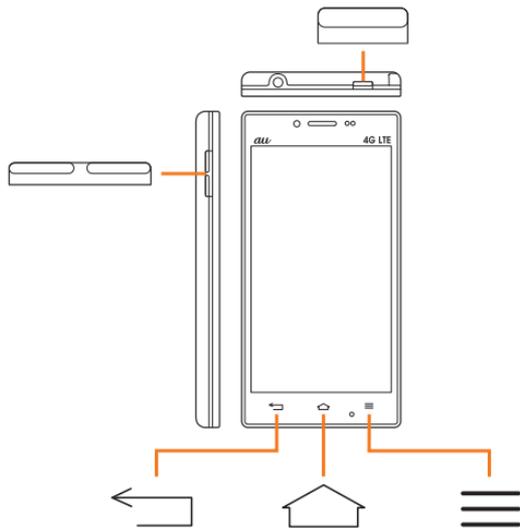
- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品とは違う場合があります。

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］▶［ ］	ホーム画面下部の「 (電話)」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「 」をタップします。
ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］	ホーム画面で「 ☰ 」をタップします。続けて「システム設定」をタップします。

memo

- 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- 本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。
- 本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」および「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書（詳細版）』（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元 ： KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社
輸入元 ： LG Electronics Japan株式会社
製造元 ： LG Electronics Inc.

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

表示	説明
⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図記号	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card(LTE)、周辺機器共通

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでNFC ／おサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（「NFC ／おサイフケータイロック」を設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

禁止

金属製のアクセサリーなどを使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

分解禁止

お客様による分解や改造、修理などをしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

禁止

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が電池パックなどから本体などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

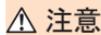
禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。また、テレビアンテナの取り扱いにもご注意ください。

禁止

外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本製品本体から電池パックを外した状態でACアダプタをつながないでください。発火・感電の原因となります。

禁止

本体から電池フタを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

本製品を自動車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより事故の原因となります。本製品は室内の安定した場所での使用を前提とします。

本製品を床に放置しないでください。誤って踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。

お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者の方が「取扱説明書（詳細版）」（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。microUSBケーブルを引っ張るとmicroUSBケーブルが損傷するおそれがあります。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ 本体について

⚠ 警告 **必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

禁止

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

指示

高精度な電子機器の近くでは本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

指示

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

指示

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ（ワンセグ）視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

撮影ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

指示

ごくまれに点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

夏期に閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないでください。本製品が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなったり本製品本体が変形し故障の原因となる場合があります。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

■本製品で使用している各部品の材質は以下のとおりです。

使用箇所		使用材質	表面処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）		PC+GF樹脂	UVコーティング
外装ケース（側面）		PC樹脂	UVコーティング
電池フタ		PC+GF樹脂	UVコーティング
テレビアンテナ		PC+GF樹脂	UVコーティング
電源キー	白	アルミニウム合金	陽極処理
	青	ステンレス鋼	PVDコーティング
音量キー（UP ／ DOWN）	白	アルミニウム合金	陽極処理
	青	ステンレス鋼	PVDコーティング
ディスプレイ		強化ガラス	防汚コーティング
受話口		ステンレス鋼	焼付塗装
アウトカメラレンズ		強化ガラス	-
カメラレンズ飾り		アルミニウム合金	陽極処理
フラッシュ部		PC樹脂	-
赤外線通信部		PC樹脂	-

禁止 キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

禁止 microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止 ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。けがなど事故や破損の原因になります。

指示 テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではテレビアンテナを格納してください。テレビアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

指示 心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定にご注意ください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部などに異物がないかを必ず確かめてください。

禁止 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

禁止 通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■ 電池パックについて

（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠ 危険　必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

電池パックのプラス（+）とマイナス（−）をショートさせないでください。

禁止

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分に確認してから接続してください。

禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解禁止

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

水ぬれ禁止

電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。
誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

指示

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと、直ちに医師の診断を受けてください。
機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

指示

電池パックを本製品本体から取り外すときは、本製品のくぼみに指（爪）を入れ、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

指示

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。
発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。
なお、寿命は使用状態などにより異なります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠ 警告　必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

指示　指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。日本国内家庭用AC100Vを使用してください。

禁止　指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）：AC100V～240V
- DCアダプタ（別売）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示　指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指示　共通DCアダプタ03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

禁止　指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止　接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

禁止　雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

プラグをコンセントから抜く　お手入れをするときには、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や電子回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

指示　電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

指示　車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

プラグをコンセントから抜く　長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。

水ぬれ禁止　水やペットの尿など液体が直接かからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

水ぬれ禁止 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

ぬれ手禁止

指示 充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指示 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

禁止 共通DCアダプタ03（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

禁止 本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ au Micro IC Card(LTE) について

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card(LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠ 注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示 au Micro IC Card(LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

指示 au Micro IC Card(LTE)を使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止 au Micro IC Card(LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止 au Micro IC Card(LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au Micro IC Card(LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Micro IC Card(LTE)のIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止
au Micro IC Card(LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

禁止
au Micro IC Card(LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

水ぬれ禁止
au Micro IC Card(LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

禁止
au Micro IC Card(LTE)のIC（金属）部分を傷つけないでください。故障の原因となります。

禁止
au Micro IC Card(LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

禁止
au Micro IC Card(LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

指示
au Micro IC Card(LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card(LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX5、IPX7相当）を発揮するために、電池フタをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を侵入させたり、電池パックや充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでの電池フタの取り付け／取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れの侵入による故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35％～85％の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、本製品が高温となった場合、本製品本体の保護のため一時的に一部機能を停止することがあります。
- お子様がお使いになる場合は、保護者のかたが『取扱説明書』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 本製品を卓上ホルダに取り付ける際、押しつけたり無理な力を加えないでください。本製品の傷つきおよび接触不良の原因となります。
- 本製品の電源を入れた状態でも充電はできますが充電時間がやや長くなります。

■本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作
- 電池パックを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影した写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊦」が本製品本体の銘板シールに表示されております。本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- テレビ（ワンセグ）視聴中など、テレビアンテナを伸ばしたり、立てた状態で電話に出る場合は、特にテレビアンテナの先端部分が周囲の方々へ危害など及ぼさないよう、またお客様の目に入らないよう取り扱いには十分ご注意ください。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ（ワンセグ）視聴を繰り返し長時間連続作動させた場合、本製品本体の一部が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品に磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- 本製品を永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。本製品そのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材を使用しているものが、ディスプレイに触れると傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- 長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 接続端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のmicroUSBプラグやコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 接続端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口（音声穴）が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。

- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 電池フタ内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、通話時にバックライトがすぐに消灯して、タッチパネルや電源キーが操作できなくなります。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、必ずテレビアンテナを格納してください。また、テレビアンテナを故意に強く引っ張ったり曲げたりしないでください。傷や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護シートや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 接続端子を綿棒や先の細いもので触らないようにしてください。接続端子は溝形状の金属バネになっているため、端子金属以外のものが挿入されると変形して正常に使用できなくなることがあります。
- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、本体から電池フタを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 電池パックを交換する際は、必ず指定の方法で行ってください。指定以外の取り外しかたや取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池フタが破損する原因となります。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Micro IC Card(LTE) について

- au Micro IC Card(LTE) は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card(LTE) の取り付け、取り外しの際は、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card(LTE) を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card(LTE) のIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）などで拭いてください。
- au Micro IC Card(LTE) にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Micro IC Card(LTE) を挿入しないでください。故障の原因になります。
- au Micro IC Card(LTE) を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card(LTE) 保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。
- au Micro IC Card(LTE) は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。
- au Micro IC Card(LTE) 以外のカードを本製品に挿入しないでください。au Micro IC Card(LTE) 以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- au Micro IC Card(LTE) の取り付け、取り外しでは、IC（金属）部分に触れないようにご注意ください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- 撮影時にレンズに指がかからないようにご注意ください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ（ワンセグ）機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ（ワンセグ）を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン（市販品）などからの音漏れにご注意ください。
- 雨の中や水に濡れるような場所では使用しないでください。

■ 著作権／肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※をお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

  ※ 控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次のとおりとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	❶ お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	❷ お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	1234

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card(LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

● ロックNo.（NFC ／おサイフケータイロック）

使用例	「NFC ／おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

機能	説明
画面ロック	起動時や画面ロック時に顔認証ロック解除、パターン、PIN、パスワードを設定することにより、データを安全に保護できます。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■ PINコード

第三者によるau Micro IC Card(LTE)の無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードのロック」（▶P.228）で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードのロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card(LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」(▶P.228)で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ·PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。
- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

防水性能に関するご注意

本製品は電池フタが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX7※2相当の防水性能を有しております（当社試験方法による）。
具体的には、雨（1時間の雨量が20mm未満）の中、傘をささずに濡れた手で持って通話したり、お風呂やキッチンなど水がある場所でもお使いいただけます。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ ご使用にあたっての重要事項

● 防水のため、下図の線を指でなぞり、電池フタに浮きがないよう確実に閉じてください。

・ 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
・ 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
・ 手や本体が濡れている状態での電池フタの開閉は絶対にしないでください。

● 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。

石けん／洗剤／入浴剤

● 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。

海水

温泉

● 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。

● 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

砂／泥

●水中で使用しないでください。

● お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

■ 快適にお使いいただくために

・ 水濡れ後は本体の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に電池フタおよびキー部内の水を抜いてください。
・ 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
・ 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■ 利用シーン別注意事項

『雨の中』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

・ 雨とは、「やや強い雨」の場合。（1時間の雨量が20mm未満まで）
・ ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
・ 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での電池フタの開閉は絶対にしないでください。

『シャワー』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

・ 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『洗う』：やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

・ 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
・ 洗うときは電池フタをしっかり閉じた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
・ 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
・ 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『お風呂』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

・ お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。

- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 卓上ホルダをお風呂場へ持ち込まないでください。

『キッチン』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■ 共通注意事項

- 電池フタについて

  電池フタは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  電池フタを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

  電池フタに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。
- 水以外が付着した場合

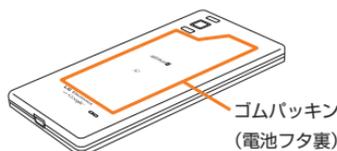
  万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

  やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池フタが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- 水に濡れた後は

  水濡れ後は水抜きをし、電池フタを外さないで、本体、電池フタとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

  寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。（本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。）
- ゴムパッキンについて

  電池フタのゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

  電池フタを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

  水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

  電池フタの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

  防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

- 充電について

  本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。

  付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。

- 防水性能について

  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所（蛇口･シャワーなど）でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流（6リットル／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

  本製品は水に浮きません。

- 耐熱性について

  熱湯・サウナ・熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

- 衝撃について

  本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口、送話口、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■水に濡れたときの水抜きについて

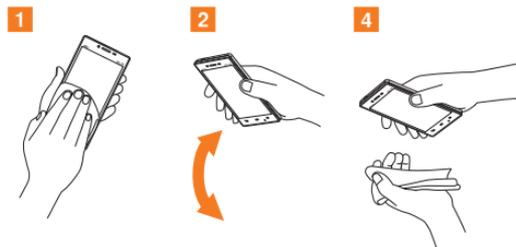
本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本体に付着した水分を乾いたタオルや布などでよく拭き取ってください。

2 本製品をしっかり持ち、図のように矢印の方向に20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

3 電源キー、音量キー、およびアンテナ部分をタオルや布などでおおい、各キーを2～3回押します。

4 内部より出てきた水分を乾いたタオルや布などで拭き取ってください。

5 乾いたタオルや布などを下に敷き、常温で放置して乾燥させてください。（30分程度）

乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダと接続してください。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能：2.4FH1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 使用帯域：全帯域
  全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯(W52/W53)の屋外利用は禁止されています。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)
W56 (5.6GHz帯 / 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏れにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）
  ※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play ／ au Market ／ アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となることもありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

❶ **イヤホン端子**

❷ **電源キー**

スリープモードの移行／解除に使用します。

を長押しすると、マナーモードや機内モードの設定／解除、電源ON／OFF、再起動を行えます。

❸ **テレビアンテナ**

テレビ（ワンセグ）を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やブラウザご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。

❹ **インカメラ（レンズ部）**

❺ **受話口（レシーバー）**

通話中の相手の方の声、留守番電話の再生音などが聞こえます。

❻ **近接センサー／明るさセンサー**

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
明るさセンサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

❼ **音量キー（DOWN／UP）**

音量を調節します。

❽ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❾ **戻るキー**

1つ前の画面に戻ります。

❿ **ホームキー**

ホーム画面を表示します。

⓫ **メニューキー**

オプションメニューを表示します。

⓬ **送話口（マイク）**

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

⓭ **外部接続端子**

指定のACアダプタ（別売）などの接続時に使用します。

⓮ **赤外線ポート**

⑮ 内蔵アンテナ部（Wi-Fi®、Bluetooth®、GPS）

Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、GPS利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。

⑯ microSDメモリカードスロット

⑰ アウトカメラ（レンズ部）

⑱ フラッシュ

⑲ au Micro IC Card(LTE)スロット

⑳ 電池パック

㉑ ストラップホール

㉒ スピーカー

着信音やアラーム音などが聞こえます。

㉓ （FeliCa）マーク

リーダー／ライターにかざすと、NFCデータ／FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

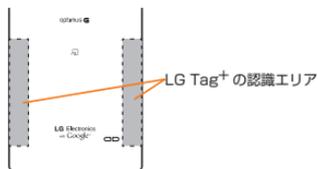
㉔ 電池フタ

㉕ 内蔵アンテナ部（通話、インターネット）

通話時、インターネット利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。

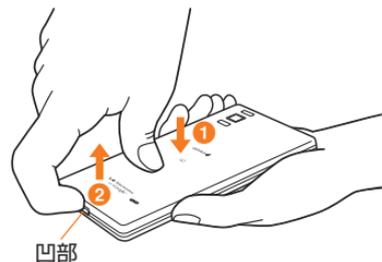
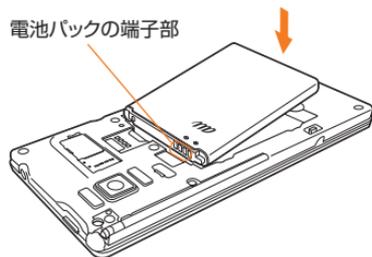
また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。

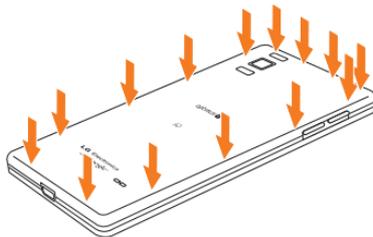
㉖ LG Tag+認識エリア

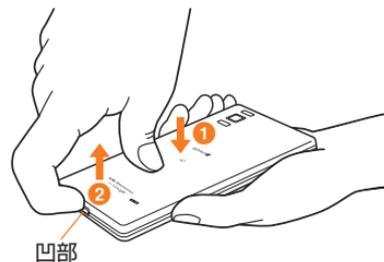
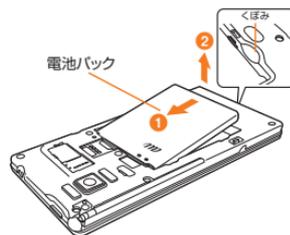
LG Tag+にかざすと、LG Tag+内のデータのやりとりができます。
LG Tag+の認識率は両サイドが高いので、かざすときは、両サイドを使ってください。

電池パックを取り付ける／取り外す

- 電池パックと電池フタの取り付け／取り外しは、本製品本体の電源を切ってから行ってください。
- 本製品専用の電池パック（LGL21UAA）をご利用ください。

電池パックを取り付ける

1 本体下部にある凹部に指（爪）をあてて、矢印（❶）の方向に押さえながら矢印（❷）の方向に持ち上げて電池フタを取り外す

2 電池パックはauロゴがある面を上にして、本製品の接続部と電池パックの端子部を合わせてから矢印の方向に挿入する

3 電池フタの向きを確認して本体に合わせるように装着し、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる

- 防水性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。
  ※「防水性能に関するご注意」（▶P.26）をご参照ください。

電池パックを取り外す

1 本体下部にある凹部に指（爪）をあてて、矢印（❶）の方向に押さえながら矢印（❷）の方向に持ち上げて電池フタを取り外す

2 本体のくぼみに指（爪）をあてて、電池パックを矢印（❶）の方向に押しながら、矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す

※ 電池パックを取り外すときは、くぼみから上に持ち上げてください。くぼみ以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池パックの端子部を破損するおそれがあります。

au Micro IC Card(LTE)を利用する

au Micro IC Card(LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Micro IC Card(LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードまたはmicro au ICカードを差し替えてのご利用はできません。

《au Micro IC Card(LTE)》

IC（金属）部分

memo

- au Micro IC Card(LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分や、本製品本体のICカード用端子には触れないでください。
  - au Micro IC Card(LTE)挿入時は、正しい挿入方向をご確認ください。
  - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- 取り外したau Micro IC Card(LTE)はなくさないようにご注意ください。

■au Micro IC Card(LTE)が挿入されていない場合

au Micro IC Card(LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au Micro IC Card(LTE)が挿入されていない、もしくはau Micro IC Card(LTE)以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、 が通知エリアに表示され、次の操作を行うことができません。

- 電話をかける※／受ける
- 3G／LTEデータ通信
- Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定および送受信
- SMSの送受信
- 自局電話番号の確認
- UIMカードのロック設定

※ 110番（警察）・119番（消防機関）・118番（海上保安本部）への緊急通報や157（お客さまセンター）への発信もできません。

また、上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

■PINコードによる制限設定

au Micro IC Card(LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。（▶P.25）

au Micro IC Card(LTE) を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card(LTE) の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

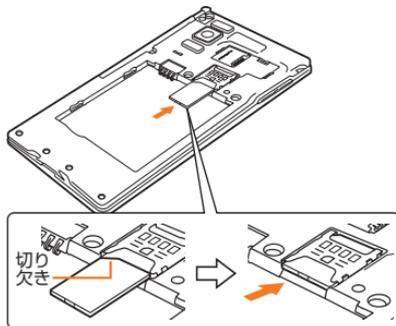
au Micro IC Card(LTE) を取り付ける

au Micro IC Card(LTE) は、電源を切り電池パックを取り外してから、取り付けを行います。（▶P.37「電池パックを取り外す」）

1 電池フタを取り外す

2 電池パックを取り外す

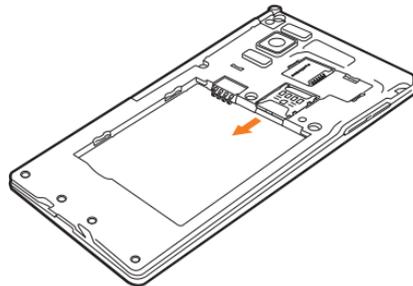
3 au Micro IC Card(LTE) のIC（金属）面を下にして図の向きでau Micro IC Card(LTE) スロットに差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

au Micro IC Card(LTE) を取り外す

au Micro IC Card(LTE) は、電源を切り電池パックを取り外してから、取り外しを行います。（▶P.37「電池パックを取り外す」）

1 電池フタを取り外す

2 電池パックを取り外す

3 au Micro IC Card(LTE) を指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったときは、充電してからお使いください。
ご利用可能時間は、次のとおりです。

連続待受時間※	約420時間（LTE使用時） 約440時間（3G使用時）
連続通話時間※	約770分

※ 日本国内でご利用の場合の時間です。
　使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。

- 充電中、本製品と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。（充電しながら、カメラの起動や通信を行うと、電池パックの温度が高くなります。）
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
- 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
  - （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
  - Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、ワンセグ機能、位置情報、などの使用
  - アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
  - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

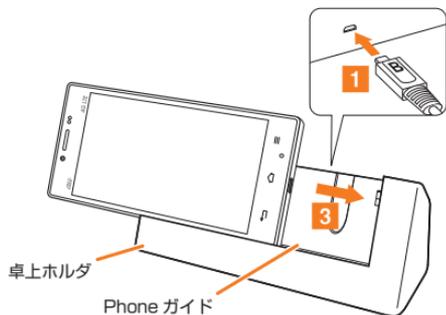
卓上ホルダを使って充電する

卓上ホルダを使って充電する方法を説明します。
共通AC アダプタ04（別売）を接続した場合の充電時間は、約110分です。

1 **指定のACアダプタ（別売）のmicroUSBコネクタ「B」の刻印がある面を上にして、卓上ホルダのmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む**

2 **指定のACアダプタ（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**

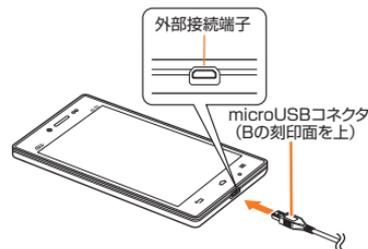
3 **本製品本体を卓上ホルダに取り付ける**

- Phoneガイド（取り外し可能）を取り付けた状態で、本製品を取り付けてください。
- au電話本体カバーを取り付けた状態で充電する場合は、Phoneガイドは取り外してご使用ください。

4 **充電が終わったら、本製品本体を卓上ホルダから取り外す**

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

ここでは共通ACアダプタ04（別売）を接続して充電する方法を説明します。
充電時間は、約110分です。

1 **共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBコネクタを本製品の外部接続端子にまっすぐ差し込む**

- microUSBケーブルは、「B」の刻印がある面を上にしてまっすぐに差し込んでください。

2 **共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**

画面上部のステータスバー（▶P.55）に が表示され、充電が開始されます。充電が完了するとステータスバーに が表示されます。

3 充電が終わったら本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ04(別売)のmicroUSBコネクタをまっすぐ引き抜く

4 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

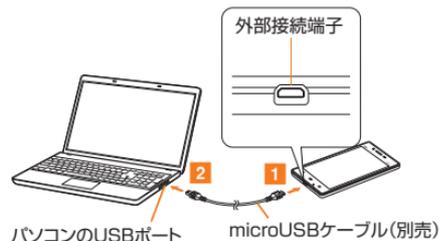
memo

が表示されない場合

- 画面上部のステータスバーに が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。共通ACアダプタ04(別売)が確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

パソコンを使って充電する

1 microUSBケーブル(別売)のmicroUSBコネクタ「B」の刻印がある面を上にして、本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

2 microUSBケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートにまっすぐに差し込む

memo

- 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- USB充電を行った場合、指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。
- パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （2秒以上長押し）

ロック解除画面が表示されます。
画面をスワイプすると、ロックが解除されます。

memo

- 電源を入れてから「au」のロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 （2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 ［電源を切る］▶［はい］

memo

- 8秒以上　を押し続けると、本製品が再起動します。

再起動する

1 （2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 ［再起動］▶［はい］

memo

- 12秒以上　を押し続けると、電源がOFFになります。

スリープモードについて

を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に

ロック解除画面が表示されます。

memo

- スリープモード中に　を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。
画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。
- 「スキップ」、「今は設定しない」などをタップすると該当の設定を省略できます。

1 （2秒以上長押し）

2 言語を選択して、［次へ］

3 インターネット接続設定を選択して、［次へ］

4 Googleアカウントの設定を行い、［次へ］

- Googleアカウントの設定画面が表示されます。Googleアカウントのセットアップについては、44 ページをご参照ください。
- 文字入力方法について、詳しくは「文字入力について」（▶P.63）をご参照ください。

5 必要に応じてGoogle Playの設定を行う

6 バックアップと復元の設定を行い、［次へ］

7 Googleロケーションの設定を行い、［次へ］

8 メールアカウントの設定を行い、［次へ］

9 ［完了］

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

2 ［ログイン］／［アカウントを作成］／［今は設定しない］

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を選択します。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「アカウントを作成」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。
Googleアカウントを設定しない場合は「今は設定しない」を選択してください。

memo

- Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
- Googleアカウントのセットアップは、ホーム画面▶［ ］▶［システム設定］▶［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］▶［Google］でも操作できます。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 ホーム画面 ▶［インターネット］▶ URL表示欄を選択 ▶「http://www.google.co.jp/」を入力 ▶［実行］

2 ［ログイン］

3 ［アカウントにアクセスできない場合］

4 画面の指示に従って操作する

au IDを設定する

au IDを設定すると、au MarketやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［au ID設定］

パケット通信に関する確認画面が表示されます。
「今後表示しない」にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 ［OK］▶［au IDの設定・保存］

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

基本操作

タッチパネルの使い方

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

■タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■主な操作目的

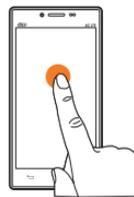
画面に表示された項目やアイコンを選択します。

ダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。

■ロングタッチ

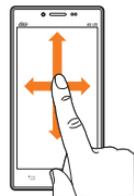
項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■主な操作目的

コンテキストメニューの表示などを行います。

■スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■主な操作目的

画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーを操作します。

■フリック

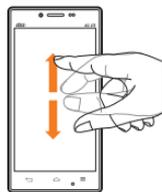
画面を指で素早く上下左右にはらうように操作します。

■主な操作目的

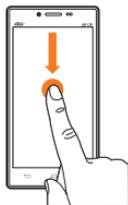
ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。

■ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■主な操作目的
画像を拡大／縮小します。

■ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

■主な操作目的
画面上のアイコンを目的の位置まで移動します。

■スワイプ

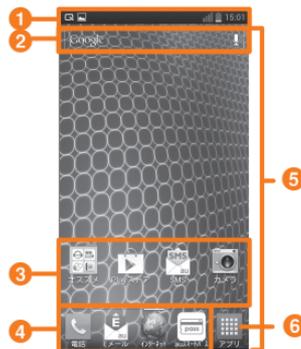
画面に触れた場所を中心として、円の外側まで指をなぞります。

■主な操作目的
画面のロック解除などを行います。

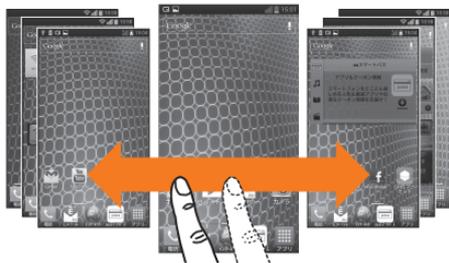
ホーム画面とメインメニュー

ホーム画面の見かた

ホーム画面は複数のデスクトップで構成されており、各デスクトップにはショートカットやウィジェット、フォルダーを追加することができます。

❶ **ステータスバー**
❷ **クイック検索ボックス**
❸ **ショートカット／ウィジェット／フォルダー**
❹ **クイックメニュー**
❺ **デスクトップ**
❻ **アプリ**
アプリケーション一覧画面が開きます。

ホーム画面を利用する

デスクトップを切り替える

ホーム画面は複数のデスクトップで構成されており、左右にスライド／フリックすることで、デスクトップを切り替えることができます。

- 画面下部には、現在の表示位置を示すインジケーターが表示されます。

memo

- お買い上げ時には左右に3枚ずつ、合計7枚のデスクトップがあらかじめ設定されています。

アプリケーションを利用する

アプリケーションアイコンをタップすると、アプリケーションが起動します。

memo

- アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

ホーム画面のメニューを利用する

1 ホーム画面 ▶ [☰]

2 以下の項目をタップ

ホーム画面に追加	ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加したり、壁紙を変更できます。
ホーム画面編集	ホーム画面の順序を入れ替えたり、デフォルトのホーム画面を選択します。
テーマ	テーマを変更できます。
ホーム画面設定	ホームスクリーンの設定を変更できます。
ロック画面設定	画面ロックの設定を行います。
アプリの設定	アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。
システム設定	各種設定を行います。

ショートカット／ウィジェットを追加する

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [ホーム画面に追加]

2 以下の項目をタップ

アプリ	アプリケーションのショートカットを作成します。
ダウンロード	ダウンロードしたアプリケーションのショートカットを作成します。
ウィジェット	カレンダーや音楽などのウィジェットを追加できます。 また設定メニューのショートカットを追加できます。
壁紙	ギャラリー、ライブ壁紙、壁紙から選択します。

3 ショートカット／ウィジェットを追加したい位置へドラッグ

左／右端にドラッグすると、隣のデスクトップに表示が切り替わります。

memo

- 表示しているデスクトップに空きスペースがない場合などは追加できません。
- ライブ壁紙を設定中は、電池の消耗が激しくなります。

フォルダーを追加する

1 フォルダーに格納するアプリ／ショートカットをロングタッチ

2 別のアプリ／ショートカットの上へドラッグして、指を離す

アプリ／ショートカットがフォルダーに格納されます。

memo

フォルダーについて

- フォルダーを選択 ▶ フォルダー上部のフォルダー名をタップすると、フォルダー名や色を変更できます。
- フォルダーをロングタッチし、指を離すとフォルダーの周りに枠が表示されます。枠の四隅をドラッグするとフォルダーサイズを変更できます。

アプリ／ショートカットをフォルダーから取り出すには

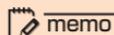
- フォルダーを選択 ▶ フォルダー内のアプリ／ショートカットをロングタッチ ▶ フォルダーの外へドラッグして指を離すことで、フォルダーから取り出すことができます。

ショートカット／ウィジェット／フォルダーを移動／削除する

1 **移動／削除するショートカット／ウィジェット／フォルダーをロングタッチ**

■ **移動する場合**
移動する位置へドラッグして、指を離す

■ **削除する場合**
画面上部の［削除］にドラッグして、指を離す

memo

- デスクトップの左端または右端にドラッグすると、デスクトップを切り替えることができます。

メインメニューを利用する

インストールされているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンを選択して、アプリケーションを起動できます。

1 **ホーム画面 ▶ ［アプリ］**
メインメニューが表示されます。

《メインメニュー》

メインメニューに表示されるアプリケーションなどについては、「アプリケーション一覧」（▶P.171）をご参照ください。

基本操作

メインメニューのレイアウトを変更する

メインメニューに表示するアイコンのサイズを変更できます。

1 **メインメニューで［ ☰ ］▶［小さなアイコン］／［大きなアイコン］▶［OK］**

メインメニューのアイコンを移動する

メインメニューのアイコンを移動することができます。

1 **メインメニューで［ ⚙ ］**

2 **移動するアイコンをロングタッチ**

3 **移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す**

クイックメニューを利用する

よく使うアプリケーションをメインメニューからクイックメニューに移動すると、ホーム画面からアプリケーションを起動できるようになります。
クイックメニューには最大6件（「アプリ」を含む）までアイコンを配置できます。
お買い上げ時には、「電話」、「Eメール」、「インターネット」、「auスマートパス」が登録されています。

1 **メインメニューで移動するアイコンをロングタッチ**

2 **アイコンをクイックメニューまでドラッグして、指を離す**

アイコンがメインメニューからクイックメニューに移動します。すでに登録されているクイックメニューのアイコンの上で指を離すと、アイコンがフォルダーに格納されます。

memo

- クイックメニューに登録されている「アプリ」は、フォルダーに格納したり、削除することはできません。

起動中のアプリケーションを一覧表示する

アプリケーションを起動中に をタップするなどして利用を中断したり、利用するアプリケーションを切り替えたりすると、利用していたアプリケーションはバックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります。
起動中アプリ一覧画面を表示して、利用するアプリケーションを切り替えたり、アプリケーションを終了したりできます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] をロングタッチ

■ 利用するアプリケーションを切り替える場合

2 アプリケーションをタップ

■ アプリケーションを終了する場合

2 [タスクマネージャー]

3 [停止]
すべてのアプリケーションを終了する場合は［全て停止］をタップします。

memo

- 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
- 複数のアプリケーションを起動しているときなど、本体の実行用メモリが不足すると、サムネイルが表示されない場合があります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 と （DOWN）を同時に1秒以上押す
撮影したスクリーンショットは、「ギャラリー」の「Screenshots」で見ることができます。

クイック検索ボックスを利用する

本製品内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面 ▶ クイック検索ボックスを選択
クイック検索ボックス画面が表示されます。
ホーム画面 ▶［アプリ］▶［検索］でも同様に操作できます。
クイック検索ボックス画面で［ ］▶［設定］▶［検索対象］と操作すると、検索対象一覧画面に表示させる検索対象を選択できます。

2 入力欄にキーワードを入力
入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの［ ］
ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

- 一覧表示された項目の［ ］をタップすると、選択した項目が、検索ボックスに入力されます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 **クイック検索ボックス画面 ▶ [🎤]**

Google音声検索画面が表示されます。

2 **送話口（マイク）に向かってキーワードを話す**

検索候補が一覧表示されます。
一覧表示から項目を選択すると、ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

クイック検索ボックスを設定する

1 **クイック検索ボックス画面 ▶ [☰] ▶ [設定]**

2 **以下の項目をタップ**

検索対象		クイック検索ボックスで検索する対象を設定します。
Google検索	Googleアカウント	2つ以上のGoogleアカウントにログインしている場合に表示されます。どのアカウントで検索するかを指定します。
	ウェブ履歴を使用	セットアップしたGoogleアカウント用にカスタマイズした検索履歴を表示するかどうかを設定します。
	端末上の検索履歴を消去する	検索履歴を消去します。
	現在地情報を使用	現在地情報をGoogleの検索結果やサービスで利用します。
	google.comで検索	google.comで検索するときに使用します。
	利用規約	Googleの利用規約が表示されます。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンス情報が表示されます。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。
また、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルが表示されます。

■通知アイコンの例

アイコン	概要
	Qメモの使用方法
	不在着信あり
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（Gmail）
	新着SMSあり
	アラーム終了、スヌーズ中 • アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときや、スヌーズ中に表示されます。
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグ起動中
	音楽再生中
	USBデバッグ接続中
	着信中
	本体の空き容量が少ないとき
	USB接続中
	データのアップロード、ファイルの送信 • アップロード中、ファイル送信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ、アプリケーションのダウンロード中、ダウンロード完了、インストール中、ファイル受信中、ファイル受信完了、ファイル受信失敗 • ダウンロード中、ファイル受信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	Google Playでインストール完了
	VPN接続中、未接続

アイコン	概要
	利用可能なアップデートあり
	メジャーアップデート（OSアップデート）更新あり
	まとめられたアイコンあり
	Wi-Fi®テザリング中

■ ステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:34	時刻
	アラーム設定あり
	電池レベル状態 十分／ 充電が必要 充電中 • 「十分」以外の充電中のアイコンはアニメーション表示されます。
	機内モード
	電波の強さ（受信電界） レベル4 ／ 圏外
	LTEデータ通信状態
	3Gデータ通信状態
	CDMA 1Xデータ通信状態
	ローミング中
	文字種 あ ひらがな漢字入力／ AB 半角英字入力／ 12 半角数字入力／ ｶﾅ 半角カタカナ入力／ A 全角英字入力／ 1 全角数字入力／ カ 全角カタカナ入力／ 音声入力

アイコン	概要
	バイブレートのみ設定中
	サイレント設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4 ／ レベル0
	Bluetooth®利用中 待機中／ 接続中
	GPS利用中 • GPS取得中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ同期中

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

❶ **クイック設定**
Qメモ、マナーモード（サウンドプロフィール）、GPS設定、Wi-Fi®設定などをタップして起動や設定の変更が行えます。

❷ **ミュージック**
「音楽」が起動中にスライドした場合表示されます。

❸ **日付**
日付を表示します。

❹ **設定**
システム設定画面が表示されます。

❺ **消去**
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。
通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

❻ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❼ **通信事業者名**
現在接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。

❽ **ステータスバー**
上方向にスライドすると通知パネルを閉じます。

通知LEDについて

通知LEDの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
緑の点灯	充電が完了したことを示します。
青の点滅	不在着信、アラーム、カレンダー通知、新着のSMSがあることを示します。

※ Eメール受信時に点滅するLEDの色は、「赤、緑、青、黄、紫」の中から選択できます。

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦（横）表示から左（右）に90°回転した場合

memo

- 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦横表示を切り替えるかどうかは、「縦横表示の自動回転」（▶P.226）で設定できます。
- アラーム時計などアプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

■ オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で ☰（メニューキー）をタップすると表示されるメニューです。

例：ホーム画面の場合

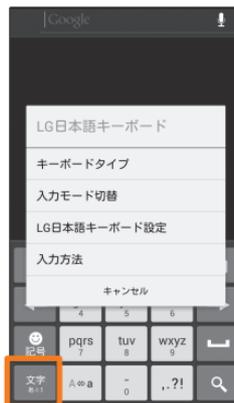
memo

「その他」について

- 利用できるオプションメニューが、画面上にアイコンとして表示できる数を超える場合、「その他」のアイコンが表示されます。アイコンとして表示しきれないオプションメニューが「その他」にまとめられ、「その他」を選択すると表示されます。
- 同じ画面でも設定内容や状況によって表示されるオプションメニューの数は異なるため、「その他」にまとめられる項目の数も設定内容や状況によって異なります。
- 本書では、オプションメニューにおいて「その他」を選択する操作は記載していない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：文字入力画面の場合

ロックを解除する

「画面のロック」で制限した機能を利用するときや、データを全件削除するときなど、重要な操作を行うときは、「PIN ／暗証番号／パスワード」の入力を求められます。（▶P.25「ご利用いただく各種暗証番号について」）
「画面ロック解除」の設定（▶P.226）を変更することで、PINの代わりに指リストパターンやパスワードを使用することができます。

■ スワイプ

1 スワイプが必要な操作をする

2 円の外までスライドする

■ 顔認証ロック

1 顔認証が必要な操作をする

2 画面の中心に顔が映るようにする

■ 指で入力する

1 パターンの入力が必要な操作をする

2 パターンを入力

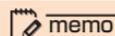
■ PINを入力する

1 PINの入力が必要な操作をする

2 PINを入力 ▶ [OK]

■ パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な操作をする

2 パスワードを入力 ▶ [OK]

memo

- PIN ／パターン／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」を選択し、入力可能になったら再入力してください。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

ラジオボタンを利用する

設定項目の横にラジオボタンが表示されているときは、ラジオボタンをタップすることで設定を有効に切り替えることができます。
複数の設定項目のうち1件だけ項目を選択できます。

アイコン	説明
◉	設定が有効／項目が選択されている状態です。
○	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

スライダーを利用する

設定項目の横にスライダーが表示されているときは、スライダーをタップ、またはスライドすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。

アイコン	説明
I	設定が有効な状態です。
O	設定が無効な状態です。

文字入力

文字入力について

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録やメール作成などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードを切り替える

本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

10キーキーボード	文字入力キーをタップするたびに文字を切り替え、文字を入力します。
QWERTYキーボード	文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。ローマ字で文字を入力します。
mazec-T 手書き変換	手書きで文字を入力します。
Google音声入力	音声入力することができます。

1 文字入力画面 ▶ [ ] をロングタッチ

[ ] をロングタッチ ▶ [キーボードタイプ] でも、キーボードタイプ選択の画面を表示できます。

2 キーボードを選択

memo

- お買い上げ時には、入力ソフトとして「LG日本語キーボード」がインストールされています。
- LG日本語キーボードでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定するには、文字入力画面 ▶ [ ] をロングタッチ ▶ [LG日本語キーボード設定] と操作します。

10キーキーボードで入力する

キーを上下左右にフリックすることで、各行の入力したい文字を入力できます。

■ **フリック入力について**

ソフトウェアキーボード「10キーキーボード」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を表示することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。
例）「お」を入力する例で説明します。

1 [ ] をロングタッチ

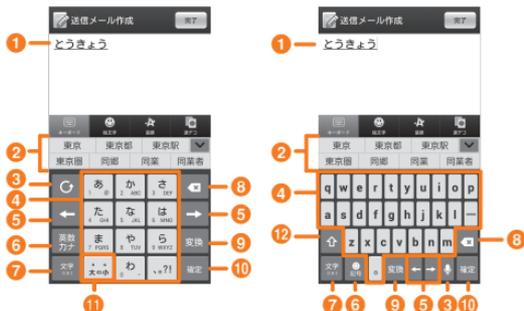
[ ] が表示されます。

2 下方向にフリック

3 必要に応じて変換候補をタップ

フルキー（QWERTY）キーボードで入力する

入力したい文字の文字入力キーをタップします。「ひらがな漢字入力」の場合は、ローマ字入力になります。

文字入力画面の見かた

《文字入力画面（10キー）》　《文字入力画面（QWERTY キー）》

※ ひらがな漢字入力中のキー表示です。

❶ 文字入力エリア

❷ 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト

文字を入力して［ ］をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。

- ［ ］をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、［ ］をタップします。

❸ 音声入力キー／バックキー

：音声入力モードに切り替わります。ロングタッチでキーボードタイプ選択の画面を表示できます。

：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。フリック入力では、バック機能を利用できません。

❹ ソフトウェアキーボード

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

❺ カーソルキー

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

❻ 記号・顔文字キー／英数・カナキー

：記号／顔文字一覧を表示します。

：入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

❼ 文字種切替キー

入力する文字種を切り替えます。
文字種を切り替えると、表示が次のように変更されます。

：ひらがな漢字入力
：半角英字入力
：半角数字入力
：半角カタカナ入力※
：全角英字入力※
：全角数字入力※
：全角カタカナ入力※

※［ ］をロングタッチ ▶［入力モード切替］で選択できます。

❽ DEL キー

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。カーソルが文頭にある場合は、文字は削除されません。

❾ 変換キー／スペースキー

：ひらがな入力中は通常変換候補リストを表示します。

：スペースを入力します。

❿ 確定キー／改行キー

：入力中の文字を確定します。

：カーソルの位置で改行します。
アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ **大文字／小文字切替キー**

［大⇔小］：ひらがな／カタカナ入力時にタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点をつけたりします。

［A⇔a］：英字入力時にタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

⑫ **シフトキー**

シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。
タップするたびに、表示が次のように変更されます。

［⇧］：小文字入力　［⇧］：大文字入力ロック
［⬆］：大文字入力

また、半角数字入力時に［1/2］／［2/2］をタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換の機能を利用して入力することもできます。
例：「東京」と入力する場合

1 文字入力画面で「とうきょう」と入力

2 ［変換］

3 ［東京］

■ **ワイルドカード予測を利用する**

読みの文字数から予測変換の候補を表示し、入力できます。ワイルドカード予測を使用するには、あらかじめ「LG日本語キーボード設定」で「ワイルドカード予測」にチェックを付けて、設定を有効にしてください。
例：「テレビ」と入力する場合

1 文字入力画面で「て」と入力

2 ［→］▶［→］

［→］をタップするたびに「○」が入力され、文字数に合わせた予測変換の候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 ［テレビ］

memo

予測変換について

- 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ ▶［学習削除］と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
- ひらがな入力中に［変換］をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。［⌫］をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面 ▶ ［ ］をロングタッチ ▶［入力モード切替］

2 入力モードを選択

memo

- ［ ］をタップするたびに、「半角英字入力」▶「半角数字入力」▶「ひらがな漢字入力」の順に切り替わります。
- 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

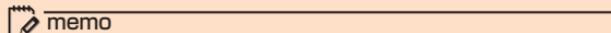
絵文字を入力する

1 文字入力画面 ▶［絵文字］

絵文字／Ｄ絵文字／ピクチャ／ microSD一覧画面が表示されます。文字入力画面に変換対象がない状態でタップしてください。

2 絵文字／Ｄ絵文字／ピクチャを選択

microSDからも絵文字を選択することができます。

memo

- 操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／Ｄ絵文字／ピクチャがあります。

記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面 ▶［記号］

2 ［記号］／［顔文字］

記号／顔文字一覧画面が表示されます。

音声で入力する

1 文字入力画面 ▶［ ］をタップ ▶［音声入力開始］

メッセージが表示された場合は、「OK」をタップしてください。

2 送話口（マイク）に向かって話す

処理が完了すると文字が入力されます。

memo

- 音声入力を使用するには、あらかじめ「LG日本語キーボード設定」の「音声入力キー」にチェックを付けて、設定（▶P.69「入力に関する設定を行う」）を有効にしてください。

手書きで入力する

例：「東京」と入力する場合

1 文字入力画面 ▶［ ］をロングタッチ ▶［mazec-T手書き変換］

2 手書きで「東」と入力

3 予測変換候補リストで「東京」

❶ **文字入力エリア**

❷ **スクロールキー**
文字入力エリアをスクロールします。

❸ **文字種切り替えキー**
文字種類の選択や、mazecの詳細設定を行います。

❹ **キーボードタイプ切り替えキー**
キーボードタイプを変更します。

❺ **左カーソルキー**
カーソルを左へ移動します。

❻ **スペースキー**
スペースを入力します。

❼ **右カーソルキー**
カーソルを右へ移動します。

❽ **DELキー**
入力した文字を削除します。

❾ **改行キー**
改行します。

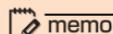
文字入力の便利な機能を利用する

文字サイズを切り替える

文字入力時に表示する文字サイズを設定します。

1 文字入力画面 ▶ [☰] ▶ [文字サイズ]

2 文字サイズを選択

memo

- アプリケーションや入力中の項目によっては、設定できない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

■ **文字を選択して切り取り／コピーする場合**

1 文字入力画面で文字入力エリアをロングタッチ

画面上部に以下のメニューが表示されます。

すべて選択	文字入力エリアのすべての文字を選択します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	選択した文字列にペーストします。
辞書へ追加	選択した文字列をユーザー辞書に登録します。

2 [ ] ／ [ ] をスライドして範囲を選択 ▶ タップ

3 [切り取り] ／ [コピー]

4 貼り付ける位置をタップ ▶ ロングタッチ ▶ [貼り付け]

memo

- アプリケーションによっては、メニューの表示が異なる場合があります。

入力ソフトを切り替える

1 **文字入力画面 ▶ [文字] をロングタッチ ▶ [入力方法]**

2 **以下の項目をタップ**

Google音声入力	音声で文字を入力します。
LGキーボード	英字を入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。
LG日本語キーボード	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。
mazec-T手書き変換	手書きで文字を入力します。

memo

- 入力ソフトは、アプリケーションをインストールして利用することもできます。インストール後に、「言語と入力」でアプリケーションを有効にしてください。アプリケーションのインストール方法については、「Google Playを利用する」（▶P.174）をご参照ください。

マッシュルーム拡張機能を利用する

マッシュルームを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 **文字入力画面 ▶ [文字] をロングタッチ ▶ [LG日本語キーボード設定] ▶ [マッシュルーム] ▶ [使用する] ▶ [OK]**

2 **[⮌]**

文字入力画面が表示されます。

3 **[記号] をロングタッチ**

マッシュルーム拡張機能のアプリケーション選択画面が表示されます。

memo

- マッシュルーム拡張機能は、アプリケーションをインストールして利用します。アプリケーションのインストール方法については、「Google Playを利用する」（▶P.174）をご参照ください。
- 通常変換候補リスト／予測変換候補リストで候補をロングタッチ ▶ [Mashup] と操作し、アプリケーションを選択しても起動できます。

入力に関する設定を行う

LG日本語キーボードでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面 ▶ [文字] をロングタッチ ▶ [LG日本語キーボード設定]

LG日本語キーボード設定画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

キーボード設定（共通）	
キー操作音	チェックマークを付けると、キーボード操作に伴って音が鳴ります。
キー操作バイブレータ	チェックマークを付けると、キーボード操作に伴ってバイブレータが動作します。
キーポップアップ	チェックマークを付けると、入力時に選択した文字を拡大して表示します。
自動大文字変換	チェックマークを付けると、英字入力の際、文頭文字を自動的に大文字にします。
自動スペース入力	チェックマークを付けると、英字入力の際、候補選択した後に、半角スペースを自動的に挿入します。
ピリオド自動挿入	英字入力の際、「 ␣ 」をダブルタップすると、ピリオドを挿入します。
キーボードレイアウト	画面の向き、入力モードごとに使用するキーボードのタイプを設定できます。
音声入力キー	音声入力を使用するかどうかを設定します。（▶P.66）
フルスクリーンモード	横画面表示のときに、文字入力欄を広げて表示するかどうかを設定します。

キーボード設定（テンキー）	
フリック入力	チェックマークを付けると、10キーキーボードでの入力方法がフリック入力になります。チェックマークを外すとトグル入力になります。
フリック感度	「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、タップすると「フリック感度（低⇔高）」メニューが表示され、スライドバーにより感度の設定を行えます。
トグル入力	「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、チェックマークを付けるとフリック入力と同時にトグル入力が可能になります。
自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を指定します。
変換設定	
候補学習	チェックマークを付けると、変換で確定した語句を学習します。
予測変換	チェックマークを付けると、予測変換候補を表示します。
入力ミス補正	チェックマークを付けると、入力間違いの修正候補を表示します。
ワイルドカード予測	チェックマークを付けると、読みの文字数から変換候補を推測して表示します。
候補表示行数	変換候補を表示する行数を縦画面について設定できます。
外部アプリ連携	
マッシュルーム	マッシュルーム拡張機能を使用する／しないを設定します。この機能を使用すると、さまざまな文字入力に関する機能を拡張できます。（▶P.68）

辞書	
日本語ユーザー辞書	タップすると「日本語ユーザー辞書」画面が表示されます。「 」をタップすると、単語の登録、編集、削除、日本語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
英語ユーザー辞書	タップすると「英語ユーザー辞書」画面が表示されます。「 」をタップすると、単語の登録、編集、削除、英語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて消去します。
IME について	
LG日本語キーボード	LG日本語キーボードの詳細情報が表示されます。この項目は、タップしても設定できません。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面 ▶ [ ] をロングタッチ ▶ [LG日本語キーボード設定] ▶ [日本語ユーザー辞書] ／ [英語ユーザー辞書]

日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 [ ] ▶ [登録]

3 読み／表記を入力 ▶ [保存]

memo

- 登録した単語を編集する場合は、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択 ▶ [ ] ▶ [編集] と操作します。単語をダブルタップしても編集操作ができます。
- 日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面 ▶ [ ] ▶ [削除] ／ [ユーザー辞書全消去] ▶ [OK] と操作すると、選択した単語／すべての単語を削除できます。

電話

電話をかける

1 ホーム画面 ▶［電話］

電話番号入力画面が表示されます。

❶ **画面切替タブ**
画面表示を切り替えられます。

❷ **電話番号入力欄**
80桁まで入力できます。

❸ **数字キー**

❹ **SMSキー**
SMSを送信できます。

❺ **削除キー**
最後に入力した数字を削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。

❻ **発信キー**
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタップすると最新の発信履歴が入力されます。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 ［ 📞 ］

通話中画面が表示されます。
通話中に ▭▭ （DOWN ／ UP）を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 ［終了］

「通話設定」の「連絡先未登録番号追加」を有効にすると、連絡先に未登録の電話番号との通話終了後に、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。お買い上げ時は無効に設定されています。

memo

- 発信中／通話中に近接センサーをおおうと、画面が消灯します。
- 「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
- 送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。また、緊急通報番号（110、119、118）へ電話をかけると「機内モード」の設定が解除されます。

■ 電話番号入力画面のオプションメニューの場合

1 電話番号入力画面 ▶ [☰]

2 以下の項目をタップ

184追加	電話番号の先頭に「184」を追加します。
186追加	電話番号の先頭に「186」を追加します。
国コード	相手の方の国番号を選択します。
連絡先に追加※	入力した電話番号を連絡先に登録します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルを設定します。
2秒間の停止を追加※	「,」を入力します。電話番号に続けて「,」と番号を入力して発信すると、電話がつながって2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
保留中の着信を追加※	「;」を入力します。電話番号に続けて「;」と番号を入力して発信すると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
通話設定	▶P.223「通話に関する設定をする」

※ 電話番号が入力された場合のみ表示されます。

通話中の画面操作

録音／停止	通話中の相手の方の音声と自分の音声の録音を開始／停止します。
終了	通話中の電話を終了します。
ダイヤルキー／非表示	数字キーを表示／非表示します。
スピーカー	ハンズフリーで電話するかどうかを設定します。
ミュート	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。
Bluetooth	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続／解除します。

■ 通話中画面のオプションメニューの場合

1 通話中に [☰]

2 以下の項目をタップ

別の通話を追加	電話番号入力画面を表示します。
連絡先	連絡先を表示します。

履歴を利用して電話をかける

1 **ホーム画面 ▶ [電話]**

電話番号入力画面が表示されます。

2 **[通話記録]**

履歴一覧画面が表示されます。

3 **電話をかけたい相手の [ ]**

memo

- 発信履歴/着信履歴はあわせて最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

履歴のメニューを利用する

■ 履歴一覧画面のオプションメニューの場合

1 **履歴一覧画面 ▶ [☰]**

2 **以下の項目をタップ**

フィルタ	フィルタを設定します。
削除	削除したい履歴をチェックして削除します。
すべて削除	履歴をすべて削除します。
通話設定	▶P.223「通話に関する設定をする」

■ 履歴一覧画面のコンテキストメニューの場合

1 履歴一覧画面で履歴をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先を表示※1	連絡先の詳細内容を表示します。
連絡先に追加※2	電話番号を連絡先に新規登録したり、既存の連絡先に追加登録したりします。
発信前に番号を編集	電話番号を編集して発信します。
電話番号のコピー	電話番号をコピーします。
着信拒否／着信拒否リストから削除	選択した電話番号を着信拒否リストに追加／削除します。
発着信履歴の削除	選択した履歴を削除します。
すべての通話履歴を削除	選択した履歴と同じ電話番号の履歴をすべて削除します。

※1　電話番号が連絡先に登録されている場合に表示されます。
※2　電話番号が連絡先に登録されていない場合に表示されます。

■ 履歴詳細画面のオプションメニューの場合

1 履歴詳細画面 ▶ [☰]

発信履歴または着信履歴詳細画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

削除	選択した履歴を削除します。
着信拒否／着信拒否リストから削除	着信拒否番号リストに電話番号を登録／削除します。

■ 履歴詳細画面のメニューを利用する

(電話アイコン)	電話をかけます。
(SMSアイコン)	SMSを作成します。
(連絡先アイコン)※1	連絡先の詳細内容を表示します。
(追加アイコン)※2	電話番号を連絡先に新規登録したり、既存の連絡先に追加登録したりします。

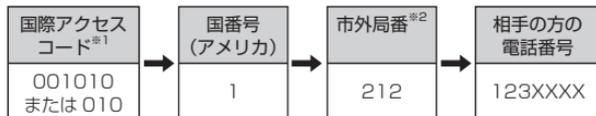
※1　電話番号が連絡先に登録されている場合に表示されます。
※2　電話番号が連絡先に登録されていない場合に表示されます。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面で国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力 ▶［ ］

電話番号入力画面 ▶［ ］▶［国コード］で相手先の国名を選択して国際電話をかけることもできます。

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日から再びご利用いただけます。また、ご利用停止中も国内通話は通常どおりご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
- au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
  - au電話から（局番なしの）**157**番（通話料無料）
  - 一般電話から **0077-7-111**（通話料無料）
  - 受付時間 毎日9：00～20：00

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

- 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

電話を受ける

1 着信中に［電話に出る］をスワイプ

バックライト点灯中（ロック解除画面表示中を除く）に着信があった場合は、［電話に出る］をタップします

2 通話 ▶［終了］

「通話設定」の「連絡先未登録番号追加」を有効にすると、連絡先に未登録の電話番号との通話終了後は、連絡先に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、画面に電話番号が表示されます。電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、画面に理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

着信時に着信音を消音にするには

- 着信中に［ ］や［ ］（DOWN ／ UP）を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- 連絡先やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。
- ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

着信時の操作

拒否	かかってきた電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。
消音	（DOWN／UP）を押すと、着信音が消音になり、バイブレータを停止します。

自分の電話番号を確認する

1 **ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [システム設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [電話機識別情報]**

電話機識別情報画面が表示され、電話番号欄に電話番号が表示されます。

連絡先

連絡先を登録する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［連絡先］

連絡先一覧画面が表示されます。

❶ **連絡先を検索**
名前や電話番号などを入力して連絡先を検索します。

❷ **画像**
連絡先に登録されている画像（顔）が表示されます。

❸ **連絡先**
登録されている連絡先が表示されます。

❹ **新規登録**
連絡先を新規に登録します。

❺ **インデックス**
スライドして連絡先を検索します。

2 ［⊕］

連絡先を新規登録する画面が表示されます。

- 初回起動時は、連絡先を登録するアカウントを選択する画面が表示されます。連絡先を登録したいアカウントを選択してください。

3 項目を選択して編集

項目		説明
連絡先種別		アカウントを設定している場合、登録先が選択できます。
（顔）	写真を撮影	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	ギャラリーから選択	ギャラリーに保存されている画像を登録します。
	写真を削除	登録した写真を削除します。
名前	姓	名前を登録します。
	名	
	姓のよみがな	
	名のよみがな	
電話		携帯電話などの電話番号を登録します。
Eメール		メールアドレスを登録します。
住所		住所を登録します。
グループ		グループを設定します。
着信音		着信時の音を設定します。
別のフィールドを追加	組織	会社や役職を登録します。
	IM	チャットアドレスを登録します。
	メモ	メモを登録します。
	ニックネーム	ニックネームを登録します。
	ウェブサイト	URLを登録します。
	予定	誕生日や記念日や予定を登録します。
	関係	親、上司等の関係を登録します。

4 ［保存］

memo

- 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 連絡先編集画面 ▶［ ⊕ ］／［ ⊗ ］と操作すると、項目を追加／削除できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 複数の電話番号／メールアドレスを登録している場合、連絡先詳細画面にて通常使用する電話番号／メールアドレスをロングタッチしてデフォルトの電話番号／メールアドレスを設定します。
- 項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の右側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列を種別として登録できます。
- IM種別では、連絡先詳細画面 ▶［ ］と操作したときに起動するアプリケーションを設定します。
- 名前をアルファベットを含む半角英数字のみで登録すると、連絡先では名、姓の順に表示されます。
- 連絡先で着信音設定されている電話番号であっても、相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音」の設定は有効になりません。

他の機能から連絡先に登録する

他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどを連絡先に登録できます。

1 **他の機能で連絡先に登録する操作を行う**

2 **連絡先に追加画面 ▶［ ⊕ ］**

他の機能で表示した情報を新規の連絡先に登録する場合は［連絡先を新規登録］をタップします。
他の機能で表示した情報を既存の連絡先に登録する場合は更新する連絡先をタップします。

3 ［保存］

グループを設定する

グループの追加、リネーム、削除を設定できます。

- 「アカウントと同期」を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 連絡先一覧画面 ▶ [グループ]

グループ一覧画面が表示されます。

2 [☰]

3 以下の項目をタップ

新しいグループ	グループを追加します。 グループ名を編集し、[グループメンバー] ▶ メンバーを選択し [追加] ▶ [保存]
削除	グループを削除します。
共有	グループに登録されている連絡先を、Bluetooth®、Eメール、Gmail、赤外線などを使って共有します。
設定	連絡先の設定をします。

memo

- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

■グループを編集する

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 [グループを編集]

グループ名、グループ着信音などが編集できます。

3 [保存]

■グループを削除する

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 [グループの削除] ▶ [はい]

■グループを共有する

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 [グループの共有] ▶ 共有する方法を選択

グループに登録されている連絡先を、Bluetooth®、Eメール、Gmail、赤外線などを使って共有します。

グループ詳細画面のメニューを利用する

1 **グループ一覧画面でグループを選択**

グループ詳細画面が表示されます。

2 **[☰]**

3 **以下の項目をタップ**

メンバーを追加	メンバーを追加します。 **追加したいメンバーにチェック ▶ [追加]**
メンバーの削除	メンバーから削除します。 **削除したいメンバーにチェック ▶ [削除]**
共有	グループに登録されている連絡先を、Bluetooth®、Eメール、Gmail、赤外線などを使って共有します。
メールを送信	グループに登録されている連絡先に、EメールまたはGmailを使って送信します。
グループを編集	グループ名、グループ着信音などが編集できます。
グループの削除	グループを削除します。

連絡先の登録内容を利用する

連絡先の登録内容を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 **連絡先一覧画面で連絡先を選択**

連絡先詳細画面が表示されます。

❶ **画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます。

❷ **登録内容**
すべての登録内容を確認／利用できます。

❸ **連絡先を編集**
連絡先を編集できます。

❹ **スター**
お気に入りに登録されているかどうかが表示されます。お気に入りに登録されている場合は、スターが黄色で表示されます。

❺ **アクションアイコン**
連絡先に電話をかけたり、メールを作成したりできます。

memo

- アクションアイコンをタップすると次の機能を呼び出すことができます。

アクションアイコン	説明
📞	選択した電話番号に電話をかけます。
SMS	選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
@	選択したメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
💬	選択したチャットアドレスのIM種別に対応するアプリケーションが起動してチャットを開始します。※
📍	選択した住所をもとにGoogleマップが起動します。

※ 対応するアプリケーションがインストールされていない場合やアカウントへログインしていない場合など、アプリケーションを起動できないことがあります。

電話番号を利用する

■ 電話番号に発信／送信する場合

1 連絡先詳細画面で利用する電話番号の右側にある 📞 ／ SMS をタップ

選択した相手に発信、またはSMS送信することができます。

■ 電話番号を設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する電話番号をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先転送	選択した電話番号をSMSで転送します。
デフォルト番号として設定／デフォルトの電話番号を解除	選択した電話番号を通常使用する電話番号に設定／解除します。
クリップボードにコピー	選択した電話番号をコピーします。

連絡先

メールアドレスを利用する

■ メールアドレスにメールを送る場合

1 連絡先詳細画面で利用するメールアドレスを選択

送信方法選択画面が表示されるので、送信方法を選択します。

■ メールアドレスを設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用するメールアドレスをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先転送	選択したメールアドレスをSMSで転送します。
デフォルトのメールアドレスに設定／デフォルトのメールアドレスを解除	選択したメールアドレスを通常使用するメールアドレスに設定／解除します。
クリップボードにコピー	メールアドレスをコピーします。

チャットアドレスを利用する

1 連絡先詳細画面で利用するIMを選択

選択したチャットアドレスに接続して、チャットを開始します。
ロングタッチしたときに、「クリップボードにコピー」が表示されます。

住所を利用する

■ 住所から地図を表示する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所を選択

住所をもとにGoogleマップが起動します。

■ 住所を設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

デフォルトの住所に設定／デフォルトの住所を解除	通常使用する住所に設定／解除します。
クリップボードにコピー	住所をコピーします。

ウェブサイトを利用する

1 連絡先詳細画面で利用するウェブサイトを選択

選択したウェブサイトが表示されます。
ロングタッチしたときに、「クリップボードにコピー」が表示されます。

連絡先のメニューを利用する

連絡先一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 連絡先一覧画面 ▶ [☰]

2 以下の項目をタップ

今すぐ同期	同期します。
削除	選択した連絡先を削除します。
共有	Bluetooth®、Eメール、Gmail、赤外線などを使って、連絡先を共有します。
メールを送信	連絡先一覧からメールの送信先を選択してメールを送信します。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに割り当てます。
連絡先の統合	同一情報を持つ連絡先のコピーを入力することで、連絡先リストを整理できます。
インポート／エクスポート	microSDメモリカードからデータをインポート、またはmicroSDメモリカードにデータをエクスポートします。
設定	連絡先の設定をします。

■ コンテキストメニューの場合

1 連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先を編集	選択した連絡先を編集します。
連絡先を削除	選択した連絡先を削除します。
連絡先転送	選択した連絡先の名前と電話番号、メールアドレスをSMSで転送できます。
ホーム画面に追加	ホーム画面に連絡先／発信／メッセージを送る（SMS）のショートカットを作成します。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選択した連絡先をお気に入りに追加／削除します。

連絡先詳細画面のメニューを利用する

1 連絡先詳細画面 ▶ [☰]

2 以下の項目をタップ

削除	連絡先を削除します。
共有	Bluetooth®、Eメール、Gmail、赤外線などを使って、連絡先を共有します。
統合	連絡先を選択して統合します。
分割※1	統合した連絡先を分割します。
ディフォルトグループに追加※2	連絡先をディフォルトグループに追加します。
エクスポート	microSDメモリカードまたは内部ストレージにエクスポートします。
ホーム画面に追加	ホーム画面に連絡先／発信／メッセージを送る（SMS）のショートカットを作成します。

※1　統合した連絡先を選択した時のみ表示されます。
※2　連絡先によっては表示されない場合があります。

連絡先を編集する

1 連絡先詳細画面 ▶ [✎]

2 編集したい項目を編集

3 [保存]

メール

Eメールを利用する

Eメール（@ezweb.ne.jp）のアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリケーションを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』および「Eメールを設定する」（▶P.111）をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「グローバルパスポートについて」（▶P.267）をご参照ください。
- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
- Eメールの送受信は無線LAN（Wi-Fi®）通信で利用できますが、初期設定はLTE/3Gデータ通信にて行ってください。

Eメールを送る

1 ホーム画面 ▶ ［Eメール］ ▶ ［新規作成］

送信メール作成画面が表示されます。

《送信メール作成画面》

2 ［ ］

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 宛先を選択

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 ・グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 ・「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリをホーム画面 ▶ ［auスマートパス］ ▶ ［アプリ］からダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 Eメールアドレスにチェックを付ける ▶ ［選択］と操作すると、メール受信履歴を引用できます。 「 」▶「削除」▶ Eメールアドレスにチェックを付ける ▶「削除」▶「削除」と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	Eメールアプリケーションに登録されている自身のアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け	コピーした文字列を貼り付けます。

4 件名入力欄をタップ ▶ 件名を入力

件名は、全角50／半角100文字まで入力できます。

5 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力 ▶ ［完了］

本文は、全角5,000／半角10,000文字まで入力できます。

6 ［送信］ ▶ ［送信］

memo

- デコレーションアニメには対応しておりません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号『－（長音）゛（濁点）゜（半濁点）、。・「」』は入力できません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To／Cc／Bccを含む。）までです。
- 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
  また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- 送信メール作成画面で［保存］をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.114）。

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類（To／Cc／Bcc）を変更したりできます。

1 送信メール作成画面

■ 宛先を追加する場合

2 未入力のアドレス入力欄の［ ］をタップ

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送る」（▶P.89）の操作3をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

2 入力済みのアドレスの［ ］をタップ ▶ ［削除］

■ 宛先の種類を変更する場合

2 入力済みのアドレスの［To］をタップ

3 以下の項目をタップ

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

- 一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面 ▶ 添付データ欄をタップ

2 以下の項目をタップ

ストレージ	microSDメモリカードや内部ストレージのデータを添付します。
ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	フォトを撮影して添付します。
カメラ（動画）	ムービーを録画して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

memo

- 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- データを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 送信メール作成画面 ▶ 削除したいデータの[×]をタップ

2 [削除]

絵文字を利用する

絵文字やデコレーション絵文字を入力することができます。また、Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ [絵文字]

2 [D絵文字] ／ [ピクチャ] ▶ [▲]

3 以下の項目をタップ

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードや内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [microSD] ▶ [ダウンロード]

3 以下の項目をタップ

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	microSDメモリカードや内部ストレージに保存されているデコレーション絵文字を検索し表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したＥメールを送付できます（デコレーションメール）。

1 **送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力**

2 **[装飾]**

デコレーションメニューが表示されます。

3 **装飾の開始位置をタップ ▶［選択開始］▶［ ⇦ ］／［ ⇨ ］で終了位置を選択**

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4 **以下の項目をタップ**

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存された画像やギャラリーに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

「 ☰ 」▶「装飾全解除」▶「解除」と操作すると、装飾を解除できます。

memo

- 本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KＢの文字を入力できます。
- 本文には、最大20件（合計100KＢ以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
  ※ 一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
  ※ 挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- 「Ｅメールにデータを添付する」（▶P.91）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のＥメールとして受信・表示される場合があります。
- Ｅメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめホーム画面 ▶［アプリ］▶［auアプリ］▶［au Market］から対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

2 ［速デコ］

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 ［確定］

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 ホーム画面 ▶［Eメール］▶［テンプレート］

テンプレート一覧画面が表示されます。
「☰」▶「ストレージから読み込み」と操作すると、microSDメモリカードや内部ストレージ内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ ▶［メール作成］

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面（▶P.89）▶ 本文入力欄をタップ ▶［☰］

2 以下の項目をタップ

アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.114）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文編集を完了します。

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信すると

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーに [E] が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

- ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

《Eメールトップ画面》

4 受信ボックスをタップ ▶ 受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

- Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに [E] が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.112)を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。
- 「メール自動受信」(▶P.112)を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り [E] が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶ P.95)の操作を行い、Eメールを受信してください。
- 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
- 受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字／半角約10,000文字(約10KB)までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

メール

添付データを表示・保存する

1 受信メール内容表示画面を表示

2 添付データをタップ

未受信の場合は受信を開始します。再度添付データをタップしてください。

3 以下の項目をタップ

表示	添付データを表示します。
ストレージへ保存	添付データを明示的に保存できます。microSDメモリカードが挿入されている場合は、microSDメモリカードの保存場所が最初に表示されます。内部ストレージに保存する場合は「Up」を複数回タップして、「sdcard」フォルダを選択してください。
保存場所をストレージに変更／保存場所を本体メモリに変更	添付データの保存場所を変更します。 ・「保存場所をストレージに変更」をタップすると、microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存します。 ・「保存場所を本体メモリに変更」をタップすると、本体メモリに保存します。

※ 本操作の「添付データ」とは上記操作と異なり、メールデータベース上に登録されている添付データを指します。ファイル検索を行っても添付データを確認することはできません。
詳細は「添付ファイル保存設定」（▶P.111）をご覧ください。

memo

- 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※ データによっては、インライン再生されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」（▶P.112）を自動受信しない設定にした場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面 ▶［Eメール］▶［新着問合せ］

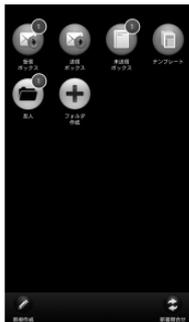
新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面 ▶［Eメール］

Eメールトップ画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

《Eメールトップ画面》

■ 受信メールを確認する場合

2［受信ボックス］またはフォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

［返信］	：返信のEメールを作成
［転送］	：転送のEメールを作成
［保護］／［保護解除］	：Eメールを保護／保護解除する
［フラグ］／［フラグ解除］	：Eメールにフラグを付ける／解除する
◀	：前のEメールを表示
▶	：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2［送信ボックス］またはフォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は［送信］をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。

［再送信］	：同じEメールをもう一度送信
［コピー編集］	：Eメールをコピーして編集
［保護］／［保護解除］	：Eメールを保護／保護解除する
［フラグ］／［フラグ解除］	：Eメールにフラグを付ける／解除する
◀	：前のEメールを表示
▶	：次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2［未送信ボックス］

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ ▶［送信失敗理由］と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

3 Eメールをタップ

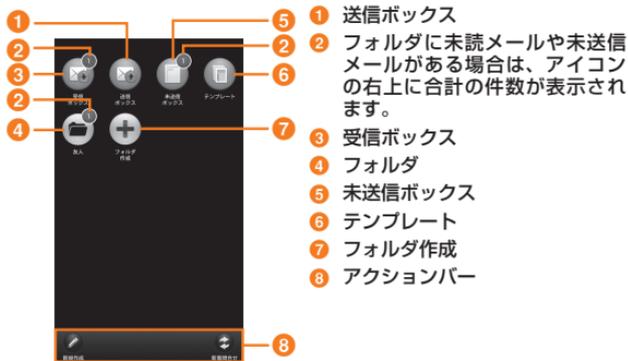
未送信メール内容表示画面が表示されます。

［送信］	：Eメールを送信 宛先が入力されている場合のみ送信できます。
［編集］	：Eメールを編集 保護されたEメールは編集できません。
［コピー編集］	：Eメールをコピーして編集 保護されたEメールをコピーして編集できます。
［保護］／［保護解除］	：Eメールを保護／保護解除する
［フラグ］／［フラグ解除］	：Eメールにフラグを付ける／解除する
◀	：前のEメールを表示
▶	：次のEメールを表示

memo

- 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- Eメールトップ画面 ▶「☰」▶「au one メール」▶「au one メールTop」と操作すると、au one メールを利用できます。（▶P.126「au one メールを利用する」）
- 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。
- 受信ボックス／送信ボックスの最大容量については、「主な仕様」の「SMS ／ Eメール」（▶P.289）をご参照ください。

■Eメールトップ画面の見かた

Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《Eメールトップ画面》

1. **送信ボックス**
2. **フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。**
3. **受信ボックス**
4. **フォルダ**
5. **未送信ボックス**
6. **テンプレート**
7. **フォルダ作成**
8. **アクションバー**

■Eメール一覧画面の見かた

《メール一覧画面（受信ボックス）》

《メール一覧画面（送信ボックス）》

《メール一覧画面（未送信ボックス）》

《メール一覧画面（フォルダ）》

❶ ●：未読のEメール
○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

❷ 件名

❸ 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※ 連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

❹ ：返信のEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール

❺ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

❻ 添付データあり

❼ 保護されたEメール

❽ フラグあり

❾ アクションバー

❿ 本文

⓫ ：返信のEメール
：転送のEメール／転送したEメール
：返信／転送したEメール

⓬ 送信に失敗したEメール／サーバに元のメール（受信メール）がなく転送に失敗したEメール

⓭ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

memo

・横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■Eメール内容表示画面の見かた

《受信メール内容表示画面》　《送信メール内容表示画面》

❶ 送信メール
To／CC／BCC：宛先の名前またはEメールアドレス
受信メール
From：差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC：宛先の名前またはEメールアドレス
※ 宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。「⌄」をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

❷ ○：本文を未受信のEメール
⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール

❸ 送信メール
：返信のEメール
：転送のEメール／転送したEメール
：返信／転送したEメール
受信メール
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール

❹ Sub：件名
❺ ：受信済み／送信済みの添付データ（本体メモリ保存）
：受信済み／送信済みの添付データ（ストレージ保存）
：本文中に挿入された添付データ（本体メモリ保存）
：本文中に挿入された添付データ（ストレージ保存）
：未受信の添付データ
※ 添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。「 」をタップすると、その他の添付データを表示できます。
❻ 本文
❼ 次のEメール／前のEメールを表示
※ 本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。
❽ 添付データあり
❾ フラグあり
❿ 保護されたEメール
⓫ アクションバー

メール

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面（▶P.98）／送信メール一覧画面（▶P.98）／未送信メール一覧画面（▶P.98）／検索結果一覧画面（▶P.110）▶［ ］

2 以下の項目をタップ

検索	▶P.110「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動したいEメールにチェックを付ける ▶「移動」▶ 移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.108）。 •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
削除	Eメールを削除します。 **削除したいEメールにチェックを付ける ▶「削除」▶「削除」** •「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。

項目	説明
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除したいEメールにチェックを付ける ▶「保護」／「解除」** 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付けたい／外したいEメールにチェックを付ける ▶「つける」／「解除」** •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

項目		説明
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードに、挿入されていない場合は内部ストレージに保存します。 **コピーしたいEメールにチェックを付ける ▶「保存」** •「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • microSDメモリカードまたは、内部ストレージに保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.116）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.108「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	未受信のEメール本文を取得します。 **本文を受信したいEメールにチェックを付ける ▶「受信」** •「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.111「Eメールを設定する」

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面（▶P.98）／送信メール一覧画面（▶P.98）／未送信メール一覧画面（▶P.98）／検索結果一覧画面（▶P.110）で操作したいEメールをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

項目		説明
返信		Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信		同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ表示されます。
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
転送	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
送信		未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集		未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。
コピー編集		送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。
保護／保護解除		Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは［保護解除］をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除		Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは［フラグ解除］をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由		送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
削除		Eメールを削除します。

移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** ・ あらかじめフォルダを作成してください（▶P.108）。
拒否リスト登録	・ 選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1 受信メール内容表示画面（▶P.99）／送信メール内容表示画面（▶P.99）／未送信メール内容表示画面／検索結果内容表示画面 ▶ [☰]

2 以下の項目をタップ

転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 ・ 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。 ・ 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 ・ 送信メール作成画面（▶P.89）が表示されます。 ・ 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・ サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 ・ デコレーションメールはサーバ転送できません。
移動		Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** ・ あらかじめフォルダを作成してください（▶P.108）。
削除		Eメールを削除します。

本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **本文をロングタッチ ▶「本文選択」と操作しても本文選択画面を表示できます。** • 本文選択画面をロングタッチ ▶「 」／「 」をドラッグして選択範囲を指定 ▶「コピー」と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信･表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。

その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカードに、挿入されていない場合は内部ストレージに保存します。 • microSDメモリカードまたは、内部ストレージに保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.116）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。

※ 画面により選択できる項目は異なります。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面（▶P.99）／送信メール内容表示画面（▶P.99）を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3 以下の項目をタップ

Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します。
アドレス帳登録	▶P.81「他の機能から連絡先に登録する」
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **「新規振分けフォルダ作成」／「「×××」（×××はフォルダ名）に追加」▶「保存」** ・ロックされたフォルダ（▶P.110）を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 ・「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は［再振分けする］をタップします。 ▶P.108「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.117「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

2 件名をタップ ▶［コピー］

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 以下の項目をタップ

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけたり、SMSを作成します。 ▶P.120「SMSを送る」 ・au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.120「SMSを送る」
アドレス帳登録	▶P.81「他の機能から連絡先に登録する」
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 以下の項目をタップ

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

- 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存できます。

1 受信メール内容表示画面（▶P.99）／送信メール内容表示画面（▶P.99）／未送信メール内容表示画面／検索結果内容表示画面で本文をロングタッチ

2 ［画像保存］

3 保存したい画像にチェックを付ける

［全選択］をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 ［保存先選択］

保存先選択画面が表示されます。

5 ［保存］

選択した画像がmicroSDメモリカードの「MyFolder」に保存されます。

memo

- 保存先選択画面で「Up」を何度かタップすると、内部メモリ（sdcard）配下のフォルダを選択できます。
- 未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください（▶P.113）。

Eメールトップ画面でできること

1 **Eメールトップ画面（▶P.94）▶［ ☰ ］**

2 **以下の項目をタップ**

検索	▶P.110「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.108「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除したいフォルダにチェックを付ける ▶「削除」▶「削除」** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。［削除しない］をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.111「Eメールを設定する」

au one メール	au one メール Top	▶P.126「au one メールを利用する」
	au one メールへ自動保存	Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **「次へ」▶ セキュリティパスワード入力欄をタップ ▶ セキュリティパスワードを入力 ▶「OK」▶ 画面に従って設定する** • あらかじめau one メールの会員登録を行ってください（▶P.126）。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 **Eメールトップ画面（▶P.94）▶［フォルダ作成］**

フォルダ編集画面が表示されます。

2 **フォルダ名称欄をタップ ▶ フォルダ名を入力**

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

《フォルダ編集画面》

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 **画面左上のフォルダアイコンをタップ**

4 **アイコンを選択 ▶ カラーを選択 ▶［OK］▶［保存］**

■ フォルダ画像を設定する場合

3 **画面左上のフォルダアイコンをタップ ▶［ギャラリーから写真を選択］**

4 **画像を選択 ▶ 切り抜き範囲を指定 ▶［切り抜き］▶［OK］▶［保存］**

■フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 **Eメールトップ画面（▶P.94）▶［ ☰ ］▶［フォルダ編集］▶ フォルダを選択**

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を追加する場合

2 **［振分け条件追加］▶［ ▾ ］**

3 **以下の項目をタップ**

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力 ▶［OK］▶［保存］** ・「 👤 」をタップすると､「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力 ▶［OK］▶［保存］** ・「 👤 」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力 ▶「OK」▶「保存」** ・ 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

メール

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 ［アドレス帳登録外］／［不正なメールアドレス］にチェックを付ける ▶ ［保存］

memo

- 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- ［振分け条件設定］の一覧で、追加した条件の右横にある「 × 」をタップして、条件を編集したり削除することができます。
- 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションを設定できます。

1 Eメールトップ画面（▶P.94）▶［ ☰ ］▶［フォルダ編集］▶ 受信ボックス／フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 ［フォルダ別設定］

3 以下の項目をタップ

項目		説明
着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリケーションにプリセットされている着信音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは、内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **「OFF」／パターンを選択 ▶「OK」▶「OK」▶「保存」**
LED		着信ランプを設定します。
着信音鳴動時間		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめEメール設定メニューの「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.111）。

1 Eメールトップ画面（▶P.94）▶［ ☰ ］▶［フォルダ編集］▶ 受信ボックス／作成したフォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

2 ［フォルダロック］▶ フォルダロック解除パスワードを入力 ▶［OK］

「フォルダロック」にチェックが付きます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 ［保存］

フォルダを並び替える

1 Eメールトップ画面（▶P.94）▶ 移動したいフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 そのまま指を離さず、移動したい位置にドラッグ

3 移動したい位置まできたら、指を離す

memo

- 「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」は移動できません。

Eメールを検索する

1 Eメールトップ画面（▶P.94）▶［ ☰ ］▶［検索］

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面 ▶「 ☰ 」▶「検索」と操作します。

《検索結果一覧画面》

2 キーワード入力欄をタップ ▶ キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 ［ 🔍 ］／［ 🔍 ］

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

■検索結果を絞り込む場合

4 ［From］／［To］／［件名］／［本文］

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

1 Eメールトップ画面（▶P.94）／受信メール一覧画面（▶P.98）／送信メール一覧画面（▶P.98）／未送信メール一覧画面（▶P.98）／検索結果一覧画面（▶P.110）▶［☰］▶（［その他］▶）［Eメール設定］

Eメール設定メニューが表示されます。

Eメールトップ画面では「その他」をタップする必要はありません。

《Eメール設定メニュー》

2 以下の項目をタップ

受信・表示設定		▶P.112「受信・表示に関する設定をする」
送信・作成設定		▶P.114「送信・作成に関する設定をする」
通知設定		▶P.115「通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定※	**保存場所の設定**	添付ファイルの保存場所を設定します。 ・「本体メモリに保存」をタップした場合は、本体メモリに保存します。 ・「ストレージに保存」をタップした場合は、内部ストレージに保存します。
	添付ファイル一括移動	添付ファイルを一括で移動します。 ・「ストレージへ一括移動」をタップした場合は、内部ストレージへ移動します。 ・「本体メモリへ一括移動」をタップした場合は、本体メモリへ移動します。
パスワード設定	**パスワード設定／パスワード変更**	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力▶「OK」▶同じパスワードを再度入力▶「OK」▶ひみつの質問を選択▶「OK」▶ひみつの質問の回答を入力▶「OK」** ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。「表示する」▶回答を入力▶「OK」と操作すると、新しいパスワードを設定できます。

パスワード設定	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力▶「OK」▶「リセット」** ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更・その他の設定		▶P.115「アドレスの変更やその他の設定をする」
設定更新		Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元		▶P.116「Eメールをバックアップ/復元する」
Eメール情報		自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄をタップ▶「アドレスコピー」と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

※ 受信/送信/未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを表示・保存する」(▶P.95)にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定メニュー▶[受信・表示設定]**

2 **以下の項目をタップ**

メール自動受信		サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。

メール

メール受信方法	**指定全受信**	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳**：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録する • [ ] をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除したいアドレスの「 」▶「削除」と操作します。
	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。 • 受信メール一覧画面（▶P.98）で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。

添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ	Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
テーマ設定	テーマを設定します。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー ▶［送信・作成設定］

2 以下の項目をタップ

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **「設定する」▶ 返信先のEメールアドレス（半角64文字まで）を入力 ▶「OK」**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **「設定する」▶ 差出人名称（全角12／半角24文字まで）を入力 ▶「OK」**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **「設定する」▶ 冒頭文（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力 ▶「完了」▶「設定」** ・冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **［設定する］▶ 署名（全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力 ▶［完了］▶［設定］** ・署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「＞」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合、または冒頭文か署名に画像／デコレーション絵文字を設定している場合は、1行目の行頭のみ「＞」を付けて引用します。
送信時確認表示	送信時に誤送信を防止のための確認画面を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー ▶［通知設定］

2 以下の項目をタップ

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	プリセット	Eメールアプリケーションにプリセットされている着信音を設定します。
	ストレージから探す	microSDメモリカードまたは、内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリケーションを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **「OFF」／パターンを選択 ▶「OK」**
LED		着信ランプを設定します。 **「OFF」／点滅パターンを選択 ▶「OK」**
着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知		Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知		Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定メニュー ▶［アドレス変更・その他の設定］▶［接続する］

2 以下の項目をタップ

Eメールアドレスの変更		EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶「送信」 2.「承諾する」 3.Eメールアドレス入力欄をタップ ▶ Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力 ▶「送信」▶「OK」 ・Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 ・変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ・入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 ・Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター		▶P.117「迷惑メールフィルターを設定する」
	オススメの設定はこちら	▶P.117「おすすめの設定にする場合」

自動転送先	本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶「送信」 2.入力欄をタップ ▶ 自動転送先のEメールアドレスを入力 ▶「送信」▶「終了」 • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

• 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとにmicro SDメモリカード（/mnt/sdcard/external_sd/private/au/email/BU）にバックアップできます。ただし、micro SDメモリカードが挿入されていない場合は内部ストレージ（/mnt/sdcard/private/au/email/BU）にバックアップされます。
バックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

• バックアップしたデータ（復元できるデータ）はmicro SDメモリカード、内部ストレージいずれからも読み込むことができます。

Eメールをバックアップする

1 Eメール設定メニュー ▶［バックアップ・復元］

2 ［バックアップ］

3 バックアップしたいフォルダにチェックを付ける ▶［OK］

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

1 Eメール設定メニュー ▶［バックアップ・復元］

2 ［メールを復元］

3 ［受信メール］／［送信メール］／［未送信メール］／［ストレージから探す］▶［OK］

microSDメモリカードが挿入されている場合は、microSDメモリカードに保存されているバックアップデータが表示されます。

- 内部ストレージに保存されたバックアップデータを読み込む場合は、「ストレージから探す」▶「OK」▶「Up」を複数回タップして、「sdcard」フォルダを選択してください。

4 復元したいバックアップデータにチェックを付ける ▶［OK］

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 ［追加保存］／［上書き保存］▶［OK］

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

- 添付ファイルはバックアップされません。
- バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます）、バックアップしたEメールを復元します。
- 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールをサーバ転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定メニュー ▶［アドレス変更・その他の設定］▶［接続する］

■ おすすめの設定にする場合

2 ［オススメの設定はこちら］▶［登録］

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■ 詳細を設定する場合

2 ［迷惑メールフィルター］▶ 暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶［送信］

3 以下の項目をタップ

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メール、および迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。

個別設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	迷惑メールおまかせ規制	メールサーバで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを検知して規制します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（中）（低）の3つの設定があります。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	ウィルスメール規制	メールサーバで受信したメールの添付ファイルがウィルスに感染されている場合に、受信規制します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかどうかを設定します。
指定受信リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」をすべて無効にしてください。 • 「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」を設定すると、「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
指定拒否リスト設定		個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
アドレス帳受信設定		Friends Noteまたはauアドレス帳に保存されているメールアドレスからのメールを受信します。
設定確認／解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行		▶P.119「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって		迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
  指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信＞迷惑メールおまかせ規制＞ウィルスメール規制
- 「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト（なりすまし・転送メール許可）に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
  ※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
- 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTML規制」を設定している場合でも受信できます。
- 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
  この判定は、送られてきたEメールのヘッダー部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダー、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダー、メール配信会社などにお問い合わせください。
  ※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）」に登録してください。
  ※ 指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）でezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。
auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。
15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送る

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。送信完了時には、相手の方にメールが届いたかどうかが分かります。
海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。
「010」＋「国番号」＋「相手先電話番号」

※ 連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。
※ 相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

1 **ホーム画面 ▶ [SMS] ▶ [新規作成]**
送信メール作成画面が表示されます。

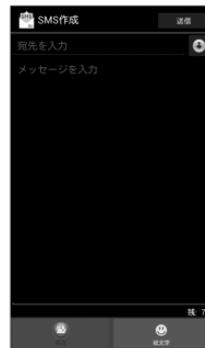
2 **[ ]**
宛先入力欄をタップして電話番号を直接入力することもできます。

3 **アドレス帳引用／送信履歴引用／受信履歴引用を選択 ▶ 宛先を選択**

4 **メッセージ入力欄をタップ ▶ メッセージを入力**
メッセージは、全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

《SMS作成画面》

5 **[送信]**
送信が完了すると、相手の方にメールが届いた旨のメッセージか、メールが蓄積された旨のメッセージが表示されます。送信したメールは送信ボックスに保存されます。

memo

- 送信メール作成画面 ▶「保存」／「⮌」をタップすると、メールを送信せずに送信ボックスへ保存できます。
- SMSの受信料は、無料です。
- 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
- ＳＭＳセンターでは72時間までＳＭＳをお預かり（蓄積）します。蓄積されてから72時間経過したＳＭＳは、自動的に消去されます。なお、SMSのお預かり可能件数に制限はありません。
- 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
- 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次のとおりです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

- 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- 絵文字を他通信事業者の携帯電話に送信すると、一部他通信事業者の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。
また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
- SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご確認ください。（http://www.au.kddi.com/service/kokusai/kokusai_sms/index.html）

SMSを受け取る

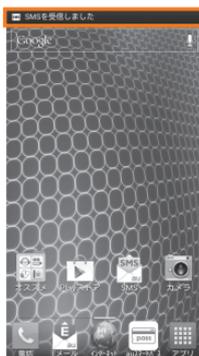
1 SMSを受信
SMSの受信が終了すると、ステータスバーに SMS が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにドラッグ

3 メールの情報を選択
SMSの受信ボックスが表示されます。

《受信完了画面》

memo

- SMSの受信は、無料です。
- 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを確認する

1 ホーム画面 ▶ [SMS]
SMSメニュー画面が表示されます。

2 [受信ボックス] ／ [送信ボックス] をタップ
ＳＭＳの受信ボックス／送信ボックス画面が表示されます。

《SMSメニュー画面》

memo

- ＳＭＳの数が設定した上限を超えると、古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。端末内部メモリの空き容量が不足すると、メールの送信や受信ができません。

メール

■受信ボックス画面の見かた

《受信ボックス画面》

1. 本文検索
2. アイコン
   - ●：未読
   - ◀：返信済
   - なし：既読
3. 受信したSMS
4. 受信日時
5. 保護されたSMS

■送信ボックス画面の見かた

《送信ボックス画面》

1. 本文検索
2. アイコン
   - ：編集中
   - ：送信済
   - ：送信エラー
3. 送信したSMS
4. 送信日時
5. 保護されたSMS

受信ボックス／送信ボックス画面でできること

1 SMSメニュー画面 ▶［受信ボックス］／［送信ボックス］をタップ

■SMSを検索する

2 本文検索欄をタップ ▶ キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

3 ［検索］

検索結果画面が表示されます。

■受信メッセージ／送信メッセージメニューを利用する

2 SMSをロングタッチ

3 以下の項目をタップ

アドレス帳へ登録	連絡先に追加します。
音声電話	送信元に電話をかけます。
受信フィルター登録※1	指定番号リストに登録します。
送達結果情報表示※2	SMSの送達結果を表示します。

※1　受信ボックス画面のみ表示されます。
※2　送信ボックス画面のみ表示されます。

■受信ボックス／送信ボックスメニューを利用する

2 ［☰］

3 以下の項目をタップ

設定	SMSの設定を変更できます。
削除	SMSを選択して削除、または全件削除します。

受信メッセージ／送信メッセージ画面でできること

1 受信ボックス／送信ボックス画面 ▶ 表示したいSMSをタップ

2 以下の項目をタップ

項目	説明
返信※1	SMSを返信します。
再送信※2	SMSを再送信します。
送信※3	SMSを送信します。
編集	受信したSMSを編集して送信できます。
削除	SMSを削除します。
保護／保護解除	SMSを保護／保護解除します。

※1　受信したSMSのみ表示されます。
※2　送信したSMSのみ表示されます。
※3　未送信のSMSのみ表示されます。

差出人／宛先／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メッセージ／送信メッセージ画面

■差出人／宛先／本文中の電話番号を利用する場合

2 差出人／宛先／本文中の電話番号をタップ

3 以下の項目をタップ

項目	説明
SMS	選択した電話番号にSMSを送信します。
電話	選択した電話番号に電話をかけます。

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリケーションを選択してEメールを作成

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 アプリケーションを選択してブラウザを起動

選択したURLのページが表示されます。

memo

- 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります。（▶ P.126「SMS安心ブロック機能を設定する」）
- アプリケーション選択画面で「常時」をタップすると、次回以降は選択したアプリケーションが自動で選択されます。

SMSを設定する

1 SMSメニュー画面 （▶P.122）▶［SMS設定］

SMS設定メニューが表示されます。

《SMS設定メニュー画面》

2 以下の項目をタップ

項目		説明
通知設定		SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音		SMS受信時の着信音を設定します。
バイブレーション		SMS受信時のバイブレーションを設定します。
LED		SMS受信時にLEDを点滅させるかどうかを設定します。
文字サイズ		受信メッセージ／送信メッセージ／ SMS作成画面の本文の文字サイズを設定します。
署名		署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集		署名を編集できます。
受信フィルター	**指定番号**	指定した電話番号からの受信メッセージを拒否するかどうかを設定します。
	指定番号リスト	指定番号の追加／削除ができます。
	アドレス帳登録外	アドレス帳にない電話番号からの受信メッセージを拒否するかどうかを設定します。
送達確認		送信メッセージの送達確認の設定をします

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

- SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
- ブロック対象のSMSは、通常のSMS（ぷりペイド送信含む）です。お留守番サービスEX（伝言お知らせ）、着信お知らせサービス、待ちうた情報お知らせサービスは、対象外です。

■SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信します。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信します。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信します。

※ 設定時のSMS送信は無料です。
※ 設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され、送信されません。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。

memo

- au one メールの機能や設定については、ホーム画面 ▶［Eメール］▶［ ☰ ］▶［au one メール］▶［au one メールTOP］▶［ヘルプ］と操作し、ヘルプの各項目をご参照ください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「～@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau IDが必要です。「au IDを設定する」（▶P.45）をご参照ください。

1 **Eメールトップ画面 ▶［ ☰ ］▶［au one メール］▶［au one メールTop］**

アプリケーションを選択画面が表示されます。［インターネット］または［Chrome］を選択し、［常時］または［1回のみ］をタップします。
- ［常時］を選択した場合、次回からは表示されなくなります

2 **ログイン方法を選択**

- ［かんたんログイン］を選択した場合、認証されると会員登録画面が表示されます。
  操作5に進んでください。
- ［au IDとパスワードを入力してログインする］を選択した場合、ログイン画面が表示されます。
  操作3へ進んでください。

3 au IDとパスワードを入力 ▶ [ログイン]

4 [保存しない] ／ [保存] ／ [今は保存しない]

会員登録画面が表示されます。

- [保存しない] ／ [保存] を選択した場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

5 画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む

6 [規約に同意して登録する]

登録内容の確認画面が表示されます。

7 [上記の内容で登録する]

会員登録が完了します。

memo

- 一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
- au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は以下の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面 ▶ [☰] ▶ [au one メール] ▶ [au one メールTop]

au one メールのデスクトップ画面（受信トレイ）が表示されます。

2 「au one メール表示：」の「標準」をタップ

受信トレイがau one メールの表示形式で表示されます。
画面を上へスライドして「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

■au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド（最初のメールへの返信）単位で表示されます。重要なメールにスター（星印）を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへの自動保存機能	Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます（P.107）。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、本製品の連絡先と同期することができます。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページ、または受信トレイ画面 ▶［☰］▶［ヘルプ］でGoogleのヘルプをご参照ください。
- サービスの内容は、予告なく変更される場合があります。

Gmailを起動する

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［Gmail］**

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

❶ **アカウント名**

❷ **メール**

既読メッセージの背景色はグレーになります。

❸ **チェックボックス**

タップするとチェックが入り、メニューが表示されます。目的のメールにチェックを入れて、メニューを選択します。

❹ **新規作成**

❺ **検索**

❻ **すべてのラベルを表示**

❼ **更新**

❽ **未読メール件数**

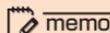
❾ **ラベル**

ラベルが設定されているメールに表示されます。

❿ **添付ファイルアイコン**

ファイルが添付されているメールに表示されます。

⓫ **スターアイコン**

タップするとスター付きを設定／解除できます。スター付きを設定すると、受信トレイ画面 ▶「 」▶「スター付き」で設定したメールのみを表示することができます。

memo

- 受信トレイ画面 ▶「☰」▶「設定」▶「全般設定」▶「チェックボックスを表示しない」でチェックボックスの表示／非表示を設定できます。

Gmailのアカウントを切り替える

1 受信トレイ画面 ▶ アカウント名をタップ

2 アカウントを選択

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面 ▶ [ ]

Gmailを送信する

1 受信トレイ画面 ▶ [ ]

2 宛先入力欄を選択 ▶ 宛先を入力

Cc、Bccを追加する場合は、[ ] ▶「Cc/Bccを追加」をタップします。

3 件名入力欄を選択 ▶ 件名を入力

4 本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力

画像を添付する場合は、[ ] ▶「ファイルを添付」▶ 画像を選択します。

5 [ ]

送信済みGmailを表示する

1 受信トレイ画面 ▶ [ ] ▶ [送信済みメール]

Gmailを受信する

1 Gmailを受信すると

Gmailを受信すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

スレッドを操作する

1 受信トレイで操作するスレッドをロングタッチ

2 必要な項目を選択

- 「 」を選択すると、スレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたスレッドは受信トレイに表示されません。
- 「 」▶「ミュート」を選択すると、スレッドを非表示にします。
- 「 」▶「迷惑メールを報告」を選択すると、スレッドをスパムとして報告します。

memo

- 「 」をタップすると、スレッドごと削除されます。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。
- アーカイブまたはミュートにして受信トレイに表示されなくなったスレッドは、受信トレイで「 」▶「すべてのメール」をタップすると表示できます。アーカイブまたはミュートしたスレッドを受信トレイに戻すには、「すべてのメール」でスレッドをタップ▶「 」▶「受信トレイ」にチェック▶「OK」をタップします。
- 本製品ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。
- 受信トレイでチェックボックスをタップすると複数のスレッドを選択して操作できます。

Gmailを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、本製品内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。検索の詳細についてはGmailサイトをご覧ください。

1 受信トレイ画面▶[ ]

2 検索する文字列を入力▶[ ]

Gmailを返信/転送する

1 受信メール内容表示画面▶[ ]/[ ]▶[全員に返信]/[転送]

新着Gmail通知を設定する

メールを受信したときに、通知アイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面▶[ ]▶[設定]▶設定を変更するアカウントをタップ▶[ラベルの管理]▶[受信トレイ]

受信トレイ画面▶[ ]▶[設定]▶設定を変更するアカウントをタップ▶[メール着信通知]にチェックを付ける▶[着信音とバイブレーション]でも、同じ設定画面を表示できます。

2 以下の項目をタップ

メールの同期	サーバーとの同期の設定を行います。
メール着信通知	メール受信時に通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音	メール受信時の音を設定します。
バイブレーション	メール受信時のバイブレータの動作を設定します。
最初の新着メールのみ通知	最初の新着メールのみ通知するかどうかを設定します。

署名を設定する

送信時の署名を設定できます。

1 受信トレイ画面▶[ ]▶[設定]▶設定を変更するアカウントをタップ▶[署名]

2 署名を入力▶[OK]

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

memo

- LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、[☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] から、「LTE NET for DATA」を選択してください。

memo

- 最大通信速度受信75Mbps ／送信25Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
  ※ ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。
- LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／ auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額サービスのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※ 通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

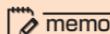
ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにＷｅｂページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面▶［インターネット］

ブラウザ画面が表示されます。

memo

- 非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ブラウザ画面でURL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの［実行］

memo

- URL表示欄にキーワードを入力した場合、「検索エンジンの設定」で設定した検索エンジンで検索します。

ツールバーを利用する

ブラウザ画面の下部を上方向にスライドすると、ツールバーを表示できます。

1 **ブラウザ画面の下部を上方向にスライドする**

ツールバーが表示されます。

❶ **戻る**

❷ **進む**

❸ **拡大／縮小**

ロングタッチしたまま本製品を傾けると、ページを拡大／縮小表示します。

❹ **ウィンドウ追加**

ウィンドウを追加してホーム画面を表示します。

❺ **ブックマーク**

ブックマーク画面を表示します。

❻ **ウィンドウ**

ウィンドウ一覧画面を表示します。

ブラウザ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **ブラウザ画面 ▶ [☰]**

再読み込み	表示しているページを再読み込みします。
ブックマークに保存	ブックマークを追加します。（▶P.136）
ホームページに移動※	ホームページとして設定しているサイトに移動します。
ページの共有	表示しているサイトのURLをメールやBluetooth®、Facebookなどで送信できます。
ページ内を検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
PC版サイトを表示	PC版のサイトを表示します。
オフライン用に保存	表示しているサイトを保存します。保存したサイトは後で読むことができます。
設定	▶P.138「ブラウザを設定する」
終了する	インターネットを終了します。

※ ホームページを表示している場合は、選択できません。

■ コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンクまたは画像／メールアドレス／電話番号をロングタッチ

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したリンク先を新しいウィンドウで表示します。
リンクを保存	選択したリンク先をリンク先のファイル形式でmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存します。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
画像を保存	選択した画像をmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存します。 ※ 保存された画像は、表示できない場合もあります。
画像を表示	選択した画像を表示します。
壁紙に設定	選択した画像を壁紙に設定します。
メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
発信	選択した電話番号に電話をかけたり、SMSを送信できます。
連絡先を追加	選択した電話番号を連絡先に登録します。
地図	選択した位置情報の地図を表示します。
コピー	選択したメールアドレスや電話番号などの情報をコピーします。
テキストの選択	テキストを選択できます。

memo

- 壁紙に設定した画像は保存はされないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を利用することもできません。

ブックマーク／履歴を利用する

1 **ブラウザ画面 ▶ ツールバーを表示 ▶ [★]**

ブックマーク画面が表示されます。

❶ **「ブックマーク」タブ**
登録されているブックマークを表示します。

❷ **「閲覧履歴」タブ**
サイトの閲覧履歴を表示します。

❸ **「保存したページ」タブ**
オフライン用に保存したサイトを表示します。

2 **表示したいサイトを選択**

ブックマークに追加する

表示中のサイトをブックマークに追加します。

1 **[☰] ▶ [ブックマークに保存]**

ブックマーク追加画面が表示されます。

2 **[OK]**

ブックマーク画面を利用する

■ **オプションメニューの場合**

1 **ブックマーク画面 ▶ [☰]**

2 **以下の項目をタップ**

ブックマークを追加	ブックマークの追加画面を表示します。
フォルダー追加	フォルダーを追加します。
削除	選択したブックマークを削除します。
移動	選択したブックマークを移動します。

■ コンテキストメニューの場合

1 ブックマーク画面でブックマークをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

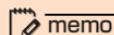
開く	選択したブックマークのサイトを表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したブックマークのサイトを新しいウィンドウで表示します。
ブックマークの編集	選択したブックマークを編集します。
ショートカットを追加	選択したブックマークのショートカットをデスクトップに作成します。
リンクを共有	選択したブックマークのサイトのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
URLをコピー	選択したブックマークのサイトのURLをコピーします。
ブックマークの削除	選択したブックマークを削除します。
ホームページに設定	ブラウザを起動したときや、新規にウィンドウを開いたときに表示するサイトとして設定します。

履歴を確認する

閲覧したサイトの履歴を確認できます。

1 ブックマーク画面 ▶「閲覧履歴」

閲覧履歴画面が表示され、閲覧したサイトの履歴が一覧で表示されます。

memo

- ［★（黄色）］／［★（灰色）］と操作すると、選択した履歴をブックマークに登録／削除できます。

閲覧履歴画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 閲覧履歴画面 ▶［☰］▶［すべての履歴をクリア］

ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。

■ コンテキストメニューの場合

1 閲覧履歴画面で履歴をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

開く	選択した履歴のサイトを表示します。
新しいウィンドウで開く	選択した履歴のサイトを新しいウィンドウで表示します。
ブックマークに保存※1	選択した履歴をブックマークに登録します。 • 登録時に名前や場所（URL）を編集できます。
ブックマークの削除※2	選択した履歴をブックマークから削除します。
リンクを共有	選択した履歴のサイトのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
URLをコピー	選択した履歴のサイトのURLをコピーします。
閲覧履歴の削除	選択した履歴を削除します。
ホームページに設定	ブラウザを起動したときや、新規にウィンドウを開いたときに表示するサイトとして設定します。

※1　ブックマークに登録されていない場合に表示されます。
※2　ブックマークに登録されている場合に表示されます。

ブラウザを設定する

1 ブラウザ画面 ▶ [☰] ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ

全般	ホームページ設定や、ツールバーを表示するかどうか、フォームの自動入力を設定します。
プライバシーとセキュリティ	キャッシュ、閲覧履歴、Cookie、パスワードなどの設定や消去を行います
ユーザー補助	テキストサイズや、ダブルタップ時のズーム倍率などの設定を行います。
詳細設定	検索エンジンや、JavaScript、表示倍率などを設定します。また、ブラウザの設定を初期設定に戻すことができます。
帯域幅の管理	検索結果のプリロードや、画像の表示するかどうかを設定します。
Labs	クイックコントロールや全画面モードを使用するかどうかを設定します。

マルチメディア

カメラを利用する

このカメラでできること

本製品は有効画素数約1300万画素のCMOSアウトカメラと約130万画素のCMOSインカメラを搭載し、フォトやムービーの撮影ができます。
電池残量が少なくなった場合は、カメラを起動できません。撮影したフォトまたはムービーはすべてmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されます。

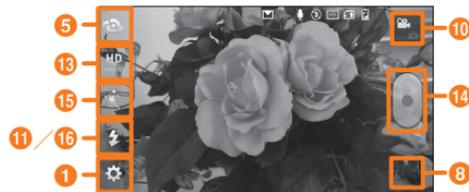
カメラをご利用になる前に

- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード設定中でもシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影や保存をすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「白熱灯」に設定して撮影すると改善されます。
- 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ムービー撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。

- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついたフォトなどになる可能性があります。不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- プレビュー画面の表示、カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 他のアプリケーションを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

カメラ画面の見かた

撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

《フォトモニター画面》

《ムービーモニター画面》

❶ **設定**
静止画：クイックメニューの編集／フラッシュ／ズーム／画面の明るさ／フォーカス／画像サイズ／撮影シーン／ISO／ホワイトバランス／色調調整／タイマー／位置情報の記録／左右反転して保存※1／シャッター音／オートレビュー／ストレージ／リセット／カメラヘルプガイド
動画：クイックメニューの編集／ズーム／画面の明るさ／ホワイトバランス／色調調整／位置情報の記録／録音／オートレビュー／ストレージ／リセット／ビデオのヘルプガイド

❷ **撮影モード※2**
撮影モードを選択します。（ノーマル／HDR／パノラマ／連続撮影）

❸ **タイムキャッチショット**
シャッターを押す1秒前に数枚の写真を撮影します。

❹ **ボイスシャッター※3**
「チーズ」など、特定のキーワードを言うことで静止画を撮影するモードに切り替えます。

❺ **カメラ切替**
インカメラとアウトカメラを切り替えます。

❻ **フォーカス枠※2**

❼ **撮影可能枚数※3**

❽ **直前に撮影したデータ**

❾ **シャッター※3**

❿ **静止画／動画撮影モード切り替えボタン**

⓫ **画面の明るさ※4**

⓬ **ビューティーショット※1**
画面に表示されるバーで顔の明るさとシミ取り効果を調整します。

⓭ **ビデオサイズ※5**
撮影サイズを選択します。

⓮ **録画／停止※5**

⓯ **ライブ効果※5**

⓰ **フラッシュ※6**

※1　静止画撮影（インカメラ）の場合のみ表示されます。
※2　静止画撮影の場合のみ表示されます。
※3　静止画撮影／静止画撮影（インカメラ）の場合に表示されます。
※4　静止画撮影（インカメラ）／動画撮影（インカメラ）の場合に表示されます。
※5　動画撮影の場合／動画撮影（インカメラ）の場合に表示されます。
※6　動画撮影の場合のみ表示されます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ/AV機能］▶［カメラ］

フォトモニター画面が表示されます。
ムービーモニター画面では［ ］をタップすることで、フォトモニター画面を表示することができます。

2 ［ ］

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。
「オートレビュー」（▶P.147）を「OFF」以外に設定している場合は、撮影直後にフォトプレビュー画面が表示されます。

memo

オートフォーカスロックについて

- フォトモニター画面でピントを合わせたい場所をタップすると、タップした場所にピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が表示されロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が白色で表示されます。
- 「フォーカス」を「顔追跡」に設定している場合は、オートフォーカス枠を移動して被写体を検出すると、被写体が動いてもオートフォーカス枠が追跡します。

フォトプレビュー画面について

❶ **設定**
撮影したデータをホーム画面の背景や連絡先のアイコンに設定します。

❷ **共有**
撮影したデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、Google+などにアップロードしたりできます。

❸ **新しく撮影**
フォトモニター画面が表示されます。

❹ **削除**
撮影したデータを削除します。

動画を録画する

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ/AV機能］▶［カメラ］▶［ ］**
ムービーモニター画面が表示されます。

2 **［ ］**
録画が開始されます。

3 **［ ］**
録画したデータが自動的に保存されます。
「オートレビュー」（▶P.147）を「OFF」以外に設定している場合は、録画停止直後にムービープレビュー画面が表示されます。

memo

- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に録画を停止・保存します。
- 録画中に着信があった場合は、録画を停止・保存して着信画面が表示されます。「オートレビュー」（▶P.147）を「OFF」以外に設定している場合は、着信終了後または通話終了後に、ムービープレビュー画面が表示されます。

ムービープレビュー画面について

❶ **再生**

アプリケーションを選択して録画したデータを再生できます。

❷ **共有**

録画したデータをBluetooth®、メール添付などで送信したり、Google+などにアップロードしたりできます。

❸ **削除**

録画したデータを削除します。

❹ **新しく録画**

ムービーモニター画面が表示されます。

撮影モードを切り替えて撮影する

1 **フォトモニター画面**

2 **［ ］をタップ**

撮影モード設定画面が表示されます。

3 **以下の項目をタップ**

ノーマル	▶P.142「静止画を撮影する」
HDR	▶P.145「HDRで撮影する」
パノラマ	▶P.145「パノラマ写真を撮影する」
連続撮影	▶P.145「連続してフォトを撮影する」

パノラマ写真を撮影する

連続した写真を合成してパノラマ写真を作成します。

1 **[ ] ▶ [パノラマ]**

パノラマモードでフォトモニター画面が起動します。

2 **[ ]**

パノラマ撮影が開始されます。

3 **[ ] [ ] の方向にカメラを動かす**

画面端のゲージが満たされると、撮影したデータが自動的に保存されます。

「オートレビュー」(▶P.147)を「OFF」以外に設定している場合は、撮影直後にフォトプレビュー画面が表示されます。

撮影中に[ ]をタップすると撮影を停止します。

HDRで撮影する

異なる露出で複数回撮影することで、よりリアルな写真を作成します。

1 **[ ] ▶ [HDR]**

HDRモードでフォトモニター画面が起動します。

2 **[ ]**

HDR撮影が開始されます。

連続してフォトを撮影する

1回の撮影で連続したフォトを撮影できます。

1 **[ ] ▶ [連続撮影]**

連続撮影モードでフォトモニター画面が起動します。

2 **[ ]**

6枚のフォトの撮影が開始されます。

「オートレビュー」(▶P.147)を「OFF」以外に設定している場合は、撮影が完了した後、連続撮影したすべてのフォトのサムネイル表示画面が表示されます。サムネイル表示画面で[ ] ▶ 撮影した画像を選択 ▶ [ ] ▶ [はい] と操作すると撮影した画像を削除できます。

連写中に[ ]をタップすると撮影を中止します。

その他の操作については、「フォトプレビュー画面について」(▶P.143)をご参照ください。

memo

- 連続撮影での撮影時は、画像サイズは1536×864固定になります。

設定を利用する

1 フォトモニター画面／ムービーモニター画面 ▶ [⚙]

2 以下の項目をタップ

クイックメニューの編集	-	クイックメニューに登録するメニューを編集します。
フラッシュ※1	OFF	フラッシュのON／OFFを切り替えます。
	ON	
	オート	
ズーム※2	16段階	
画面の明るさ※2	+2～-2	
フォーカス※1	オート	指定した位置（オート／顔追跡）にフォーカスを合わせます。
	顔追跡	
画像サイズ※3	13M（4208x3120）	撮影サイズを選択します。
	8M（3264x2448）	
	W6M（3264x1836）	
	5M（2560x1920）	
	3M（2048x1536）	
	W3M（2304x1296）	
	1M（1280x960）	
	W1M（1536x864）	
撮影シーン※3	ノーマル	撮影シーンに応じて自動調整します。
	ポートレイト	人物の撮影に適しています。
	風景	木や花などの自然な風景の撮影に適しています。
	スポーツ	スポーツなど動きが激しい被写体の撮影に適しています。
	夕日	夕日などの撮影に適しています。
	夜景	夜景の撮影に適しています。スローシャッターを使用します。
	スマートシャッター	赤ちゃんや舞台など被写体の動きが激しい場合に、一定照度の屋内などで、ブレずに撮影するのに適しています。
ISO※1	オート	ISO感度を設定します。
	400	
	200	
	100	

ホワイトバランス	オート	自動で色合いを調整します。
	白熱灯	白熱灯での撮影に適しています。
	晴天	晴れた屋外での撮影に適しています。
	蛍光灯	蛍光灯での撮影に適しています。
	曇り空	日陰や曇った屋外での撮影に適しています。
色調調整	なし	色調調整を行いません。
	モノクロ	モノトーンにします。
	セピア	セピア調にします。
	ネガティブ処理	明暗を反転します。
タイマー※3	OFF	シャッターを押してから撮影されるまでの時間を設定します。
	3秒	
	5秒	
	10秒	
位置情報の記録	OFF	撮影したときの位置情報を記録します。
	ON	
左右反転して保存※4	OFF	左右を反転して記録します。
	ON	

シャッター音※3	トーン1	撮影するときのシャッター音を設定します。
	トーン2	
	トーン3	
	トーン4	
録音※5	OFF	映像のみ記録します。
	ON	映像と音声の両方を記録します。
オートレビュー	OFF	撮影後に撮影した画像を表示します。
	ON	
	2秒	
	5秒	
ストレージ	撮影した写真や動画の保存先を設定します。	
リセット	カメラのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	

カメラヘルプガイド※3	ボイスシャッター	ボイスシャッターのヘルプを表示します。
	タイムキャッチショット	タイムキャッチショットのヘルプを表示します。
	HDR	HDRのヘルプを表示します。
	パノラマ	パノラマ撮影のヘルプを表示します。
	連続撮影	連続撮影のヘルプを表示します。
ビデオのヘルプガイド※5	ライブ効果	ライブ効果のヘルプを表示します。

※1　静止画撮影の場合のみ表示されます。
※2　静止画撮影／動画撮影の場合に表示されます。
※3　静止画撮影／静止画撮影（インカメラ）の場合に表示されます。
※4　静止画撮影（インカメラ）の場合のみ表示されます。
※5　動画撮影の場合のみ表示されます。

memo

- 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

顔追跡について

- 被写体の色が薄い場合や背景と被写体が同系色の場合は、正しく検出できないことがあります。
- 被写体の動きが速い場合、追跡できない場合があります。

タッチフォーカスについて

- オートフォーカス枠が表示されているときは、タップした位置にピントを合わせます。

ISO感度について

- ISO設定を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

位置情報について

- 位置情報を付加した画像をインターネットにアップロードした場合、撮影した位置が公開されますのでご注意ください。

動画や静止画を再生する

ギャラリーではmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存した画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ/AV機能］▶［ギャラリー］

アルバム選択画面が表示されます。
「 」をタップするとカメラが起動します。
「アルバム」をタップすると、アルバム表示／ロケーション表示／タイムスタンプ表示を切り替えることができます。

2 アルバムを選択

サムネイル表示画面が表示されます。
「 」をタップすると、アルバム選択画面に戻ります。

3 画像／動画を選択

画像を選択した場合は、画像1件表示画面が表示されます。
動画を選択した場合は、データの種別に応じたアプリケーションが起動して再生されます。再生するアプリケーションが複数存在する場合は、アプリケーション選択画面が表示される場合があります。アプリケーションを選択すると再生されます。

■ 画像1件表示画面の操作

画像をタップすると以下のメニューが表示されます。

：SmartShare　　：カメラに切替
：共有　　：削除

ギャラリーのメニューを利用する

1 アルバム選択画面／サムネイル表示画面／画像1件表示画面で［ ］

2 以下の項目をタップ

アルバムの新規作成※1	アルバムを新規作成します。
削除※1	データを削除します。
アルバム表示/非表示※1	アルバムを隠します。
設定※1	アカウントの設定、データ使用の設定を行います。
画像を設定※2	画像を壁紙や連絡先の写真に登録します。
トリミング※2	画像をトリミングします。
編集※2	画像を編集します。
ファイル情報※2	ファイル情報を表示します。
リネーム※2	画像の名前を変更します。
移動※3	画像を移動します。
コピー※3	データをコピーします。
左に回転する※3	画像を左に回転します。
右に回転する※3	画像を右に回転します。
スライドショー※3	データをスライドショーで再生することができます。

※1　アルバム選択画面の場合のみ表示されます。
※2　画像1件表示画面の場合のみ表示されます。
※3　サムネイル表示画面／画像1件表示画面の場合に表示されます。

ミュージックプレイヤーを利用する

「音楽」アプリケーションは、microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されたデジタルオーディオファイルを再生します。再生可能なファイル形式については、「表示／再生できる画像・ムービー」(▶P.287）をご参照ください。

memo

- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。
- 音楽データによっては、著作権により再生できないものがあります。

ミュージックライブラリ画面を表示する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ/AV機能］▶［音楽］

- ミュージックライブラリ画面が表示されます。
- 「音楽コントローラーガイド」画面が表示された場合は、［無効にする］／［有効］のいずれかをタップしてミュージックコントローラーを設定してください。
- ミュージックライブラリ画面は、「曲」「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」「プレイリスト」「フォルダー」の6つのタブがあります。タブをタップすると、再生できる曲を表示できます。

❶ **タブ**
曲の表示を「曲」、「アルバム」、「アーティスト」、「ジャンル」、「プレイリスト」、「フォルダー」に切り替えます。

❷ **曲名**

❸ **アーティスト名**

❹ **インデックス**

❺ **再生パネル**
⏮：前の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を巻き戻します。
⏸／▶：一時停止／再生します。
⏭：次の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

❻ **再生中の曲名／アーティスト名**

ミュージックライブラリ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [≡]

2 以下の項目をタップ

項目			説明
検索			ライブラリー内の曲／アーティストなどを検索します。
再生する音楽の選択			曲を選択して再生します。
プレイリストに追加			曲を選択してプレイリストに追加できます。
シャッフル（全曲）			すべての曲をシャッフル再生します。
共有			Bluetooth® やメール添付などで送信できます
削除			曲を選択して削除します。
設定※	全般	通知を表示	通知パネルにミュージックプレイヤーのコントローラーを表示するかどうかを設定します。
		スリープタイマー	ミュージックプレイヤーを停止するまでの時間を設定します。
	サウンド（ヘッドセットのみ）	オーディオエフェクト	オーディオエフェクトを設定できます。

※ 再生可能な音楽ファイルがない場合、「検索」「設定」のみ表示されます。

■ コンテキストメニューの場合

1 ミュージックライブラリ画面で曲名をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

項目	説明
再生	曲が再生されます。
プレイリストに追加	曲をプレイリストに追加できます。
共有	Bluetooth® やメール添付などで送信できます。
着信音として設定する	曲を着信音に設定できます。
削除	曲を削除します。
詳細情報	曲の詳細情報を表示します。
検索	同じタイトルの曲をYouTubeやブラウザ、音楽アプリから検索できます。

曲を再生する

microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されたカテゴリー別のコンテンツを表示して再生できます。

- microSDメモリカード内の楽曲の再生中に「メモリの使用量を確認する」（▶P.220）は行わないでください。

1 **ミュージックライブラリ画面で「曲」「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」「プレイリスト」「フォルダー」**

2 **曲名をタップ**

音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

❶ **戻る**
前の画面に戻ります。

❷ **YouTube検索**
YouTubeに接続し、再生中の曲を検索します。

❸ **シャッフル**
シャッフルのON／OFFを切り替えます。
ボタンのアイコンが白色だとシャッフルがON、グレーだとOFFであることを示します。

❹ **リピート設定**
リピートのON／OFFを切り替えます。
ボタンのアイコンが白色だと全曲リピート／1曲リピートがON、グレーだとOFFであることを示します。

❺ **シークバー**
ドラッグまたはタップすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。

❻ **曲名／アーティスト名／アルバム名**

❼ **再生経過時間**

❽ **音量調整ボタン**

❾ **お気に入りに追加**

❿ **「再生中」プレイリスト画面を表示する**

⓫ **曲全体の長さ**

⓬ **ドルビーモバイル**
ヘッドセットと接続するとサラウンドサウンドで音楽を聴くことができます。

⓭ **再生パネル**
⏮：再生中の曲の先頭から再生を始めます。
ダブルタップすると、前の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を巻き戻します。
⏸／▶：一時停止／再生します。
⏭：次の曲の先頭から再生を始めます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

memo

- 再生中は、ステータスバーに ▶ が表示されます。

音楽再生画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 音楽再生画面 ▶ [≡]

検索			曲を検索します。
プレイリストに追加			曲をプレイリストに追加できます。
共有			Bluetooth® やメール添付などで送信できます。
着信音として設定する			曲を着信音に設定できます。
削除			曲を削除します。
詳細情報			曲の詳細情報を表示します。
設定	全般	通知を表示	通知パネルにミュージックプレイヤーのコントローラーを表示するかどうかを設定します。
		スリープタイマー	ミュージックプレイヤーを停止するまでの時間を設定します。
	サウンド（ヘッドセットのみ）	オーディオエフェクト	オーディオエフェクトを設定できます。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用することで、好みの曲を集めて簡単に再生できます。プレイリストは複数作成できます。

プレイリストを作成する

1 ［プレイリスト］タブ ▶ [≡]
2 ［新規プレイリスト］
3 再生リスト名を入力
4 ［OK］
5 追加したい曲にチェックを付ける
6 ［追加］

プレイリストに曲を追加する

1 ミュージックライブラリ画面で追加したい曲を検索

2 追加したい曲をロングタッチ

3 [プレイリストに追加]

4 操作したい項目をタップ

- 「再生中のリスト」をタップした場合、現在設定されているプレイリストに追加できます。
- 「新規プレイリスト」をタップすると、新たにプレイリスト名を指定して、そのプレイリストに追加できます。
- 登録済みのプレイリストがある場合、該当のプレイリスト名をタップすると、そのプレイリストに追加できます。

memo

- ミュージックライブラリ画面 ▶ [☰] ▶ [プレイリストに追加] ▶ 曲にチェックを付ける ▶ [追加] ▶ 操作したい項目をタップしても、曲をプレイリストに追加することができます。

プレイリストを表示する／音楽を再生する

1 「プレイリスト」タブ

2 いずれかのプレイリストをタップ

3 いずれかの曲をタップ

音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

ビデオプレイヤーを利用する

microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されている動画を簡単に再生できます

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [カメラ/AV機能] ▶ [動画]

2 いずれかの動画をタップ

動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

❶ Qスライド

動画を背景として再生しながら、ホーム画面を操作したり他のアプリを起動することができます。

❷ 画面拡大

ズーム/全画面/オリジナルサイズと切り替えて動画を表示します。

❸ SmartShare

❹ 画面のロック

❺ シークバー

ドラッグまたはタップすると、再生中の動画を任意の場所から再生します。

❻ 再生経過時間

❼ 動画全体の長さ

❽ 音量キー

❾ 再生パネル

⏪：再生中の動画を10秒巻き戻します。ロングタッチすると、再生中の動画を巻き戻します。

⏸/▶：一時停止/再生します。

⏩：再生中の動画を10秒早送りします。ロングタッチすると、再生中の動画を早送りします。

❿ ドルビーモバイル

ヘッドセットと接続するとサラウンドサウンドで音声を聴くことができます。

LISMO Playerを利用する

音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［auアプリ］▶［LISMO Player］

- 初回起動時には許可画面の内容を確認して［閉じる］をタップします。続けて、サービス利用確認設定画面の内容を確認し、お客様の音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを選択してください。

2 いずれかの曲や動画をタップ

再生画面が表示されます。

memo

- LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
- 楽曲情報を持っていない曲が見つかった場合は、Gracenote®音楽認識サービスを利用して楽曲情報を自動的に取得します。
- 通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。
- 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。
  Gracenote®は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
  詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

外部機器を利用する

SmartShareを利用する

SmartShareは、DLNA（Digital Living Network Alliance）技術を用いたワイヤレスネットワークでデジタルコンテンツを共有できます。
この機能を利用するには、DLNA認証されたDLNA対応機器が必要です。DLNA対応機器は、映像や音楽を蓄積可能なサーバと再生機能を持つプレイヤー（クライアント）があります。

SmartShareを起動しコンテンツを共有する

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [SmartShare]

- 初めて起動したときは、「SmartShareのTips」画面が表示され、「OK」をタップすると「SmartShare」画面が表示されます。

2 [☰] ▶ [設定]

3 以下の項目を操作

検出可能		他のDLNA対応機器から検出可能な状態にするかどうかを設定します。
機器名		他のDLNA対応機器に表示される機器名を設定できます。
自動受信許可		他のDLNA対応機器からのリクエストを自動的に共有を許可するかどうかを設定します。
受信ファイル		他のDLNA対応機器からのファイルのアップロードを許可するかどうかを設定します。
共有コンテンツ	写真	対象の種類のコンテンツを共有するかどうかを設定します。
	ビデオ	
	音楽	
共有を要求する	(相手先)	他のDLNA対応機器と共有するかどうかを設定します。

コンテンツをサーバからプレイヤーへ共有する

サーバ（PCなど）にあるコンテンツをプレイヤー（テレビなど）で再生します。

- ご利用の機器のDLNA機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [SmartShare]

2 右上の［To］（ など）をタップ

プレイヤー一覧画面が表示されます。

3 プレイヤーをタップ

4 左上の［From］（ など）をタップ

サーバ一覧画面が表示されます。

5 サーバをタップ

コンテンツライブラリが閲覧できます。

6 コンテンツサムネイルをタップ

複数のコンテンツを一度に再生する場合は、コンテンツライブラリで［ ☰ ］▶［再生］▶ コンテンツにチェック ▶［再生］と操作します。

本製品からプレイヤーへコンテンツを共有する

- ご利用の機器のDLNA機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 「ギャラリー」でフォトやムービーを閲覧中に、共有したいファイルをタップ

2 [ ] をタップ

「SmartShare」が自動的に起動し、選択したファイルをプレイヤーで表示／再生します。

3 プレイヤー一覧画面で、DLNA対応機器をタップ

memo

- このアプリを利用するには、ご使用のDLNA対応機器がWi-Fi®でホームネットワークと接続していることを確認してください。
- DLNAのDMP機能のみ対応しているプレイヤーの場合、プレイヤー一覧画面に表示されないことがあります。
- また、一部のプレイヤーではコンテンツを再生することができない場合があります。

コンテンツをリモートコンテンツライブラリからダウンロードする

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [SmartShare]

2 左上の [From]（ など）をタップ ▶ ライブラリのDLNA対応機器をタップ

コンテンツ一覧が表示されます。

3 ダウンロードしたいファイルをロングタッチ ▶ [ダウンロード]

memo

- 一部のコンテンツは対応していません。

コンテンツを本製品からリモートコンテンツライブラリにアップロードする

- microSDメモリカードが正しく取り付けられたことを確認してください。
- 設定メニューの「受信ファイル」にチェックが付いていることを確認してください。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [SmartShare]

2 左上の [From] (など) をタップ ▶ [本体]

コンテンツ一覧が表示されます。

3 アップロードしたいファイルが格納されているフォルダーを開く

4 [☰] ▶ [アップロード] ▶ ファイルをコピーしたいDLNA対応機器をタップ

5 アップロードするファイルを選択 ▶ [アップロード]

memo

- DLNAが使用可能のDLNA対応機器はDMSアップロード機能に対応しない場合があります。一部のコンテンツに対応していません。

ワンセグ

ワンセグでできること

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ テレビ（ワンセグ）を見る
日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスを見ることができます。

■ データ放送を見る
テレビ（ワンセグ）では、放送番組に関連した情報などをお知らせするデータ放送を見ることができます。

memo

- ワンセグは著作権保護のため、以下の機能はサポートしていません。
  - スクリーンショット
  - Qメモ

ワンセグをご利用になる前に

■ テレビ（ワンセグ）利用時のご注意

- テレビ（ワンセグ）の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- テレビ（ワンセグ）は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 電池残量による動作

- 電池残量が少なくなった場合は、ワンセグを起動できません。
- ワンセグ起動中に電池残量が少なくなると、自動的にワンセグが終了します。

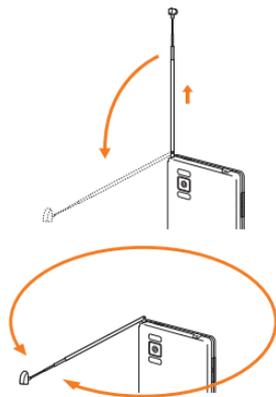
■ 連続視聴可能時間について

テレビ（ワンセグ）	約6時間50分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

テレビアンテナについて

テレビ（ワンセグ）を視聴する際は、放送波を十分受信できるようにテレビアンテナを伸ばしてご利用ください。
テレビアンテナは固定されるまで十分に引き出してください。

また、テレビアンテナは、360度回転します。受信感度の良い方向に向けてお使いください。

■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビ（ワンセグ）を見ることができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ/AV機器］▶［テレビ］

2 地域（広域）を選択

3 地域を選択

4 ［OK］

ワンセグ視聴画面が表示されます。

ワンセグを見る

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［カメラ/AV機器］▶［テレビ］

ワンセグ視聴画面が表示されます。

視聴画面(縦)の例

視聴画面(横)の例

❶ テレビ放送エリア

視聴画面（縦）の場合：
タップすると、データ放送画面が表示されます。
視聴画面（横）の場合：
タップすると、全画面表示に切り替わります。
全画面表示の場合：
右端で上下にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。左端で上下にスワイプすると画面の明るさを変更できます。左右にスワイプすると音量を変更できます。
タップすると、視聴画面（横）が表示されます。

❷ 更新

タップすると、チャンネルスキャンを開始します。

❸ 番組表/チャンネル

「番組表」をタップすると、視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。番組をタップすると、番組の内容が表示されます。「視聴予約」を押すと視聴予約ができます。視聴予約した番組には ✓ が表示されます。
「チャンネル」をタップすると、チャンネル一覧が表示されます。

❹ チャンネル一覧

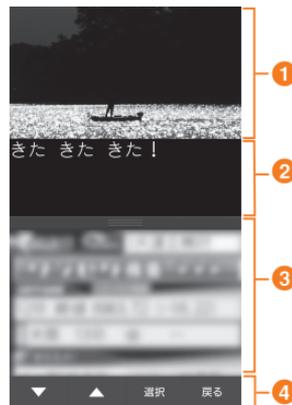
チャンネルの一覧が表示されます。チャンネルをタップすると、チャンネルが切り替わります。チャンネルを長押しするとチャンネルの削除、および位置の移動が可能です。

memo

- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

データ放送を見る

ワンセグ視聴画面の縦画面表示では、「テレビ放送エリア」をタップするとデータ放送画面が表示されます。

データ放送画面(縦)の例

❶ テレビ放送エリア

上下にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。タップすると、ワンセグ視聴画面が表示されます。

❷ 字幕エリア

字幕が表示されます。

❸ データ放送エリア

上方向にドラッグまたはスワイプすると、データ放送の内容が全画面表示されます。

❹ データ放送操作ボタン

TV リンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（TV リンク）が表示される場合があります。TV リンクを登録しておくと、あとで関連サイトに接続できます。

- TV リンクを登録するには、データ放送エリアに表示されたTV リンクに登録可能な項目をタップしてください。

TV リンクを登録する

1 **ワンセグ視聴画面で登録するTV リンクを選択**

TV リンクを表示する

1 **ワンセグ視聴画面 ▶ [☰] ▶ [テレビリンク]**

TV リンク一覧画面が表示されます。

2 **TV リンクを選択**

登録されたサイトに接続します。

TV リンク一覧画面のメニューを利用する

1 **TV リンク一覧画面 ▶ TV リンクをロングタッチ**

2 **以下の項目をタップ**

ファイル情報	選択したTV リンクの詳細を表示します。
削除	選択したTV リンクを削除します。

番組表を利用する

au テレビ.G ガイド番組表を利用できます。番組表からワンセグ視聴画面の表示や視聴の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。

1 **ワンセグ視聴画面 ▶ [☰] ▶ [G ガイド番組表]**

番組表画面が表示されます。

ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［カメラ/AV 機能］ ▶ ［au テレビ.G ガイド］ ▶ ［番組表］ でも同様に操作できます。

番組表を初めて起動したときは、年齢、性別、利用規約、視聴地域の選択、au one ID 設定画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 **番組を選択**

番組詳細画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

リモート録画予約		Panasonic製の録画機器を選択して、リモート録画予約することができます。
ワンセグ連携	ワンセグ起動	選択した番組のチャンネルでワンセク視聴画面が表示されます。 ▶P.163「ワンセグを見る」
	ワンセグ視聴予約	ワンセグの視聴予約ができます。
Myページ登録		好きなタレントやお気に入りの番組を登録しておくと、放送前に番組情報をメールでお知らせすることができます。 ※ ご利用には「auテレビ.Gガイドプレミアム（有料）」に登録する必要があります。
SNS連携	Twitter	お気に入りの番組をTwitterやFacebook、mixi、GREEを通じて友達と共有できます。
	Facebook	
	mixi	
	GREE	

番組表のメニューを利用する

タブ

時間変更	番組表を表示する時間帯を変更します。
日付	番組表を表示する日付を変更します。
TOP	auテレビ.G ガイドTOP を表示します。
Myページ	Myページを表示します。
タレント検索	名前からタレントのプロフィールや出演情報を検索します。
キーワード検索	キーワードから番組を検索します。
ジャンル検索	ジャンルから番組を検索します。
もっとTV	もっとTVのホームページを表示します。

メニュー

1 番組表画面 ▶ [☰] ▶ ［その他の設定］ ／番組詳細画面 ▶ [☰] ▶ ［その他］

2 以下の項目をタップ

地域・視聴チャンネル設定	地域設定	どの地域の番組表を表示するか設定します。
	視聴チャンネル設定	番組表に表示するチャンネルを設定します。
予約関連	リモート録画予約	リモート録画予約サイトのトップページを表示します。

表示設定	番組詳細情報を表示する	番組表における番組詳細情報の表示の有無を変更します。
	再読み込み	番組表の表示内容を再取得します。
アプリケーション情報	バージョン情報※	バージョン情報を確認します。
	ヘルプ	番組表アプリの使い方を説明します。

※ タップできません。

テレビ番組を視聴予約する

テレビ番組の視聴の予約ができます。

番組表から予約する

1 ワンセグ視聴画面 ▶ [☰] ▶ [Gガイド番組表]

番組表画面が表示されます。

2 予約したい番組を選択

3 [ワンセグ連携] ▶ [ワンセグ視聴予約] ▶ [保存]

視聴予約リストに設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認／編集できます。

手動で予約する

1 **ワンセグ視聴画面 ▶ [☰] ▶ [視聴予約一覧]**
視聴予約リスト画面が表示されます。

2 **[⊕]**

3 **以下の項目をタップ**

チャンネル	チャンネルを設定します。
開始時刻	開始日、開始時刻を設定します。
番組名	番組名を入力します。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻に視聴予約を設定します。

4 **[保存]**
視聴予約リストに設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認／編集できます。

予約内容を確認／編集する

1 **視聴予約一覧画面で視聴予約をタップする**
視聴予約の予約内容を編集できます。

予約内容を削除する

1 **視聴予約一覧画面 ▶ [🗑]**

2 **予約内容の一覧で削除する予約内容にチェックマークを付ける**

3 **[削除]**

ワンセグの設定をする

1 ワンセグ視聴画面 ▶ [☰] ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ

画面の明るさ	画面の明るさを調整します。
字幕	字幕を表示するかしないかを設定します。
音声	副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。
放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やTVリンクを消去します。

視聴エリアを追加する

1 ワンセグ視聴画面 ▶ [☰] ▶ [視聴エリア切り替え]

視聴エリア一覧画面が表示されます。

2 [⊞]

3 地域を選択

視聴エリアが切り替わります。

視聴エリアを切り替える

1 ワンセグ視聴画面 ▶ [☰] ▶ [視聴エリア切り替え]

視聴エリア一覧画面が表示されます。

2 地域を選択

視聴エリアが切り替わります。

アプリケーション

アプリケーション一覧

	基本ツール	
	設定	本製品の各種設定を行います。（▶P.221）
	インターネット	Webページの閲覧ができます。（▶P.138）
	連絡先	電話番号やメールアドレスを登録して利用できます。（▶P.80）
	赤外線	赤外線を使ってデータを送受信するための設定を行います。
	Backup	データをバックアップしたり、復元したりできます。（▶P.203）
	ジーニアス英和辞典第４版・和英辞典第３版	英和・和英辞典のトップブランド。学習にもビジネスにも様々な利用シーンに役立ちます。
	アラーム時計	アラームやタイマーの設定、ワールドクロックやストップウォッチが利用できます。（▶P.199）
	カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます。（▶P.197）
	ボイスレコーダー	音声を録音したり、再生したりできます。（▶P.195）
	Polaris Office 4.0	様々な文書フォーマットを簡単に読んだり、編集したりできます。（▶P.205）
	バーコードリーダー	進化するバーコードリーダー／アイコニット！QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキスト…などのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。
	Eメール	@ezweb.ne.jpのEメールの送受信ができます。（▶P.89）
	SMS	テキストメッセージの送受信ができます。（▶P.120）
	電話	電話をかけることができます。（▶P.72）
	電卓	電卓を利用できます。（▶P.202）
	auアプリ	
	Friends Note	ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやTwitterなど複数のSNSの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。
	ビデオパス	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品がお楽しみいただけるアプリです。
	LISMO Book Store	コミック、小説、写真集などの電子書籍を楽しむことができます。
	うたパス	多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を一人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。
	LINE	LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。
	じぶん銀行	入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。
	ニコニコ動画(au)	700万以上ある動画が見放題！エンタメ、音楽、アニメ、料理、動画など配信ジャンル多数！スマートパス会員限定の機能もご利用いただけます。
	スマホカバー	人気ファッションブランドのオリジナルデザインが選べるスマートフォンカバーをお買い求めいただけます。

	auスマートパス	月額390円で500本以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。
	au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。(▶P.176)
	GLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際に、接続中の事業者、海外ダブル定額の適用有無、電話のかけ方などを確認できます。
	LISMO Player	LISMO Playerを利用して音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴･購入も可能なアプリです。
	au Wi-Fi 接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単にWi-Fi®設定できます。
	Dolphin Browser for au	Google Playで人気があるブラウザ！インターネットをサクサク快適に見ることができます。また、他のブラウザアプリにないジェスチャー機能やスピードダイアル等の便利な機能もあります。
	NAVITIME for auスマートパス	電車・徒歩・バス・などの様々な移動手段を組み合わせ、ドアtoドアで最適なルートを音声ナビで案内します。
	おはなしアシスタント	スマートフォンに向かって話しかけることで、電話発信、メール作成、スケジュール管理、アラーム設定などが簡単に行えます。さらに、アシスタントキャラクターとの楽しい会話も可能です。
	カメラ/AV機能	
	auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や予約視聴機能がご利用いただけます。
	SATCH	「SATCH VIEWER」はARコンテンツをより便利に、楽しく体験できるアプリケーションです。誰でも簡単にオリジナルのARコンテンツを作ることが出来る「なんでもAR」機能はお試しの価値ありです。
	Photo Album	au Cloudに保存した写真や動画を見たり、アルバムを作って整理できます。また、作成したアルバムは友達や家族と共有することができます。
	au Cloud	スマートフォンに保存されている写真や動画をau Cloudにアップロードするアプリです。アップロードは自動・手動どちらでもできます。ただし、自動アップロードは、Wi-FiまたはWiMaxエリアのみとなります。
	テレビ	テレビ(ワンセグ)やデータ放送の視聴ができます。(▶P.161)
	カメラ	静止画／動画を撮影できます。(▶P.140)
	音楽	保存している音楽を再生できます。(▶P.150)
	ギャラリー	microSDメモリカードに保存した静止画や動画を閲覧できます。(▶P.149)
	動画	保存している動画を再生できます。
	TOLOTフォトブック	スマートフォンで撮影した写真で、おしゃれなフォトブックが簡単に作れます！旅行や記念日の思い出に、家族や友人へのプレゼントにもおすすめ。
	ビデオエディタ	動画編集ができます。
	セキュリティ/サポート	
	auお客さまサポート	auケータイの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。(▶P.189)
	リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様の本製品の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.191)

	3LM Security	本製品を盗難·紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。(▶P.191)
	取扱説明書	本製品の取扱説明書を表示します。(▶P.ii)
	安心アクセス	お子さまがスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
	ウイルスバスター	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできます。
	au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報）を利用することができます。(▶P.192)
	auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
	SmartWorld	SmartWorldのサイトに接続します。
	LG Tag+	Wi-Fi®、Bluetooth®、サウンド設定などの設定をNFCタグに保存して、次回以降に設定した内容を使用できるようにします。
	SmartShare	Wi-Fi®を使用して、メディアコンテンツの共有や再生ができるアプリです。(▶P.156)
	ノートブック	好きな画像やメモ書きをスクラップ保存できます。
	7notes with mazec-T	手書きで文字入力ができます。
	おサイフケータイ	おサイフケータイの設定をします。
	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新を行います。(▶P.281)
	ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。(▶P.186)
	タスクマネージャー	実行中のアプリ一覧を表示したり、一括終了することができます。また、インストール済みのアプリをアンインストールすることができます。(▶P.177)
	トーク	Googleトークでチャットができます。(▶P.179)
	ナビ	Googleマップナビを起動して、目的地までの音声案内などができます。(▶P.186)
	マップ	現在地や目的地の地図を表示したり、目的地の検索ができます。(▶P.182)
	メッセンジャー	メッセンジャーでチャットができます。
	メディアホーム	MHLケーブルを利用して本端末とTVなどの間でビデオ、写真、音楽を共有するときの設定を行います。
	ローカル	現在地の近くにあるレストランやカフェ、観光地などを簡単に探すことができます。
	au ID 設定	au IDの設定を行います。(▶P.45)
	Chrome	ウェブページが閲覧できます。
	Gmail	Gmailの送受信ができます。(▶P.128)
	Google+	Google+を利用できます。
	Latitude	友だちや家族の居場所をGoogle マップで確認できます。(▶P.183)
	Playストア	Google Playを利用できます。(▶P.174)
	Playムービー	Google Playで映画をレンタルして視聴したり、個人で撮影した動画を管理したりすることができます。
	YouTube	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。

	検索	検索ワードを入力して、本製品内の連絡先やアプリケーションを検索したり、Webページの検索ができます。（▶P.53）
	お買い物サーチ	人気モールなど、いろいろなサイトの商品をまとめて検索できます。
	Facebook	Facebookを利用できます。
	GREE	2500万人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREE公式アプリです。
	GREEマーケット	GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。
	LAWSON	ローソンのおトクな最新情報をいつでも手に入れられるアプリです。Ponta会員の方なら、ログインするだけで「Pontaポイント残高」「アプリ限定クーポン」無料公衆無線LANサービス「LAWSON Wi-Fi」をご利用いただけます。
	NFCタグリーダー	NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。
	NFCメニュー	NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。
	Skype	音声通話や、インスタントメッセージ（チャット）が利用できます。

※ 利用するにはダウンロード／インストールが必要なアプリケーションがあります。その場合には、アイコンをタップした際、ダウンロード／インストールの確認画面が表示されます。

memo

- 各メニューからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play画面 ▶［ ☰ ］▶［ヘルプ］と操作してGoogle Playヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［Playストア］

Google Play画面が表示されます。

初回起動時には利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

memo

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションによっては、動作中スリープモードに移行しなくなる場合やバックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。
- アプリケーションをインストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

アプリケーションを検索する

Google Play画面には、検索アイコン、おすすめのアプリケーションや映画、「アプリ」「ゲーム」「映画」カテゴリへのリンクが表示されます。

- 検索アイコンをタップしてキーワードを入力すると、アプリケーションの名前などでアプリケーションを検索できます。
- おすすめのアプリケーションや映画は、縦方向にスクロールして確認できます。
- 「アプリ」または「ゲーム」カテゴリを選択し、横方向にスクロールすると、「カテゴリ」「おすすめ」「人気（有料）」「人気（無料）」「売上トップ」「人気の新着（有料）」「人気の新着（無料）」「最新※」に分類して表示できます。
- 「映画」カテゴリを選択し、横方向にスクロールすると、「カテゴリ」「おすすめ」「ベストセラー」「新作」に分類して表示できます。

※「アプリ」カテゴリ画面でのみ表示されます。

無料のアプリケーションをインストールする

1 **Google Play画面でダウンロードする無料のアプリケーションをタップ ▶［ダウンロード］または［インストール］▶［同意してダウンロード］**

アプリケーションのタウンロード／インストールが開始されます。

有料のアプリケーションをダウンロードする

有料のアプリケーションをダウンロードするには、「auかんたん決済」に登録するか、Google ウォレットアカウントを作成する必要があります。
アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

1 **Google Play画面で購入するアプリケーションをタップ ▶ 価格をタップ ▶ [au利用料金と一緒に支払い] ／ [カードを追加] ▶ [同意して購入]**

- アプリケーションの初回購入時は、「auかんたん決済」に登録するか、Google ウォレット支払い請求サービスにログインする必要があります。画面の指示に従って操作してください。
- 選択したアプリケーションによって操作方法が異なる場合があります。

memo

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。
- 詳細については、Google Play画面 ▶ [☰] ▶ [ヘルプ] と操作してGoogle Playヘルプをご参照ください。

返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

memo

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au Marketを利用する

au Marketは、auのサービスです。auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。

- au Marketを利用するには、パケット通信接続または無線LAN（Wi-Fi®）接続が必要です。また、一部の機能を利用するにはau IDを設定する必要があります。au IDの設定方法については、「au IDを設定する」（▶P.45）をご参照ください。

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [auアプリ] ▶ [au Market]**

au Market画面が表示されます。
初回起動時にはご利用にあたっての注意点が表示されます。
内容をご確認のうえ、[OK] と操作してください。

memo

- auスマートパスに対応していないアプリをダウンロードする場合には、「auポータル」▶「メニューリスト」よりダウンロードしてください。
- au Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法は各アプリケーションの配信元によって異なります。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

GREEマーケットを利用する

GREEマーケットではGREEの無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［GREEマーケット］

GREEマーケット画面が表示されます。
画面内のコーナーから利用したいゲームなどを探すことができます。

memo

- GREEマーケットで探したゲームを利用するには、GREEの会員登録が必要となる場合があります。

アプリケーションを管理する

タスクマネージャーを利用して、起動中のアプリケーションの確認・終了などができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［タスクマネージャー］

ホーム画面で［ ］をロングタッチ ▶［タスクマネージャー］でも同様に操作できます。

2 以下の項目をタップ

項目	説明
実行中	起動中のアプリケーションの確認・終了ができます。
アンインストール	インストール済アプリケーションの確認・アンインストールができます。
ストレージ	システムメモリ、SDカードの使用量と空き容量を確認できます。
デフォルト	設定されたデフォルトアプリを確認・消去できます。

memo

- 詳細については、タスクマネージャー画面 ▶［ ］▶［ヘルプ］と操作してヘルプをご参照ください。

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定]

2 [セキュリティ]

3 「提供元不明のアプリ」にチェック ▶ [OK]

インストールされたアプリケーションを削除する

- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [タスクマネージャー]

2 [アンインストール]

3 削除するアプリケーションの[アンインストール] ▶ [OK] ▶ [OK]

YouTube

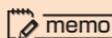
YouTubeは、Googleの動画共有サービスです。動画の再生、検索、アップロードなどを行うことができます。

- 動画をアップロードする場合など、一部の機能を利用するにはYouTube用アカウントを設定する必要があります。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [YouTube]

利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 動画を選択

memo

- YouTubeの詳細については、YouTube画面 ▶ [☰] ▶ [設定] ▶ [YouTubeについて] ▶ [ヘルプ] と操作して確認してください。

Googleトークを利用する

Googleトークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。Googleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.44)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［トーク］

トーク画面が表示されます。

❶ **ステータス**
画像や名前、ステータスメッセージなどが表示されます。相手の方の画像をタップすると、登録内容によってアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、対応したアプリケーションが起動します。

❷ **ステータスアイコン**

❸ **ビデオチャット**
ビデオチャットができます。

ステータスを編集する

1 トーク画面で自分のステータスをタップ

ステータスの設定画面が表示されます。

❶ **自分の画像**
❷ **ステータスメッセージ欄**
❸ **最近使用したステータスに変更...**
❹ **ステータス欄**

2 項目を選択して編集

画像	自分の画像を変更できます。
ステータスメッセージ欄	ステータスメッセージを作成できます。
最近使用したステータスに変更...	ステータスメッセージの履歴をステータスメッセージに設定できます。
ステータス欄	ステータスを変更できます。

■ ステータスの設定画面のメニューを利用する

1 ステータスの設定画面 ▶ [☰]

2 以下の項目をタップ

設定	トークの設定を変更できます。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
ご意見ご感想	トークのフィードバックを送信します。

チャットをする

1 トーク画面でチャットするメンバーを選択

チャット画面が表示されます。

2 メッセージを入力 ▶ [➤]

■ チャット画面のメニューを利用する

1 チャット画面 ▶ [☰]

2 以下の項目をタップ

チャット終了	チャットを終了します。
オフレコにする／チャットのオフレコを解除	チャット内容の非公開／公開を設定します。
ユーザー情報	ユーザー情報を表示します。
グループチャット	チャットにメンバーを追加します。
チャットの履歴を消去	チャットの履歴を消去します。
設定	トークの設定を変更できます。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
ご意見ご感想	トークのフィードバックを送信します。

友だちを管理する

■ 新しいメンバーを追加する
Googleアカウントを持っている相手の方を追加できます。

1 トーク画面 ▶ [ ]

2 追加するメンバーのGoogleアカウントを入力 ▶ [完了]

■ 招待状を表示・承認する
招待状を受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示され、トーク画面に招待状が届いた旨のメッセージが表示されます。

1 トーク画面で招待状のメッセージを選択

2 [ブロック] ／ [招待を辞退] ／ [承諾]

「ブロック」を選択すると、招待状を送信した相手の方をブロックします。

■ メンバーをブロックする

1 トーク画面でメンバーをタップ

2 [☰] ▶ [ユーザー情報] ▶ [ブロック]

Googleトークの設定を変更する

1 トーク画面 ▶ [☰] ▶ [設定]

2 設定を変更するアカウント名をタップ

3 以下の項目をタップ

全般	モバイルインジケーター	相手の方にモバイルで送信していることを通知するかどうかを設定します。
	画面OFF時は不在と表示	画面が消灯している場合、ステータスを不在と表示するかどうかを設定します。
	招待通知	招待状受信時に、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
チャットの通知	チャットの通知	チャットのメッセージ受信時の通知設定を行います。
	通知音	チャットのメッセージ受信時の音を設定します。
	バイブレーション	チャットのメッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

ボイス&ビデオチャット	ビデオチャットの通知	ビデオチャットのメッセージ受信時の通知設定を行います。
	ビデオチャットの着信音	ビデオチャットのメッセージ受信時の音を設定します。
	バイブレーション	ビデオチャットのメッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。
	デフォルトの動画効果	手振れ補正の設定を行います。
アカウント	ブロック中の友だち	ブロック中の友だち一覧が表示されます。 友だちをタップ ▶［OK］と操作するとブロックを解除できます。
	検索履歴を消去	チャット検索を検索ボックスから消去します。
	アカウントを管理	アカウントと同期を行ったり、アカウントを追加したりします。
概要	利用規約とプライバシー	Googleの利用規約を表示します。

Googleトークを終了する

1 トーク画面 ▶［ ☰ ］▶［ログアウト］

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

- Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ「Googleの位置情報サービス」/「GPS機能」を有効にする必要があります。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Googleマップ画面 ▶［ ☰ ］▶［ヘルプ］と操作してGoogleマップのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［マップ］

Googleマップ画面が表示されます。
マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」を選択するとGoogleマップ画面が表示されます。
現在地を素早く検出するために、推奨される機能を有効にするかどうかの確認画面が表示される場合があります。「設定」または「スキップ」を選択してください。「設定」を選択すると、各機能の設定画面が表示されます。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.44）をご参照ください。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［Latitude］

Latitude画面が表示されます。
現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、通知をタップして共有リクエスト画面を表示させ、項目を選択します。
以降、Latitude起動時にGoogleマップ画面が表示された場合は、［マップ］▶［Latitude］と操作するとLatitude画面を表示することができます。

友だちを招待する

Latitudeに参加したときに位置情報を共有する友だちを招待します。自分が招待した友だち、または自分を招待した友だちとだけ、位置情報を共有することができます。

1 Latitude画面 ▶［ ］

■ 連絡先から選択して追加する場合

2 ［連絡先から選択］▶ 連絡先を選択 ▶［はい］

■ メールアドレスを入力して追加する場合

2 ［メールアドレスから追加］▶ メールアドレスを入力 ▶［友だちを追加］▶［はい］

招待に応じる

友だちからLatitudeで現在地を共有する招待を受けたときは、共有方法を設定できます。

1 ［○件の新しい共有リクエスト］

○には、招待された件数が表示されます。

2 以下の項目をタップ

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を地図上に表示して確認できるように設定します。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分の位置情報は共有せず、友だちの位置情報のみ確認できるように設定します。
承認しない	招待を辞退し、お互いの位置情報を共有しません。
拒否※	招待を拒否し、共有リクエストを削除します。

※ 一度［承認しない］をタップし、再度共有リクエストをタップすると表示されます。

チェックインをする

現在地周辺の店舗やビルなどを指定してチェックインすることで、具体的な現在地を表示することができます。

1 Latitude画面 ▶ 自分の情報を選択

詳細情報画面が表示されます。

2 [チェックイン] ▶ チェックインする場所を選択

選択した場所が表示されたチェックイン画面が表示されます。
チェックインの共有設定や選択した場所に自動的にチェックインするかどうかなどを設定できます。

3 [チェックイン]

memo

- 自動的にチェックインするように設定すると、その場所に行くだけで自動的にチェックインできます。

友だちの位置情報を確認する

1 Latitude画面 ▶ 友だちの情報を選択

友だちの詳細情報画面が表示されます。

2 [地図]

友だちの現在地を地図上で確認できます。

- 地図上での友だちの位置情報は、おおよその位置に友だちの名前と写真アイコンで示されます。

memo

- 友だちの詳細情報画面では、次の項目が表示／設定できます。
  - 選択した友だちの位置までの移動経路の検索
  - 位置のストリートビューの表示
  - チェックイン情報の表示／チェックインリクエストの送信
  - 選択した友だちとの共有設定
  - 選択した友だちの削除

Google Latitudeを設定する

1 Latitude画面 ▶ [☰] ▶ [現在地設定]

2 以下の項目をタップ

現在地送信	現在地を自動検出	自分の位置情報を自動検出するように設定します。
	現在地を手動設定	自分の位置情報を地図上の任意の場所に指定するように設定します。
	現在地を更新しない	自分の位置情報を表示しないように設定します。
この端末から送信する		自分の位置情報を自動的に更新するかどうかを設定します。
現在地を共有する		選択したユーザーと現在地を共有するかどうかを設定します。
友だちの管理		現在地を見ることができる友だちを追加または削除します。
ロケーション履歴		検出した位置情報を保存するかどうかを設定します。
自動チェックイン		自動的にチェックインするかどうかを設定します。
チェックイン通知		チェックインできる候補を自動的に通知するかどうかを設定します。
場所の管理		自動チェックインや非通知設定の場所を確認／変更します。

Googleプレイスを利用する

Googleが提供する「Googleプレイス」を利用して、現在地周辺の施設を、レストランやATMなどのジャンルから選び検索することができます。また、キーワードを入力して検索することもできます。

- Googleプレイスを利用するには、あらかじめ「Googleの位置情報サービス」／「GPS機能」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [ローカル]

検索画面が表示されます。

■ジャンルから周辺の施設を検索する場合

2 ジャンルを選択

[☰] ▶「検索を追加」▶ キーワードを入力 ▶ [+] をタップすると、検索画面にジャンルが追加されます。

3 検索候補を選択

■キーワードから検索する場合

2 [🔍]

クイック検索ボックスが表示されます。

3 キーワードを入力 ▶ [🔍]

アプリケーション

Googleナビを利用する

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索できます。

- Googleナビを利用するには、あらかじめ「Googleの位置情報サービス」／「GPS機能」を有効にする必要があります。

1 ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［ナビ］

2 ［同意する］

■ 音声で検索する場合

3 ［目的地を音声入力］ ▶ 送話口（マイク）に向かってキーワードを話す

■ 入力して検索する場合

3 ［目的地をキーボードで入力］ ▶ キーワードを入力 ▶ ［実行］

■ 連絡先に登録されている住所から検索する場合

3 連絡先タブ ▶ 目的地を選択

■ スター付きの場所から検索する場合

3 スター付きタブ ▶ 目的地を選択

ダウンロードを利用する

ブラウザからダウンロードしたデータの一覧を表示し、データの管理を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶ ［アプリ］ ▶ ［ダウンロード］

ダウンロードしたデータの一覧が表示されます。

2 データを選択

Facebookを利用する

Facebookを利用して、メッセージの投稿や閲覧などができます。

- Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。

  http://www.facebook.com/

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [Facebook]

2 メールアドレスとパスワードを入力 ▶ [ログイン] ▶ 画面の指示に従って操作 ▶ [完了]

アカウントをお持ちではない場合は「Facebookに登録」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

Friends Noteを利用する

Friends Noteを利用して、「連絡先」の連絡先やFacebook・TwitterなどのSNSの友達リストをまとめて管理することができます。また、電話、メール、SNSなどの連絡方法を簡単に選択できたり、複数のSNSやブログにまとめて投稿することができます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [auアプリ] ▶ [Friends Note]

初回起動時には許可画面や利用規約などが表示されます。

内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [同意する]

au ID確認画面が表示されます。

au IDが未設定の場合は、設定画面／ログイン画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円（税込）で、500本以上のアプリケーション取り放題、auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼント、大切な静止画や動画・連絡先のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパストップページから「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［auアプリ］▶［auスマートパス］

- auスマートパスにご登録いただいてない場合は、ページトップにある「非会員の方　新規登録」を選択し、au IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認のうえ、「利用規約に同意」をタップしてください。au IDについて詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。

2 以下の項目をタップ

アプリ取り放題	500本以上のアプリケーションからお好きなアプリケーションを好きなだけダウンロードいただくことができるサービスです。
クーポン&プレゼント	auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼントなどを紹介しています
データお預かり	大切な静止画や動画、連絡先を簡単・安心に預けることができるサービスです。
安心・セキュリティ	大切な情報をしっかりガードする、安心の強力セキュリティアプリです。

memo

- 画面下部の「お問い合わせ」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口を表示できます。
- サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリケーションについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- アプリケーションなどによりお客様が操作していない場合でも自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ご利用になれるコンテンツは機種によって異なる場合があります。
- 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［MENU］▶［ヘルプ］とタップしてauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［セキュリティ／サポート］▶［auお客さまサポート］

- 初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」を選択します。
- サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイト（https://cs.kddi.com/）にて行えます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 以下の項目をタップ

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート&サービス	▶P.189「安心セキュリティパックを利用する」
調べる	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへの接続などができます。

memo

- 画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や、設定メニューなどが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は［☰］をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター ™ モバイル for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

- 安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター ™ モバイル for au」のセットアップを行ってください。

■3LM Security

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品内のデータを削除する場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
- 「3LM Security」を起動したときや本製品が遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■リモートサポート

- 携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様の本製品の画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ウイルスバスター™モバイル for au

- 不正アプリ対策：
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ：
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策：
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック／SMSブロック：
  迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容に関わらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ご利用上のご注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- 「GPS機能」（▶P.228）をオフにしていると、位置情報は通知されません。
- ご契約いただいているau Micro IC Card(LTE)情報と利用開始設定時のau Micro IC Card(LTE)情報が一致している端末の検索ができます。
- auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
  - 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
  - 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
  - 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。
    また、お客さまのau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などがおこなえません。

3LM Securityを利用する

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [セキュリティ／サポート] ▶ [auお客さまサポート] ▶ [サポート&サービス] ▶ [安心セキュリティパック] ▶ [3LM Security] ▶ [個人向け設定]**

- ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [セキュリティ／サポート] ▶ [3LM Security] ▶ [個人向け設定] でも同様に操作できます。
- 初回起動時には3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。
  内容をご確認のうえ、[同意します] ▶ [有効にする] をタップしてください。

リモートサポートを利用する

1 **お客さまセンターまでお問い合わせ**

2 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [セキュリティ／サポート] ▶ [リモートサポート]**

- ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [セキュリティ／サポート] ▶ [auお客さまサポート] ▶ [サポート&サービス] ▶ [安心セキュリティパック] ▶ [リモートサポート] でも同様に操作できます。
- 起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する] をタップしてください。

3 **オペレータの指示に従って操作**

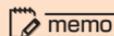
ウイルスバスター™ モバイル for auを利用する

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [セキュリティ／サポート] ▶ [auお客さまサポート] ▶ [サポート&サービス] ▶ [安心セキュリティパック] ▶ [ウイルスバスターモバイル for au]**

- インストール後はホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [ウイルスバスター] でも同様に操作できます。
- 初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する] をタップしてください。

2 **項目を選択**

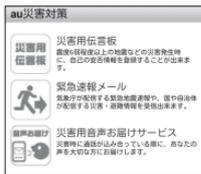
3 **画面の指示に従って操作**

memo

- Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN（Wi-Fi®）接続時に有効です。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［セキュリティ／サポート］▶［au災害対策］

au災害対策メニューが表示されます。

《au災害対策メニュー》

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能になるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方の他、他通信事業者の携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 au災害対策メニュー ▶［災害用伝言板］

画面に従って、登録／確認を行ってください。

memo

- 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「アドレスの変更やその他の設定をする」（▶P.115）をご参照ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
- 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の受信設定が「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信した時は、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー ▶［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

- 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
- 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
- ＳＭＳ／Ｅメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- アプリケーションなどの利用中は警報音は鳴らず、画面上の表示のみの通知となる場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

- 緊急地震速報について
  - 緊急地震速報とは、最大震度５弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度４以上）が予測される地域をお知らせするものです。
  - 地震の発生直後に、震源近くで地震（Ｐ波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（Ｓ波、主要動）が始まる数秒〜数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
  - 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

- テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- 津波警報について
  - 津波警報とは､気象庁から配信される津波警報（大津波､津波）を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- 災害・避難情報について
  - 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー ▶［災害用音声お届けサービス］

■ 音声を送る（送信）

［声をお届け］を選択し、［①お届け先を選択※］▶［②お届けしたい声を録音］の順で操作してください。

※ お届け先は、連絡先からも選択可能です。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。

- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- 音声メッセージの送受信は、LTE／3Gネットワークで利用可能です。無線LAN（Wi-Fi®）通信などは無効にしてご利用ください。
- 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- au携帯電話間のみ、音声メッセージのやりとりが可能です（他通信事業者の携帯電話との相互利用は2013年春以降を予定しています）。
- メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
- 本体（メモリ）に空き容量が無い場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音できます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［ボイスレコーダー］

ボイスレコーダー画面が表示されます。

❶ **現在の録音時間**

❷ **ボイスデータ名**

❸ **集音音量**

❹ **録音／一時停止**

録音を開始・一時停止します。

❺ **一覧表示／停止**

録音時にタップすると、録音を停止します。

録音する

1 **ボイスレコーダー画面 ▶ [●]**

録音が開始されます。

2 **[■]**

録音が停止します。録音したボイスデータは自動的に保存されます。ボイスデーター覧画面に遷移します。

■ 録音後に再生する

1 **ボイスデーター覧画面 ▶ [▶]**

録音を行った直後では、録音したボイスデータが再生されます。

> **memo**
>
> - 録音中に着信があった場合は、録音を停止してデータを保存します。
> - 録音中に［ ⌂ ］を押しても、継続して録音できます。

再生する

1 **ボイスレコーダー画面 ▶ [≡]**

2 **再生したいボイスデータをタップ**

録音したボイスデータが再生されます。

❶ **共有**
Bluetooth® やEメールなどで送信します。

❷ **削除**
選択したデータを削除します。

❸ **新しい録音**
ボイスレコーダー画面に戻ります。

❹ **ボイスデータ名**

❺ **再生位置**

❻ **再生時間**

❼ **全再生時間**

❽ **音量**
再生音量を変更できます。

❾ **再生／一時停止**
▶：再生します。
⏸：一時停止します。

❿ **停止**
停止します。

> **memo**
>
> - ボイスデーター覧画面でボイスデータをロングタッチすると、ファイル情報の確認やリネームなどができます。

カレンダーを利用する

カレンダーを１ヶ月、１週間、１日で表示することができます。

- 「アカウントと同期」を利用して、サーバに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期できます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［カレンダー］**

❶ 月
カレンダーの表示を切り替えます。

❷ 今日
今日の日付が選択されます。

❸ 予定の新規作成
▶ P.198「予定を新規登録する」

❹ 選択されている日付
水色の枠で囲んで表示されます。

❺ 予定が登録されている日付
登録されている予定がある場合、日付の左側にマークが表示されます。登録したアカウントや予定の期間や時間帯によって表示が異なります。

《カレンダー画面》

❻ バー
バーをスライドすると表示を切り替えます。

❼ 日
画面下部のカレンダーの表示を１日表示に切り替えます。

❽ 週
画面下部のカレンダーの表示を１週間表示に切り替えます。

❾ 予定リスト
登録されている予定リストを表示します。

❿ 予定
登録されている予定の開始時刻やタイトルなど、繰り返しやアラームの有無が表示されます。

カレンダーのメニューを利用する

1 **カレンダー画面 ▶［ ☰ ］**

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
月選択	素早く日付を移動したいときに使用します。
検索	スケジュールを検索できます。
今すぐ同期	サーバに保存されたカレンダーと同期を行います。
カレンダーを表示する	登録されている内容をタップすると、カレンダーへの表示や同期の設定を変更できます。
削除	登録している予定を削除します。
設定	▶P.198「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 **カレンダー画面 ▶ [⊕]**

予定編集画面が表示されます。

2 **以下の項目をタップ**

イベント名	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。
終了	
終日	予定を終日に設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
ゲスト※	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力できます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
内容	予定の内容を入力します。
繰り返し	予定の繰り返しを設定します。
通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。 • 「 ⊗ 」をタップすると、通知設定を削除できます。
通知の追加	通知設定を追加できます。
外部向け表示	外部向け表示を設定します。
公開設定	公開設定を設定します。

※ 登録先がGoogleアカウントの場合のみ表示されます。

3 **[保存]**

カレンダーを設定する

通知方法や、通知音の変更などの詳細を設定することができます。

1 **カレンダー画面 ▶ [☰] ▶ [設定]**

2 **以下の項目をタップ**

全般設定	カレンダーの表示設定や、通知設定を設定します。
アカウント名	アカウントごとに同期するかどうかを設定できます。
カレンダーについて	ビルドバージョンを確認できます。

予定を確認／編集する

1 **カレンダー画面 ▶ 1ヶ月表示画面で予定の入っている日付を選択**

2 **予定を選択**

予定詳細画面が表示されます。

3 **以下の項目をタップ**

通知の追加	通知を追加します。 「⊗」をタップすると、通知設定を削除できます。
✎	登録した予定を編集します。
🗑	予定を削除します。

memo

- 1日／1週間表示画面で対象の時刻をロングタッチすると、予定の新規作成ができます。
- 予定詳細画面▶［☰］▶［共有］と操作すると登録した予定をEメールやGmailで送信できます。

アラーム／タイマー／ワールドクロック／ストップウォッチを利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。15件まで登録できます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［アラーム時計］▶「アラーム」**

アラーム画面が表示されます。

2 **アラームを選択**

3 **各項目を編集 ▶［保存］**

編集内容を保存して、アラーム画面に戻ります。

アラーム編集中に［キャンセル］をタップすると、編集中のアラーム設定が初期化されます。

memo

アラームを設定した時刻になると

- アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。
- ［停止］をタップするとアラームは停止します。
- 電源が入っていない場合、アラームは鳴動しません。
- アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、スヌーズの設定にかかわらず、バイブレータが起動します。また、通話中画面にダイアログボックスが表示されスヌーズモードになります。

スヌーズモードを設定すると

- スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中に［停止］をタップするか、または通知パネルに「スヌーズ中...」が表示されているときに通知をタップします。
- アラーム鳴動中に［スヌーズ］／［ ］をタップすると、アラームを停止します（スヌーズは解除されません）。
- アラーム鳴動中に［ ］（DOWN／UP）を押しても、アラームを停止できます。停止後の動作は、「アラーム」▶［設定］▶［音量キーの動作設定］の設定により異なります。

■ アラームの入力項目について

項目	説明
時刻	お知らせする時刻を設定します。 • アラーム設定が無効の場合、時刻を設定すると自動的にアラーム設定が有効になります。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日などで指定します。 • 毎日アラームを鳴動させたい場合は、「曜日」の設定ですべての曜日を選択します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
バイブレータ	バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	アラームの音量を調節します。
アプリケーションリンク	アラームを停止した時に実行するアプリケーションを設定します。
パズルロック	アラームを止めるためにパズルを解くかどうかを設定します。
メモ	メモを入力できます。

■ アラームの鳴動方法を設定する

1 アラーム画面 ▶［ ］▶［設定］

2 以下の項目をタップ

サイレントに設定中の鳴動	マナーモードでもアラームを鳴らすかどうかを設定します。
音量キーの動作設定	アラーム鳴動中に音量キーを押したときの動作を設定します。
パズルロック	パズルロックで使用するパズルの種類を選択します。

タイマーで時間を計る

最大99時間59分59秒までタイマーを設定できます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［アラーム時計］▶「タイマー」**

タイマー画面が表示されます。

2 **時間を選択 ▶［開始］**

カウントダウンを開始します。
「リセット」でカウントダウンをやり直すことができます。
バイブレータを有効にするかどうか、通知音の設定も行えます。

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［アラーム時計］▶「ワールドクロック」**

ワールドクロック画面が表示されます。

2 **［ ］▶ 確認する都市を選択**

ワールドクロック画面に選択した都市が表示されます。
［ ］をタップすると、地球儀から都市を選択できます。

memo

- サマータイムで表示されている都市には、時計の右側に が表示されます。サマータイムの期間により、時刻が正確に表示されない場合があります。

ワールドクロックのメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **ワールドクロック画面 ▶［ ］**

2 **以下の項目をタップ**

すべて削除	すべての都市を削除します。

アプリケーション

■ コンテキストメニューの場合

1 ワールドクロック画面で都市をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

サマータイムの設定	時刻をサマータイムで表示するかどうかを設定します。
削除	選択した都市を削除します。

ストップウォッチで時間を計る

1/100秒単位で99時間59分59秒99まで計測できます。最大100件のスプリットタイム（合計経過時間）を記録できます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［アラーム時計］▶「ストップウォッチ」

2 ［開始］

「ラップ」を選択するたびに、区間ごとのラップタイムを記録し、一覧表示します。
計測中に「停止」／「リジューム」で計測を一時停止／再開できます。
また、「リセット」で計測中の記録をすべて破棄します。

電卓で計算する

最大12桁の計算を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［電卓］

memo

- ［▼］をタップすると履歴を表示できます。
- ［ ］をロングタッチすると、数値をすべてクリアできます。
- 表示されている数値をロングタッチすると、切り取り／コピーできます。「文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける」については、「文字入力の便利な機能を利用する」（▶P.67）をご参照ください。

■ 電卓画面のオプションメニューの場合

1 電卓画面 ▶［ ☰ ］

履歴消去	履歴を削除します。
関数機能	関数機能を利用します。

Backupを利用する

「Backup」アプリケーションを利用すると、アプリケーション（ダウンロード／プリインストール）、カレンダー（スケジュール）、システム設定、ブックマーク、ホーム画面、メッセージ（SMS）、通話ログ（通話履歴）、連絡先をmicroSDメモリカードまたは内部ストレージにバックアップできます。

memo

- 同期されている連絡先、カレンダーはバックアップされません。

バックアップする

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［Backup］

Backupトップ画面が表示されます。
初回起動時は、バックアップアプリについての説明画面が表示されたあと、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。
内容をご確認のうえ、［同意］をタップしてください。

2 ［バックアップ］▶［メモリーカード］／［本体メモリ］

3 ［新規追加］

すでにバックアップしたファイルがある場合は、ファイル名をタップするとファイルを置き換えてバックアップできます。

4 バックアップファイルの名前を入力し、［続行］

バックアップ項目のリストが表示されます。

5 チェックを付ける／外す

6 ［続行］

バックアップファイルが作成されます。

7 バックアップ完了画面で、［続行］

Backupトップ画面が表示されます。

バックアップファイルから復元する

データを復元する場合は、microSDメモリカードまたは内部ストレージのバックアップファイルに含まれるデータに、本製品のデータを置き換えます。データの復元には十分ご注意ください。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［Backup］

Backupトップ画面が表示されます。

2 ［復元］▶［メモリーカード］／［本体メモリ］

3 復元するファイルをタップ ▶［OK］

復元項目のリストが表示されます。

4 チェックを付ける／外す

5 ［続行］▶［データの復元］

バックアップファイルからデータが復元されます。

6 データ復元完了画面で、［続行］

復元項目にシステム設定が含まれる場合、データ復元完了画面で、［はい］をタップします。本製品が再起動します。

バックアップのスケジュールを設定する

スケジュールを設定すると、自動的にバックアップができます。

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［Backup］**
Backupトップ画面が表示されます。

2 **［予約設定］▶［メモリーカード］／［本体メモリ］**

3 **バックアップする周期を選択**
［毎週］、［2週間毎］、［毎月］を選択した場合は、続けて曜日や日付を選択します。

4 **［続行］**
バックアップ項目のリストが表示されます。

5 **チェックを付ける／外す**

6 **［続行］**
バックアップのスケジュールが設定されます。

memo

- 「バックアップ開始時刻」で開始時刻を設定してください。
- 本製品の電源が入っていない場合は、バックアップ開始時刻になってもバックアップは実行されません。

Backupの設定を変更する

1 **ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［Backup］**
Backupトップ画面が表示されます。

2 **［ ☰ ］▶［設定］**
バックアップ設定画面が表示されます。

3 **以下の項目をタップ**

セキュリティ	暗号化の有効化	保護を強化するためにバックアップファイルを暗号化します。
	パスワードの変更	バックアップファイルの暗号化に使用するパスワードを変更します。
予約設定したバックアップ	保存バックアップ数	何回分のバックアップを保持するか設定します。

Polaris Officeを利用する

Polaris Officeを利用して、本製品本体内やmicroSDメモリカードに保存されているWord、Excel、PowerPointなどのファイルを読んだり、編集したりできます。

1 ホーム画面 ▶［アプリ］▶［基本ツール］▶［Polaris Office 4.0］

項目	説明
Microsoft Word (Word 97 ～ Word 2010)	.doc※、.docx※、.dot、.dotx
Microsoft Excel (Excel 97 ～ Excel 2010)	.xls※、.xlsx※、.xlt、.xltx、.csv
Microsoft PowerPoint (Power Point 97 ～ PowerPoint 2010)	.ppt※、.pptx※、.pps、.ppsx、.pot、.potx
Adobe PDF (Version 1.2 ～ 1.7)	.pdf
Text	.txt、.asc、.rtf
Hangul (97 ～ 3.0, 2002 ～ 2005)	.hwp

※ ファイルの編集も可能です。

memo

- ユーザー登録をしていないと、「Polaris Office」を起動した際にユーザー登録画面が表示されます。
- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。
- パソコンなどで作成したファイルは、パソコンでの表示と異なっていたり表示できない場合があります。

Qメモ機能を利用する

上下の を押すだけで、簡単にメモが作成できるアプリケーションです。
紙と同じように自由に使用することができ、キャプチャした画面で重要な情報をハイライトすることなどもできます。

1 メモを作成したい画面で、上下の を同時に1秒以上押す

2 メモを作成する

画面の上部または四隅に以下の情報が表示されます。

- ：画面にメモを残したまま、他の機能が使用できます。
- ：背景の画面を表示／非表示します。
- / ：元に戻す／やり直します。
- ：ペンの種類やカラーを選択できます。
- ：消しゴムを利用できます。「すべて消去」をタップすると、作成したメモがすべて削除されます。
- ：作成したメモをBluetooth®やEメールなどで送信できます。
- ：作成したメモを保存します。
- ：タップすると、ツールバーを表示／非表示します。
- ：画面サイズを調整します。背景の画面を表示した状態でツールバーを非表示にすると、画面の四隅に表示されます。

3 ▶ 保存先を選択

作成したメモが保存されます。
保存先として以下の選択肢が表示されます。

- ノートブック
- ギャラリー

memo

- 通知パネルで「Qメモ」をタップしても、Qメモを起動することができます。
- 指で軽く触れて操作してください。市販のタッチペンを使用した場合、動作しない可能性があります。

NFC／おサイフケータイ®（FeliCa）を利用する

NFC／おサイフケータイ®と（FeliCa）について

NFC／おサイフケータイ®（FeliCa）とは

■ NFCとは

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信機能などが本製品でご利用いただけます。

NFCを利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダーのNFC対応アプリをダウンロードする必要があります。

NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card(LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータ（以下、NFCデータといいます）を書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、「NFCサービスご利用上の注意」（▶P.295）をあわせてご参照ください。

■ おサイフケータイ®（FeliCa）とは

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。

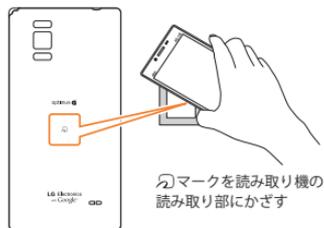
おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリをダウンロードする必要があります。

なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」（▶P.293）をあわせてご参照ください。

NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）ご利用にあたって

- 本製品本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたNFCサービス／おサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「NFC ／おサイフケータイロック設定」をおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でNFC ／おサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「NFC ／おサイフケータイロック設定」をされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- NFCデータ／ FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- NFCサービス／おサイフケータイ® 対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、NFCサービス／おサイフケータイ® 対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池パックを取り外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®機能によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 機内モード設定中でも、NFC ／おサイフケータイ®機能をご利用いただけます。ただし、リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりはご利用いただけません。
- 充電中、microUSBケーブル01（別売）を接続中、またはイヤホンなどのケーブル類を接続中の状態で、au Micro IC Card(LTE)が挿入されていない場合、また一度も電波を受けていない場合は、おサイフケータイ®をご利用になれません。ただし、リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。

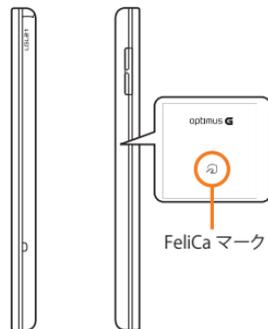
リーダー／ライターとデータをやりとりする

FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけで、NFCデータ／FeliCaチップ内のデータのやりとりができます。

- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを 貼り付けると通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- FeliCaマークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

- おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。
- 電池フタ裏のシールをはがさないでください。リーダー／ライターとのデータの読み書きができなくなる場合があります。
- 本製品の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「NFC／おサイフケータイロック」を設定中はご利用いただけません。

他の携帯電話とデータを送受信する

NFC機能（Androidビーム）を搭載した携帯電話との間で、データを送受信できます。

- 2台の携帯電話を平行にしてFeliCaマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリケーションの動作に依存します。画面に従って操作してください。
- FeliCaマークを重ね合わせても、送受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、「Androidビーム」を有効にしてください。
- FeliCaマークをゆっくりと重ね合わせると送受信を失敗することがあります。

NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）を設定する

1 ホーム画面で［ ☰ ］▶［システム設定］▶［その他...］▶［NFC / おサイフケータイ設定］

2 以下の項目をタップ

NFC / おサイフケータイロック	NFC ／おサイフケータイ®の機能をロック／解除します。 ・ロックNo.を入力 ▶［OK］と操作すると、NFC ／おサイフケータイ®機能のロックが設定／解除されます。
NFC R/W P2P	NFCのリーダー／ライター、P2P機能をON/OFFします。
Androidビーム	Androidビーム（NFC P2P機能）を利用したデータ通信ができます。 ・Androidビームについては、「Android ビームでデータを送受信する」（▶P.210）をご参照ください。
NFC / おサイフケータイロックNo.変更	NFC ／おサイフケータイ®のロックNo.を変更します。 ・ロックNo.を入力 ▶［OK］▶ 新しいロックNo.を入力 ▶［OK］▶ 再度新しいロックNo.を入力 ▶［OK］と操作すると変更できます。
NFC / おサイフケータイロックNo.初期化	「NFC ／おサイフケータイロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 ・PINロック解除コードを入力 ▶［OK］▶ 新しいロックNo.を入力 ▶［OK］▶ 再度新しいロックNo.を入力 ▶［OK］と操作すると再設定できます。

memo

- PINロック解除コードについて詳しくは、「PINロック解除コード」（▶P.26）をご参照ください。

「NFC ／おサイフケータイロック」について

- 「NFC ／おサイフケータイロック」を有効にしている場合は、NFC ／おサイフケータイ®（FeliCa）をご利用できません。
- 「NFC ／おサイフケータイロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC ／おサイフケータイロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC ／おサイフケータイロック」を解除してください。
- ロックNo.はau Micro IC Card(LTE)に保存され、本製品から取り外してもau Micro IC Card(LTE)内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.25）をご参照ください。
- NFC ／おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに NFC が表示されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター機能を利用したNFCカードの読み書きができます。

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [NFC / おサイフケータイ設定]**

2 **[NFC R/W P2P] にチェックを付ける**

- [NFC R/W P2P] にチェックを付けると、自動的に [Android ビーム] にチェックが付きます。

3 **[Androidビーム] にチェックを付ける**

- 非接触ICカード機能は、NFC機能の有効／無効にかかわらず利用できます。

Androidビームでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- Androidビームでデータを送受信するには、あらかじめ「Androidビーム」にチェックを付けておいてください。
- すべてのNFC機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。

■データを送信する

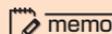
例：連絡先（顔写真なし）を1件送信する場合

1 **ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [基本ツール] ▶ [連絡先] ▶ 連絡先を選択**

2 **受信側の端末と、FeliCaマークを向い合わせる**

3 **画面をタップ**

■データを受信する

1 **送信側の端末と、FeliCaマークを向い合わせる**

memo

- アプリケーションによってはAndroidビームをご利用になれません。
- 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFCメニューを利用する

NFCメニューは、NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができるアプリケーションです。

1 ホーム画面で［アプリ］▶［NFCメニュー］

NFCメニュー画面が表示され、NFCサービスに対応したアプリアイコンの一覧が表示されます。
初回機能時には許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 アプリを起動

起動したいアプリアイコンをタップします。

■ NFCの各種設定と操作を行う

1 NFCメニュー画面で［ ☰ ］

2 以下の項目をタップ

項目		説明
サービス一覧更新		本製品に登録しているサービスの情報を更新します。
NFCポータルサイト		ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。
NFCロック		NFC機能をロック／解除する設定をします。 • 詳しくは、「NFC／おサイフケータイ®（FeliCa）を設定する」（▶P.209）をご参照ください。
ヘルプ		NFCメニューのヘルプ画面を表示します。
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプ（カテゴリーなし／カテゴリー別）を変更します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリーの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の配色を設定します。
	アニメーション	NFCメニューのアニメーションを有効／無効に設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定		決済するカードを設定します。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。
NFCタグリーダーを利用するには、あらかじめアプリケーションをダウンロードしてください。

1 **ホーム画面で［アプリ］▶［NFCタグリーダー］**

初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 **各機能操作を行う**

Share	電話帳など、NFCケータイ同士をかざすことで各種データを送受信します。
Writing	編集画面で書き込むデータを設定し、タグにかざすことで書き込みます。
History	Reading、Writing、Shareの履歴を表示します。
Setting	NFC SettingやApp Settingを行います。 • NFC Settingを選択すると、NFC／おサイフケータイロック、NFC R／W P2P、Androidビーム機能ON／OFFができます。 • App Settingを選択すると、自動起動、メインカラー選択、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音の設定や、利用規約の確認ができます。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のFeliCaマークをNFC機能をサポートしているリーダー／ライターにかざしたり、NFC 機能をサポートしている機器同士で端末のFeliCaマークを向かい合わせることで、NFCデータのやりとりができます。

おサイフケータイ®（FeliCa）を利用する

おサイフケータイ®対応サービスを利用する

1 **ホーム画面▶［アプリ］▶［おサイフケータイ］**

2 **サービスを選択**

• サービスによっては初期登録が必要です。画面に従って操作してください。

マイ サービス	アプリダウンロードまたは設定済みサービスの一覧を表示します。
おすすめ	利用したいサービスを選び、利用設定を行えます。
電子マネー残高	ご利用中の電子マネーの残高一覧を表示します。
ロック設定	おサイフケータイ®のロック設定を行えます。

おサイフケータイ®画面のオプションメニューを利用する

オプションメニューには、選択している画面上で利用可能な機能のみ表示されます。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [おサイフケータイ]

2 [☰]

3 以下の項目をタップ

表示形式切替		「マイ サービス」でのサービスの表示形式を切替えます。
サービス表示情報更新		画面に表示されるサービスの情報を更新します。
メモリ使用状況		おサイフケータイのメモリ使用状況を表示します。
サポートメニュー	おサイフケータイ アプリ ご利用規約	おサイフケータイ®アプリケーションのご利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高表示機能のご利用条件を表示します。
	バージョン情報	ご利用中のバージョンを表示します。
	操作ガイド	おサイフケータイ アプリ 操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス表示情報をリセットします。おサイフケータイ®のアプリケーションおよびデータは削除されません。

LG Tag+を利用する

LG Tag+に本製品をかざすだけで、さまざまな生活シーン（運転、オフィス、就寝など）にあわせて、簡単に本製品の設定を変更できます。
たとえば、運転時のシーンを想定して、「GPS : ON」、「Bluetooth : ON」にする設定をLG Tag+に登録しておきます。
運転時の設定を登録したLG Tag+を、自動車のハンドルの近くなどに貼っておくことで、スマートフォンをかざすだけで、簡単に設定を変更することができます。

本製品にタグ情報を登録する

生活シーンに応じた各種設定をタグ情報として登録します。
連絡先やURL、テキストなどの情報も登録できます。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [LG Tag+] ▶ [マイタグ]

❶ **登録済みのタグ一覧**
登録しているタグが表示されます。
タグをタップすると設定内容の確認および設定変更することができます。

❷ **ヘルプ表示**
使用方法を確認できます。

❸ **タグ情報追加**

❹ **タグ情報削除**

❺ **LG Tag+登録情報の消去**
タグ情報が書き込まれたLG Tag+の情報を消去できます。
LG Tag+書き込み後に操作可能です。

2 [⊕] をタップ

3 タグ名を入力 ▶ [OK]

4 登録したいアクションを選択 ▶ 表示に従って設定を選択

5 アクションを追加する場合は、[⊕] をタップ ▶ 登録したいアクションを選択

❶ **選択中のマイタグ名称**

❷ **アクション追加**
最大6項目まで追加できます。

❸ **アクション削除**
本アイコンをタップし、削除したいアクションを選択することで、削除できます。

❹ **設定したアクション内容**
各項目をタップすると、ON／OFFなどの設定を切り替えることができます。

❺ **[NFCタグに書込む]**
下記の「LG Tag+にタグ情報を書き込む」で使用します。

LG Tag+にタグ情報を書き込む

本製品に登録した各種設定をLG Tag+に書き込みます。

1 ホーム画面 ▶ [アプリ] ▶ [LG Tag+] ▶ [マイタグ]

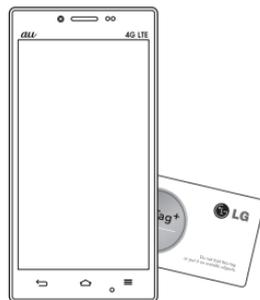
2 書き込みたいタグ情報を選択

3 [NFCタグに書込む] をタップ

4 本製品をLG Tag+にかざす
LG Tag+に設定が書き込まれます。

LG Tag+からタグ情報を読み取る

本製品をLG Tag+にかざすだけで、簡単に設定変更できます。

1 本製品をLG Tag+にかざす
本製品の設定が変更されます。

LG Tag+の認識率は、両サイドが高いので、かざすときは両サイドをご使用ください。

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）を本製品本体にセットすることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。また、連絡先やEメールのデータなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

memo

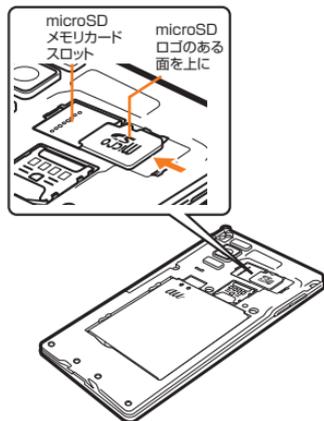
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。（▶P.220）
- 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

<本製品の記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※をお取りください。
  本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※ 控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

microSDメモリカードを取り付ける

1 本体の電源を切り、電池フタを取り外す

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、まっすぐにゆっくり差し込む

3 電池フタを装着する

memo

- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [ストレージ] ▶ [SDカードのマウント解除] ▶ [OK]

2 本体の電源を切り、電池フタを取り外す

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

4 電池フタを装着する

memo

- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

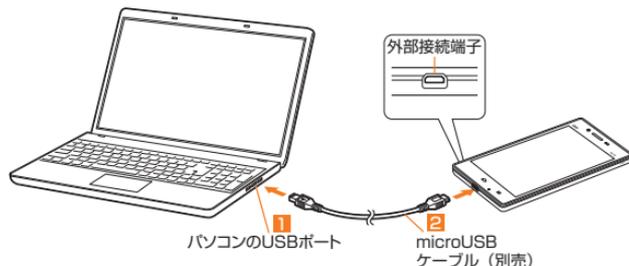
microUSBケーブル（別売）でパソコンと接続する

microSDメモリカードをセットした本製品とパソコンをmicroUSBケーブル（別売）で接続して、本製品にセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、WMAデータなどの音楽／動画データの転送も可能です。
「USB充電」を有効にすると、パソコンの充電可能なUSBポートに接続して本製品を充電できます。

- microSDメモリカードが挿入されていない場合、パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。
- 外部メモリーモードを使用する場合は、パソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご参照ください。

  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル（別売）を本製品の外部接続端子に接続

3 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [PC接続] ▶ [USB接続の種類]

4 以下の項目をタップ

充電のみ	充電のみが行えます。
メディア同期(MTP)	ファイルの転送、またはWindows Media Playerとの同期が行えます。
USBテザリング	データ通信をUSB接続したPCと共有できます。
LGソフトウェア	「LG PC Suite」との接続に使用します。
カメラ(PTP)	カメラとして接続して、写真を転送することができます。

memo

- 本製品をパソコンに接続すると、自動的にUSB接続モードのメニューが表示されます。
- Windows XP SP3以上／Windows Vista SP1以上／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。
- USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブルを取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
- 通信中に電池パックを取り外さないでください。

■ Windows Media® Playerからデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データを本製品のmicroSDメモリカードに保存します。

あらかじめパソコンと本製品を接続し、「USB接続の種類」を「メディア同期（MTP）」に設定してください。

1 パソコンのWindows Media Playerを起動

Windows Media® Player11／Windows Media® Player12をご使用ください。

2 Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行

登録したデータが自動的に本製品に転送されます。

3 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、本製品を停止

4 microUSBケーブルを本製品から取り外す

microUSBケーブルのコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

- 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
- 著作権保護されていないデータでも、本製品以外で保存したデータは再生できない場合があります。
- 本製品以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、PC接続モードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードを本製品で初期化することをおすすめします。なお、microSDメモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

- 拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
- 著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。ライセンス情報データの削除、データの初期化などを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

メモリの使用量を確認する

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [ストレージ]**

microSDメモリカードと端末容量の設定画面が表示されます。

内部ストレージ	内部ストレージの合計容量や、空き容量が確認できます。
SDカード	microSDメモリカードの合計の容量や、空き容量が確認できます。 ・ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
SDカードのマウント解除／SDカードのマウント	microSDメモリカードの認識を解除し、取り外し可能な状態にします。／microSDメモリカードを認識します。
SDカードのデータを消去	▶P.220「microSDメモリカードをフォーマットする」

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて削除されます。

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [ストレージ] ▶ [SDカードのマウント解除] ▶ [OK]**

2 **[SDカードのデータを消去]**

3 **[SDカードのデータを消去] ▶ [実行する]**

memo

- フォーマットは、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
- マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、「SDカードのマウント」を選択してください。
- データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

端末設定

本製品について設定する

1 **ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］**

設定メニュー画面が表示されます。

無線とネットワーク	Wi-Fi	▶P.238「無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする」
	Bluetooth	▶P.244「Bluetooth®機能を有効にする」
	データ使用	モバイルデータ通信の設定や、通信量の確認などを行います。
	通話設定	▶P.223「通話に関する設定をする」
	その他…	機内モード、モバイルネットワーク設定など通信に関する設定を行います。 LTEデータ通信をする場合には、［モバイルネットワーク］▶［LTEデータ通信］にチェックを付けます。
デバイス	サウンド	▶P.225「サウンドの設定をする」
	表示	▶P.226「表示の設定をする」
	ホームスクリーン	テーマや壁紙などの設定を行います。
デバイス	画面のロック	▶P.226「画面のロックの設定をする」
	ジェスチャー	▶P.227「ジェスチャーの設定をする」
	ストレージ	▶P.232「ストレージ」
	パワーセーブ	電池残量の確認や省電力に関する設定を行います。
	アプリ	▶P.229「アプリの設定をする」
	クアッドコア制御	CPU制御を最適化し、バッテリー消費を抑制するかを設定します。
パーソナル	アカウントと同期	▶P.230「アカウントと同期の設定をする」
	位置情報サービス	▶P.228「位置情報サービスの設定をする」
	セキュリティ	▶P.228「セキュリティの設定をする」
	言語と入力	▶P.232「使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする」
	バックアップとリセット	▶P.231「バックアップとリセットの設定をする」
システム	日付と時刻	▶P.234「日付と時刻を設定する」
	ユーザー補助	▶P.234「ユーザー補助の設定をする」
	PC接続	▶P.235「接続の設定をする」
	開発者向けオプション	開発者向けの機能設定を行います。
	デバイス情報	▶P.236「端末情報に関する設定をする」

通話に関する設定をする

留守番電話、着信転送などネットワークサービスを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶［通話設定］

2 以下の項目をタップ

着信拒否	▶P.223「着信を拒否する」
留守番電話	▶P.258「お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）」
着信転送	▶P.252「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」
割込通話サービス	▶P.255「割込通話サービスを利用する（標準サービス）」
ガイダンス変更	▶P.263「英語ガイダンスへ切り替える」 ▶P.263「日本語ガイダンスへ切り替える」
auお客さまサポート	お客さまセンターに連絡できます。
通話時間	前回通話・累積の通話時間の目安を表示します。 ・ 各項目をタップすると、表示されている時間をリセットできます。
連絡先未登録番号追加	通話相手が連絡先に登録されていない場合、通話終了時に連絡先に追加するか確認します。

memo

通話時間について

- 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 設定メニュー画面 ▶［通話設定］▶［着信拒否］▶［着信拒否モード］

2 以下の項目をタップ

無効	着信を拒否しません。
着信拒否リスト	拒否リストに登録されている電話番号からの着信を拒否します。
すべて拒否	すべての着信を拒否します。

memo

- 着信転送サービスのフル転送を設定している場合は、着信拒否に設定しても着信転送サービスに転送されます。
- 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

拒否リストを登録する

特定の電話番号を指定して、その番号からの着信を拒否します。

1 設定メニュー画面 ▶ [通話設定] ▶ [着信拒否] ▶ [着信拒否リスト]

2 [⊕]

連絡先	連絡先から拒否する電話番号を選択して登録します。
通話履歴	通話履歴から拒否する電話番号を選択して登録します。
新しい番号	拒否する電話番号を入力して登録します。

memo

- 「非通知番号」にチェックをつけると、非通知番号の着信を拒否します。
- 「登録してない電話番号」にチェックをつけると、連絡先に登録されていない電話番号の着信を拒否します。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

1 設定メニュー画面 ▶ [その他...]

2 「機内モード」にチェックをつける

memo

- 携帯電話の使用が禁止されている場所（航空機内、医療機器や電子機器のそばなど）では、電源を切ってください。
- 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- 機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能による通信などもご利用になれません。ただし、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能については機内モード設定中に再び有効にすることができます。

サウンドの設定をする

マナーモードの設定、音声着信音、メール受信音、操作音、バイブレータ（振動）、メディア再生音量などを変更できます。

1 設定メニュー画面 ▶［サウンド］

2 以下の項目をタップ

サウンドプロフィール	▶P.225「マナーモードを設定する」
ボリューム	着信音や音楽、動画再生時などの音量を設定します。
着信音	音声着信音に設定するデータを選択して登録します。
通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
着信音とバイブレータ	着信時や通知時にバイブレータを有効にするかどうかを設定します。
ワイズベル	周囲が賑やかなとき、自動的に着信音を大きく鳴らすかどうかを設定します。
サウンド中断時間	アラームとメディアを除くサウンドをオフにする時間を設定します。
ダイヤルパッドのタッチトーン	数字キーで電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
タッチ操作音	操作音を有効にするかどうかを設定します。
画面ロック時の音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
緊急通報時の音	緊急通報時の音の設定を行います。
キー操作時に振動	ソフトキーを押したときなどにバイブレータが動作するかどうかを設定します。

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 設定メニュー画面 ▶［サウンド］▶［サウンドプロフィール］▶［バイブレートのみ］／［サイレント］

memo

- 自動車または原動機付自転車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。
- 「バイブレートのみ」や「サイレント」を設定中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音は鳴動します。
- 「バイブレートのみ」や「サイレント」を設定中でもムービーやミュージックの再生では消音されません。
- □を長押し ▶［ ］／［ ］でも同様に操作できます。

端末設定

表示の設定をする

アニメーション表示、画面の向き（縦横表示の切り替え）、画面消灯など、画面表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［表示］

2 以下の項目をタップ

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 • ［画面の明るさを自動調整する］▶［OK］と操作すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
縦横表示の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。
ワイズスクリーン	フロントカメラが顔認識している間、バックライトをONにしたままにするかどうかを設定します。
フォントタイプ	画面表示のフォントを設定します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
アスペクト比補正	ダウンロードしたアプリケーションの表示を画面の解像度に合わせます。
フロントキー照明	フロントキー照明の点灯、点灯時間の設定をします。
通知表示	充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。
センサーの調整	ジェスチャーセンサーを調整します。

画面のロックの設定をする

画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［画面のロック］

2 以下の項目をタップ

画面ロックを選択	「なし」、「スワイプ」、「顔認証ロック解除」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかを選択します。
壁紙	ロック画面に表示する壁紙を設定します。
時計とショートカット	ロック画面に表示する時計とショートカットを設定します。
画面エフェクト	画面エフェクトの設定をします。
所有者情報	ロック画面に表示するオーナー情報を設定します。
ロックタイマー	画面OFFからロックするまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする	電源ボタンを押すとすぐにロックするかどうかを設定します。
キー操作時に振動	キーを操作したときに振動するかどうかを設定します。

memo

ロック設定について

- 画面ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）への電話はかけられます。
- ロック解除方法をパターンに設定している場合、画面ロック解除時に入力に5回失敗すると、「パターンを忘れましたか。」が表示されます。「パターンを忘れましたか。」をタップし、Googleアカウントでログインしてロックを解除すると、新しいパターンを設定できます。
- ロック解除方法をパスワードに設定する場合、パスワードは、4～16桁のお好みの英数字・記号に設定できます。

ジェスチャーの設定をする

各種モーションジェスチャーの有効／無効の設定を行います。

1 **設定メニュー画面 ▶ ［ジェスチャー］**

2 **以下の項目をタップ**

ホーム画面アイテムの移動	アイテムの選択中に本端末を左右に傾けると、アイテムの場所を変更できます。
チルト感度	ホームとアプリケーション画面用に傾きセンサーのテストと感度調整を行います。
ミュート	着信音が鳴ってるときに本端末を裏返すと音が止まります。
アラームの停止またはスヌーズ	アラーム鳴動中に本端末を裏返すとアラーム音が止まります。
ビデオの一時停止	ビデオの再生中に本端末を裏返すと再生を一時停止します。
ヘルプ	ジェスチャー機能の使いかたを表示します。

memo

- 「チルト感度」は、「ホーム画面アイテムの移動」にチェックがついている場合に操作できます。

位置情報サービスの設定をする

GPS機能のオン／オフなどの位置情報に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ ［位置情報サービス］

2 以下の項目をタップ

Googleの位置情報サービス	Wi-Fi®やモバイルネットワークなどのデータを利用して、おおよその現在地を特定することをアプリに許可します。
GPS機能	アプリケーションがGPS機能を利用することを許可するかどうかを設定します。
位置情報とGoogle検索	Googleが検索結果や位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

memo

GPS機能の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
- 電波が良好な場所でご利用ください。

セキュリティの設定をする

各種パスワードなどの設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ ［セキュリティ］

2 以下の項目をタップ

UIMカードのロック設定	UIMカードのロック	起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力 ▶ ［OK］**
	UIM PINの変更	PINコードを変更します。UIM PINを変更する場合は、「UIMカードのロック」を有効に設定してください。 **1. 古いPINコードを入力 ▶ ［OK］** **2. 新しいPINコードを入力 ▶ ［OK］** **3. 確認のためもう一度新しいPINコードを入力 ▶ ［OK］**
パスワードを表示する		ロック解除時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理機能の選択		本端末のデバイス管理機能を追加／削除します。
提供元不明のアプリ		Google Playで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。
確認済み証明書		安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
ストレージからインストール		暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。
認証ストレージの消去		認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

UIMカードロック設定について

- PINコードについては、「PINコードについて」（▶P.25）をご参照ください。

アプリの設定をする

アプリケーションに関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。

1 **設定メニュー画面 ▶［アプリ］**

2 **以下の項目をタップ**

ダウンロード済み	インストールされているアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制終了などができます。
実行中	実行中のサービスを表示します。 • サービスを選択 ▶［停止］▶［OK］と操作すると、実行中のサービスを停止することができます。
すべて	すべてのアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制終了などができます。

アプリケーションの管理について

- Google Playなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。

自動同期を設定する

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期]

2 [ ]

■自動同期する対象を設定する

3 同期するアカウントを選択

4 同期する項目にチェックを付ける ▶ [ ]

手動で同期する

アカウントと同期の設定が「 」のとき、同期する項目を選択して同期します。

1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期]

2 同期するアカウントを選択

3 同期する項目を選択

アカウントを追加する

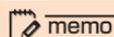
1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期] ▶ [アカウントを追加]

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面 ▶ [アカウントと同期] ▶ 削除するアカウントを選択

2 [ ] ▶ [アカウントを削除] ▶ [OK]

memo

- 他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」が必要です。

端末設定

バックアップとリセットの設定をする

データのバックアップ／復元を行ったり、お買い上げ時の状態に戻します。

1 **設定メニュー画面 ▶［バックアップとリセット］**

2 **以下の項目をタップ**

項目	説明
データのバックアップ	本体の設定とアプリケーションデータのバックアップを行います。
バックアップアカウント	バックアップ用のアカウントを設定します
自動復元	アプリケーションの再インストール時にバックアップした設定やそのほかのデータを復元します。
データの初期化	▶P.231「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

本製品をお買い上げ時の状態に戻します（リセット）。この操作を行うと、ご購入後に本製品にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 **設定メニュー画面 ▶［バックアップとリセット］▶［データの初期化］**

2 **［携帯電話のリセット］**

3 **［実行する］▶［OK］**

memo

- データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。
- データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- 「SDカードのデータを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータも消去されます。
- 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
  - エリア設定
  - UIMカードロック設定
  - NFC／おサイフケータイロック設定

ストレージ

microSDメモリカードと端末容量の確認や初期化をする

microSDメモリカードや本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードのマウント／マウント解除や初期化を行います。（▶P.220「メモリの使用量を確認する」）

使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする

表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。

1 **設定メニュー画面 ▶［言語と入力］**

2 **以下の項目をタップ**

言語	日本語／英語／韓国語の表示を切り替えます。
ユーザー辞書	ユーザー辞書を表示します。 ・［ ＋ ］▶ 単語などを入力 ▶［OK］と操作すると、単語リストに単語などを登録できます。 ・登録した単語などを編集する場合は単語を選択し、削除する場合は［ ✖ ］▶［OK］と操作します。
デフォルト	デフォルトのキーボードと入力方法を選択します。使用する場合は下記項目をタップしてチェックマークを付けます。また、各種設定を行います。 ・Google 音声入力 ・LGキーボード ・LG日本語キーボード ・mazec-T 手書き変換

音声入出力の設定をする

Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。

1 設定メニュー画面 ▶ [言語と入力]

2 以下の項目をタップ

音声検索	言語	音声入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声入力で検索する場合に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを規制するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
音声出力	Googleテキスト読み上げエンジン	Googleテキスト読み上げエンジンの設定を行います。
	読み上げ速度の調整	テキストを読み上げる速度を設定します。
	デモを聞く	音声合成の短いデモンストレーションを再生します。

memo

- 音声入力する言語により、「セーフサーチ」「不適切な語句をブロック」が利用できない場合があります。
- テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
- microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ケータイアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。
- インストールした音声データを削除するには、「データの初期化」が必要です。

マウス／トラックパッドの設定をする

Bluetooth®デバイス（マウスやトラックパッド）のポインター速度の設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [言語と入力] ▶ [ポインター速度]

2 ポインター速度の設定を行い、[OK]

日付と時刻を設定する

日付と時刻の表示形式の設定などをします。

1 設定メニュー画面 ▶ [日付と時刻]

2 以下の項目をタップ

日付と時刻の自動設定	ネットワークから日付・時刻情報を取得して自動的に設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワークを介してタイムゾーンの情報を取得し、自動的に設定します。
日付の設定	日付の設定を行います。
時刻の設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンの設定を行います。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付表示形式の選択	日付の表示形式を設定します。

ユーザー補助の設定をする

通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスを設定します。
お買い上げ時はオプションが登録されていません。ユーザー補助オプションを利用する場合は、あらかじめオプションをGoogle Playからダウンロードして登録する必要があります。
オプションを登録後、以下の操作でオプションを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶ [ユーザー補助]

ユーザー補助アプリケーションをインストールするかどうかの確認画面が表示された場合は、「OK」を選択してユーザー補助アプリケーションをインストールしてください。

2 以下の項目をタップ

サービス	インストールしたアプリケーションが表示されます。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくします。
電源ボタンで通話を終了	通話中に ▭ を押した場合に通話を終了するかどうかを設定します。
縦横表示の自動回転	本端末を回転した場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
タッチ感度調整	タッチの感度を「短い」、「中」、「長い」から選択します。
webスクリプトをインストール	アプリからWebコンテンツへのアクセスを容易にするスクリプトをGoogleからインストールするかどうかを設定します。

接続の設定をする

外部機器と接続するための設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [PC接続]

2 以下の項目をタップ

USB接続の種類	充電のみ	充電のみを行います。
	メディア同期(MTP)	ファイルの転送、またはWindows Media Playerと同期をします。
	USBテザリング	データ通信をUSB接続したPCと共有します。
	LGソフトウェア	「LG PC Suite」との接続に使用します。
	カメラ(PTP)	カメラとして接続し、写真を転送します。
接続時に確認		パソコンと接続するときに、USB接続モードを常に確認するかどうかを設定します。
ヘルプ		「USB接続の種類」のヘルプを表示します。
PC Suite		Wi-Fi®でPC Suiteに接続するかどうかを設定します。

■LG PC Suiteとは

LG PC Suiteは本製品とパソコンをWi-Fi®でリンクして、データの管理や同期、転送などができる機能です。
本製品でパソコンに保存しているマルチメディアコンテンツを利用したり、マーケットなどで購入したアプリケーションを管理・転送したり、本製品の状態をバックアップ・復元したりできます。
PC Suiteについて詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

memo

- USB接続でLG PC Suiteに接続する場合、「USB接続の種類」を「LGソフトウェア」にする必要があります。
- 本製品がLG PC Suiteに認識されている状態でmicroUSBケーブルの抜き差しを行うと、本製品のUSB接続モードを設定しない状態でもLG PC Suiteから本製品が認識されます。

端末情報に関する設定をする

電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

1 設定メニュー画面 ▶［デバイス情報］

2 以下の項目をタップ

ソフトウェア更新	▶P.281「ソフトウェアを更新する」
ネットワーク	本製品のネットワークに関する状態を表示します。
電話機識別情報	本製品の電話番号、モデル番号(機種名)、IMEI などを表示します。
バッテリー	バッテリーの状態が確認できます。
ハードウェア情報	Wi-Fi MACアドレス、Bluetoothアドレス、ハードウェアバージョンを表示します。
ソフトウェア情報	本製品で稼働中のAndroid のバージョン、ベースバンドバージョン、カーネルのバージョン、ビルド番号、ソフトウェアバージョンを表示します。
使用条件	オープンソースのライセンスやGoogle利用規約が確認できます。

データ通信

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
無線LAN（Wi-Fi®）を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

memo

- ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント（無線LAN親機）をご用意ください。
- 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする

1 ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［Wi-Fi］

2 ［ ］をタップ
ステータスバーを下方向にスライドしてWi-Fi®アイコンをタップしても同様に操作できます。

Wi-Fi® ネットワークに接続する

1 ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［Wi-Fi］
Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力 ▶［接続］
「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- お使いの環境によっては、通信速度の低下やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [ネットワークを追加]

2 ネットワークSSIDを入力 ▶ セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

3 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

3 パスワードを入力 ▶ [保存]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1 x EAP」に設定した場合

3 必要な項目を設定／入力 ▶ [保存]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
- Wi-Fi設定画面 ▶ アクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワークを変更] と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

自動でアクセスポイントを登録する

AOSS™やかんたん接続対応のアクセスポイントを登録する場合、Wi-Fiかんたん設定機能を使うと、簡単に登録できます。

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [Wi-Fiかんたん設定]

2 設定方法を選択

AOSS方式	AOSS™方式で自動登録します。
かんたん接続	au Wi-Fi接続ツールを使って自動登録します。

■ AOSS™方式を選択した場合

初回起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する] をタップしてください。

3 [AOSS™ボタン]

4 表示される手順に従って、アクセスポイントの操作を行う

5 [OK]

■ かんたん接続を選択した場合

3 表示される手順に従って、アクセスポイントの操作を行う

4 [OK]

アクセスポイントとの接続を切る

1 **Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントを選択 ▶ [切断]**

Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワークの切断] でも同様に操作できます。

memo

- アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fi®のネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [ネットワーク検出通知] にチェックをつける**

接続を一時停止するタイミングを設定する

1 **Wi-Fi設定画面 ▶ [☰] ▶ [詳細設定] ▶ [画面OFF時のWi-Fi設定]**

2 **以下の項目をタップ**

接続を維持	画面OFF時もWi-Fi接続を維持します。
充電中は接続を維持	充電中の場合のみ画面OFF時もWi-Fi接続を維持します。
接続を維持しない	画面OFF時はWi-Fi接続を切断します。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、LTE／3Gパケット通信や無線LAN（Wi-Fi®）通信、WiMAXネットワークを通じて無線LAN（Wi-Fi®）対応機器、USB対応機器をインターネットに接続させることをいいます。
テザリング機能について詳しくは、ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [ポータブルWi-Fiアクセスポイント] ▶ [ヘルプ] でヘルプをご参照ください。

memo

- テザリング機能のご利用には、別途ご契約が必要です。
- 海外のネットワークを利用中は、テザリング機能を利用できません。
- 最大10台まで同時接続可能です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

- あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法については、「パソコンを使って充電する」（▶ P.42）をご参照ください。

1 **[ホーム画面] ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [PC接続] ▶ [USB接続の種類]**

2 **[USBテザリング]**

memo

- Windows XP SP3以上／Windows Vista SP2以上／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi® テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 [ホーム画面] ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [ポータブルWi-Fiアクセスポイント]

2 [ポータブルWi-Fiアクセスポイント]

memo

- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi® テザリング機能の設定をする

無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 [ホーム画面] ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [ポータブルWi-Fiアクセスポイント]

2 [Wi-Fiアクセスポイントを設定]

3 以下の項目をタップ

項目	説明
ネットワークSSID	他の無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器に表示される名前（ネットワークSSID）を入力します。
セキュリティ	無線LAN（Wi-Fi®）の暗号化方式を選択します。
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。

4 [保存]

memo

- セキュリティを「Open」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
- 「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

Bluetooth® 機能

Bluetooth® 機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth® デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

Bluetooth® 機能でできること

■ オーディオ出力
ワイヤレスで音楽やテレビ（ワンセグ）放送を聴くことができます。

■ ハンズフリー通話
Bluetooth® 対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth® 接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■ データ送受信
連絡先、プロフィール、メモ帳、ブックマーク、フォトデータ、ムービーデータ、ボイスレコーダーで録音したデータなどをBluetooth® 対応機器と送受信できます。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth® 機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth® 機器との接続は保証できません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth® 標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth® 通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth® 通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microUSBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth® 機能を使用できないことがあります。

Bluetooth® 通信中の動作について

Bluetooth® 通信中とは、「Bluetooth® 機器のペア設定中（新規登録中）」「データ送受信中」「検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器と本製品の間に障害物（身体、金属、壁など）があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器と本製品の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、応答することができます。Bluetooth® で検索、データ通信中の場合は、通話中画面を表示したままBluetooth® 通信を継続します。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth® 通信を継続します。
- Bluetooth® と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth® 機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth® 対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN（Wi-Fi®）との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器の電源を切ってください。

主な仕様

通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.4.0 BLE
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class1
通信距離※1	見通しの良い状態で最大10m
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) OPP(Object Push Profile) SPP(Serial Port Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile)
使用周波数帯	2.4 GHz

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字）です。 ペア設定をした通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP(Headset Profile)	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP(Hands-Free Profile)	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
OPP(Object Push Profile)	カーナビ、パソコンなどと連絡先データなどを送受信するためのプロファイルです。
SPP(Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
PBAP(Phone Book Access Profile)	連絡先データを転送するためのプロファイルです。
HID(Human Interface Device Profile)	キーボードやマウス、ジョイスティックなどを接続するためのプロファイルです。
パスキー	Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。 本製品では、1～16桁の数字を入力できます。

用語	説明
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリケーションです。 本製品では、テレビ（ワンセグ）のことを指します。
オーディオ出力対応機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。 本製品では、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®機能を有効にする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®を起動します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索可能状態の設定、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［Bluetooth］

2 ［ ⚪ ］をタップ

ステータスバーを下方向にスライドしてBluetooth®アイコンをタップしても同様に操作できます。

memo

- Bluetooth®を起動すると、電池の消耗が激しくなります。
- オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。

■ Bluetooth®機器との接続には

Bluetooth®機器との初回接続時に、同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示されます。その場合は、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることを確認してから、本製品と接続するBluetooth®機器で接続の操作を行ってください。パスキー入力画面が表示された場合は、本製品と接続するBluetooth®機器で同じパスキーを入力してください。
他のBluetooth®機器からの機器検索を可能にしたい場合は、「デバイスを表示する」を有効に設定してください。

memo

- パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

■ ハンズフリー通話について

Bluetooth®を起動した状態で、ペア設定済みのハンズフリー機器やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

- ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」／「HFP」です。
- ハンズフリーをご利用になる場合は、あらかじめ対応機器と接続してください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」（▶P.246）をご参照ください。
- ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー着信中や通話中に音量キー（UP ／ DOWN）を押すと、ハンズフリー対応機器の着信音量や通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。
- ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

■ オーディオ機器について

Bluetooth®を起動した状態で、ペア設定済みの機器から接続要求があると自動的に接続します。
オーディオ機器接続中は、以下の点にご注意ください。

- ＢＧＭ再生中／ＢＧＭ受信中に画面ロックが設定されても、オーディオ機器からの操作を継続して行うことができます。
- オーディオ出力対応アプリや利用する機器によっては、本体の操作で音量を調節できない場合や本体の操作で音量を調節しても、オーディオ機器には反映されない場合があります。その場合は、音量をオーディオ機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては、音量調節以外も利用できない場合があります。
- 着信があった場合は、スピーカーでお知らせします。ハンズフリー対応のオーディオ機器の場合は、オーディオ機器から着信通知音が流れます。
- アラームなどで設定している時刻になった場合は、オーディオ機器でお知らせします。ただし、オーディオ機器で電話を受けたり通話をしたりすることはできません。スピーカーとマイクで通話してください。
- オーディオ出力対応アプリ起動中にオーディオ機器の接続が切断されても、アプリの動作は継続します。接続切断後、オーディオ機器を操作すると接続を再開します。
- オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。
- テレビ（ワンセグ）の番組によっては、オーディオ機器で音を聴くことができない場合があります。

memo

- オーディオ出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。
- オーディオ機器をご利用になる場合は、あらかじめペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」（▶P.246）をご参照ください。
- SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。
- 音楽を聴いているときなどに電話をかけたり、かかってきた電話に出たりする場合は、オーディオ機器とハンズフリー機器、またはヘッドセット機器の両方のプロファイルに対応している必要があります。
- 500曲以上登録したプレイリストは、カーナビでは再生できない場合があります。

Bluetooth® 機器を登録する

本製品からBluetooth® 機器に接続する場合は、Bluetooth® とペア設定を行います。Bluetooth® 機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [Bluetooth] ▶ [デバイスの検索]**

検索に応答した機器が「接続可能な機器」に表示されます。

2 **接続するBluetooth® 機器を選択**

3 **画面の指示に従って操作し、Bluetooth® 機器を認証**

ペアリング要求画面が表示されます。本製品とBluetooth® 機器で同じパスキーが表示されていることを確認し、[ペアリング] をタップします。ペア設定が完了するとBluetooth® 機器が使用できます。
ペア設定と接続の状態は、Bluetooth® デバイスリストの「接続可能な機器」の上に「ペアリング済みデバイス」欄が表示され、その一覧に表示されます。
Bluetooth® デバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスもあります。

memo

- ペア設定をしたBluetooth® 機器がヘッドセット機器、ハンズフリー機器、オーディオ機器、キーボード機器のいずれにも対応していない場合、接続が行われません。
- Bluetooth® 機器がデバイスを非公開または検索不可能に設定している場合は、検索結果に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth® 機器の取扱説明書などをご参照ください。

Bluetooth® でデータを送受信する

Bluetooth® でデータを送信する

各機能のメニューから、データをBluetooth® 送信することができます。

例：連絡先を複数送信する場合

1 **連絡先一覧画面 ▶ [☰] ▶ [共有]**

2 **連絡先を選択 ▶ [添付]**

全件選択する場合は、[すべて選択] ▶ [添付] をタップします。

3 **[Bluetooth]**

4 **送信先の機器を選択**

memo

- 複数のGoogleアカウントを設定している場合、連絡先を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている連絡先が送信されます。
- データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- データ送信時は、連絡先はvCard形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手側（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法については、「Bluetooth®機能を有効にする」（▶P.244）をご参照ください。

1 送信側のBluetooth®機器からデータ送信

2 ［承諾］

memo

- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。
- 連絡先登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。

Bluetooth®機能の設定をする

1 ホーム画面▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［Bluetooth］

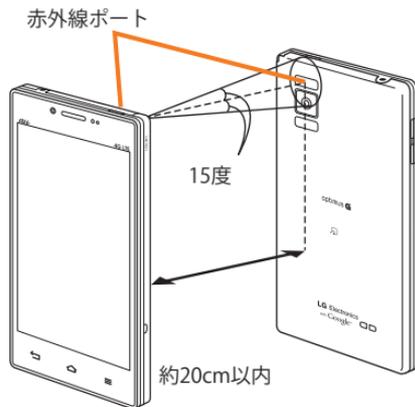
2 以下の項目をタップ

Bluetooth	▶P.244「Bluetooth®機能を有効にする」
デバイス名	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示されるデバイス名を編集できます。
デバイスを表示する	他のBluetooth®機器から検出可能な状態にするかどうかを設定します。 • 有効にしてから2分間経過すると、自動的に無効になります。
検索するデバイスの種類	検索するデバイスの種類を選択します。
デバイスの検索	▶P.246「Bluetooth®機器を登録する」

データ通信

赤外線通信

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

- 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
- 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
- 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- 送受信時に認証パスコードの入力が必要になる場合があります。認証パスコードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
- 赤外線通信中に音声着信、アラームなど、他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。

赤外線でデータを受信する

■ 1件送信でデータが送信された場合

1 ホーム画面で［アプリ］▶［基本ツール］▶［赤外線］▶［受信］

2 受信完了

連絡先データの場合は、アプリケーションやアカウントの選択を行います。

■ 全件送信でデータが送信された場合

1 ホーム画面で［アプリ］▶［基本ツール］▶［赤外線］▶［すべて受信］

2 認証コードを入力 ▶［OK］▶［OK］

赤外線でデータを送信する

■ 1件送信でデータを送信する場合

1 ホーム画面で［アプリ］▶［基本ツール］▶［赤外線］▶［送信］

以下の項目をタップ

マイプロフィール	マイプロフィールを送信します。
連絡先	連絡先データを選択して送信します。
スケジューラ	カレンダーデータを選択して送信します。
ギャラリー	ギャラリーの画像データを送信します。

■ 全件送信でデータを送信する場合

1 ホーム画面で［アプリ］▶［基本ツール］▶［赤外線］▶［すべて送信］

2 ［連絡先］／［スケジューラ］▶ 認証コードを入力 ▶［OK］

memo

- スケジューラの送受信時、一部の情報が転送されないことがあります。

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.120
	着信お知らせサービス	P.251
	着信転送サービス	P.252
	割込通話サービス	P.255
	発信番号表示サービス	P.256
	番号通知リクエストサービス	P.257
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.258
	三者通話サービス	P.263
	迷惑電話撃退サービス	P.264
	通話明細分計サービス	P.265

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

■ 着信お知らせサービスについて

着信お知らせサービスは、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大４件です。
- 着信があってから約６時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定では、着信お知らせサービスで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内で着信お知らせサービス（着信通知）を停止することができます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送の３つから選択できます。

memo

- 緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- 着信転送サービスとお留守番サービスを同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- 無応答転送、話中転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次のとおりです。
  ① 話中転送
  ② 無応答転送
- 無応答転送、話中転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1424」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 • 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 • お客様のご負担となります。 • 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［2］＋転送先電話番号を入力 ▶［ ］**

ホーム画面 ▶［ ］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［無応答転送］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［1］［2］▶［ ］と操作して設定できます。
- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［3］＋転送先電話番号を入力 ▶［ ］**

ホーム画面 ▶［ ］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［話中転送］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［1］［3］▶［ ］と操作して設定できます。
- 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［4］＋転送先電話番号を入力 ▶［ ］**

ホーム画面 ▶［ ］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［フル転送］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

memo

- 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［1］［4］▶［ ］と操作して設定できます。
- フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶ 転送の種類によって、それぞれの番号を入力 ▶［ ］**

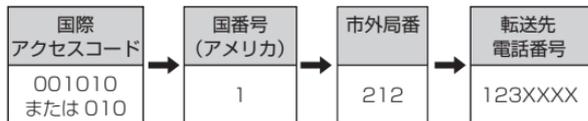
［1］［4］［2］［2］：無応答転送

［1］［4］［2］［3］：話中転送

［1］［4］［2］［4］：フル転送

2 **転送先電話番号を入力**

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

国際アクセスコード	→	国番号（アメリカ）	→	市外局番	→	転送先電話番号
001010 または010		1		212		123XXXX

3 **［終了］**

memo

- au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［2］［0］▶［ ］**

ホーム画面 ▶［ ］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［着信転送］▶［転送停止］でも同様に操作できます。

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送）、転送停止ができます。

1 **090-4444-XXXXに電話をかける**

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
転送停止	1420

2 **ご利用の本製品の電話番号を入力**

3 **暗証番号（4桁）を入力**

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.25）をご参照ください。

4 **ガイダンスに従って操作**

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

- 新規にご加入いただいた際にはサービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Micro IC Card(LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［5］［1］▶［ ］

memo

- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.264）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［5］［0］▶［ ］

memo

- 割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中に着信を受けられます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [電話に出る]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。

[☰] ▶ [相手切替] をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

「終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

- 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件など割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面 ▶ [電話] ▶ [1] [4] [5] [2] ＋相手先電話番号を入力 ▶ [📞]

memo

- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
- 割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の本製品のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- 発信者番号（本製品の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直してほしいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.264）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1. ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［4］［8］［1］ ▶ ［ ］
2. ［終了］

memo

- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
  - 公衆電話、国際電話
  - SMS
  - その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1. ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［4］［8］［0］ ▶ ［ ］
2. ［終了］

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービスは同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

- お留守番サービスEXでは、次のとおりに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	315円（税込）
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 • お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］▶［ ］

2 ガイダンスに従って操作

auのネットワークサービス

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合（留守番開始1）

1 **ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［1］［1］▶［📞］**

ホーム画面▶［☰］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［留守番開始1］でも同様に操作できます。

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合（留守番開始2）

1 **ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［1］［3］▶［📞］**

ホーム画面▶［☰］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［留守番開始2］でも同様に操作できます。

■ お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）（話中転送）

memo

- お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
- お留守番サービスと着信転送サービスを同時に開始することはできません。お留守番サービスの設定中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。

お留守番サービスを停止する

1 **ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［1］［0］▶［📞］**

ホーム画面▶［☰］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［留守番停止］でも同様に操作できます。

memo

- お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
- お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します。（▶P.261「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

［1］：録音した伝言を再生して、内容を確認する
［2］：録音した伝言を「至急扱い」にする
［9］：録音した伝言を消去して、取り消す
［＊］：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

- 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
- お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面▶［電話］▶［1］［6］［1］［2］＋相手の方のau電話番号を入力▶［ ］

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。お知らせする内容は、お預かりした時間と相手の方の電話番号となります。
伝言お知らせは、SMSに保存されます。

memo

- 同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
- お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は20件です。
- 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［7］▶［ 📞 ］**

ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［伝言メッセージを再生する］でも同様に操作できます。
ホーム画面 ▶［電話］▶［1］をロングタッチしても同様に操作できます。

2 **ガイダンスに従ってキー操作**

［1］：同じ伝言をもう一度聞く
［2］：伝言を保存
［4］：5秒間巻き戻して聞き直す
［5］：伝言を一時停止（20秒間）※
［6］：5秒間早送りして聞く
［9］：伝言を消去
［0］：伝言再生中の操作方法を聞く
［#］：次の伝言を聞く
［＊］：前の伝言を聞く

※「終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 **［終了］**

memo

- お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。
- 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 **ホーム画面 ▶［電話］▶［1］［4］［1］［4］▶［ 📞 ］**

ホーム画面 ▶［ ☰ ］▶［システム設定］▶［通話設定］▶［留守番電話］▶［応答内容変更］でも同様に操作できます。

■「個人メッセージ」（すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージ）を録音する場合

2 **［1］▶ 3分以内で応答メッセージを録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］**

■「名前指定メッセージ」（名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージ）を録音する場合

2 **［2］▶ 10秒以内で名前を録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］**

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 **［3］▶ 応答メッセージを確認 ▶［終了］**

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 **［7］▶ 3分以内で応答メッセージを録音 ▶［#］▶［#］▶［終了］**

memo

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 応答メッセージを最後まで聞いてほしい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.261「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［6］［1］［0］ ▶ ［ 📞 ］

2 ［終了］

蓄積停止を解除する

1 ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［6］［1］［1］ ▶ ［ 📞 ］

2 ガイダンスを確認 ▶ ［終了］

memo

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記の××××には、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 **暗証番号（4桁）を入力**

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.25）をご参照ください。

4 **ガイダンスに従って操作**

memo

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 **ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［4］［1］［9］［1］ ▶ ［ ］**

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 **［終了］**

memo

- ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 **ホーム画面 ▶ ［電話］ ▶ ［1］［4］［1］［9］［0］ ▶ ［ ］**

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 **［終了］**

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。
例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 **Aさんと通話中に［ ］ ▶ ［別の通話を追加］ ▶ Bさんの電話番号を入力**

連絡先や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 **［ ］**

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 **Bさんと通話**

4 **［ ］ ▶ ［グループ通話］**

3人で通話できます。「終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう１人の相手の方との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
- 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話中は、SMSを送ることはできません。
- 三者通話の２人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

- お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービス、番号通知リクエストサービスのそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面 ▶ [電話] ▶ [1] [4] [4] [2] ▶ [ ]

2 [終了]

memo

- 受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
- 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
- 次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
  - 警察、消防機関、海上保安本部
  - 公衆電話、国際電話
  - SMS
- 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
- 受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- 受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
  - SMS
  - 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［4］［8］▶［ ］

2 ［終了］

memo

- 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面▶［電話］▶［1］［4］［4］［9］▶［ ］

2 ［終了］

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面▶［電話］▶［1］［3］［1］＋相手先電話番号を入力▶［ ］

memo

- 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
- フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）、SMSなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。SMSの場合には、送信できない旨のエラーが表示されます。
- 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポート

グローバルパスポートについて

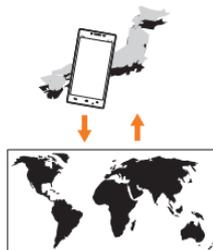
グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとUMTSネットワーク、CDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。
- 海外ではLTEネットワークはご利用になれません。

memo

- 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ ご利用イメージ

1. 国内では、auのネットワークでご利用になれます
2. 本製品のエリア設定を行います（P.269）
3. 世界のGSM ／ UMTS ／ CDMAネットワークでいつもの番号で話せます
4. 帰国したらエリア設定を「日本」へ戻します（P.269）

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（P.268）、「エリアを設定する」（P.269）に従い、各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品を盗難・紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Micro IC Card(LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.25「PINコードについて」）

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、[ ] をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

1 ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [PRL更新(PRLバージョン：●●●)] ▶ [OK]

接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

memo

- PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
- エリアによっては更新できない場合があります。
- 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

本製品を使用するエリアを設定します。

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [システムの選択] ▶ [CDMA設定]**

[CDMA設定]を使用するには、ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [システムの選択] ▶ [ネットワークモード]で[CDMAのみ]を選択する必要があります。

2 **以下の項目をタップ**

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
自動切替（日本／海外）	海外でご利用になる場合（PRLに従って自動設定）に設定します。

memo

- 「CDMA設定」を「自動切替（日本／海外）」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [その他...] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [データローミング]**

「OK」を選択すると、データローミングが有効になります。

memo

- データローミングを有効にするには、あらかじめ「CDMA設定」を「自動切替（日本／海外）」に設定してください。
- LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

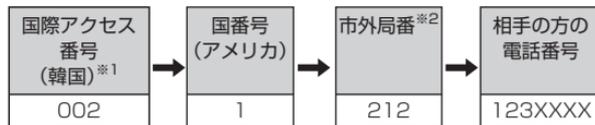
渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面 ▶［電話］

2 国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力 ▶［ ］

例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

- 電話をかける相手がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面 ▶［電話］

2 電話番号を入力

渡航先によって操作が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ	「1」＋市外局番＋相手の方の電話番号
中国	市外局番＋相手の方の電話番号

3 ［ ］

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

- 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

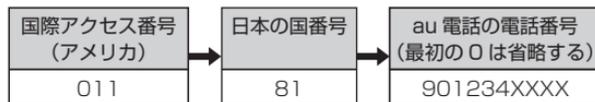
■日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力 ▶ [ ]

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■本製品からのお問い合わせ方法

受付時間：24 時間（通話料無料）

■一般電話からのお問い合わせ方法１（渡航先別電話番号）

北米・中南米	アメリカ（本土）	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	ブラジル	0021-800-00777113
アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
ヨーロッパ	イギリス／イタリア／ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間：24時間（通話料無料）

memo

- ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
- 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
- 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。
- 記載の国は、主な例となります。最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

受付時間：24時間（国際通話料がかかります）

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00 ～ 20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145

国・地域名		音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

- 各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- 渡航先でコレクトコール・フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
- アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
- ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
- 韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分の料金がかかりますのでご注意ください。
- 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分）となります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
- 2012年8月現在の情報です。
- 最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■パケットサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■海外ダブル定額

対象となる海外事業者に接続した場合、1日あたり1,980円で約24.4MBまで、24.4MB以上でも1日あたり最大2,980円でご利用いただけます。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

- 海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます。
- 渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ、カナダ、ハワイ、グアム、サイパン	011
中国、フィリピン、ベトナム、インド、マレーシア、マカオ、ニュージーランド、メキシコ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、オランダ	00
タイ、インドネシア、香港、シンガポール	001
韓国	00700（002）
台湾	002
オーストラリア	0011
ブラジル	0021
ロシア	810

■国番号（カントリーコード）

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アイルランド（IRL）	353	デンマーク（DNK）	45
アメリカ合衆国（USA）	1	ドイツ（DEU）	49
アラブ首長国連邦（ARE）	971	日本（JPN）	81
イギリス（GBR）	44	ニュージーランド（NZL）	64
イスラエル（ISR）	972	ノルウェー（NOR）	47
イタリア（ITA）	39	バミューダ諸島（BMU）	1
インド（IND）	91	ハンガリー（HUN）	36
インドネシア（IDN）	62	バングラデシュ（BGD）	880
オーストリア（AUT）	43	フィリピン（PHL）	63
オランダ（NLD）	31	フィンランド（FIN）	358
カナダ（CAN）	1	ブラジル（BRA）	55
韓国（KOR）	82	フランス（FRA）	33
ギリシャ（GRC）	30	ベトナム（VIE）	84
ジャマイカ（JAM）	1	ベルギー（BEL）	32
シンガポール（SGP）	65	ポルトガル（PRT）	351
スイス（CHE）	41	香港（HKG）	852
スウェーデン（SWE）	46	マカオ（MAC）	853
スペイン（ESP）	34	マレーシア（MYS）	60
タイ（THA）	66	メキシコ（MEX）	52
台湾（TWN）	886	ルクセンブルグ（LUX）	352
中国（CHN）	86	ロシア（RUS）	7

※ ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合のみパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。
- ＳＭＳのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、ＳＭＳの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- ＳＭＳを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりＳＭＳを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのＳＭＳを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なＡＣアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、ａｕ電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

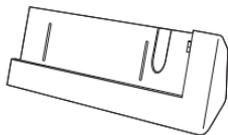
付録・索引

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（LGL21UAA）

■ 電池フタ（LGL21TLA）

■ 電池フタ（LGL21TWA）

■ 卓上ホルダ（LGL21PUA）

■ ACアダプタ（別売）

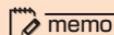
- 共通ACアダプタ03（0301PQA）
- 共通ACアダプタ03ネイビー（0301PBA）
- 共通ACアダプタ03グリーン（0301PGA）
- 共通ACアダプタ03ピンク（0301PPA）
- 共通ACアダプタ03ブルー（0301PLA）
- 共通ACアダプタ04（0401PWA）
- AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）
- AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）
- AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）
- AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）
- AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）

■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）

■ microUSBケーブル（別売）

- microUSBケーブル01（0301HVA）
- microUSBケーブル01ネイビー（0301HBA）
- microUSBケーブル01グリーン（0301HGA）
- microUSBケーブル01ピンク（0301HPA）
- microUSBケーブル01ブルー（0301HLA）

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

memo

- 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- 本製品は、ASYNC ／ FAX通信は非対応です。
- 本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。パソコンから：http://auonlineshop.kddi.com/

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
［キー］を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.40
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.36
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.19
	［キー］を長押ししていますか？	P.43
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.40
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.40
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.43
	au Micro IC Card(LTE) が挿入されていますか？	P.38
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.72
	電話番号入力後、［ ］を選択していますか？	P.72
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.269
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.224
電話がかかってこない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.56
	電源は入っていますか？	P.43
	au Micro IC Card(LTE) が挿入されていますか？	P.38
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.269
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.223
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.224
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.252

こんなときは	ご確認ください	参照
（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.56
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.36
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.269
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.56
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.238
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.224
ディスプレイは点灯するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.225
	マナーモードに設定されていませんか？	P.225
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.41 P.42
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.36
	「USB充電」の設定は有効になっていますか？	P.218
タッチパネルで意図したとおりに操作できない	手袋などをしたままで操作していませんか？	P.47
	爪の先で操作したり、異物を乗せた状態で操作したりしていませんか？	P.47
キー／タッチパネルの操作ができない	「画面ロック」が設定されていませんか？	P.226
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.43
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	P.220
「UIMカードが挿入されていません。」と表示される	au Micro IC Card(LTE) が挿入されていますか？	P.38

こんなときは	ご確認ください	参照
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.40 P.56
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.56
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.16
	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.56
	使用していないアプリケーションや機能を終了・停止してみてください。	P.53 P.177
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.56
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐ消える	「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか？	P.226
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.226
	暗い場所で操作していませんか？ 画面の明るさを自動調整にしている場合、周囲が暗いと画面照明も暗くなります。	P.226
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.72
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.35
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ 奥までしっかり挿入してください。	—
テレビ（ワンセグ）が、映らない、映像が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送波は十分に届いてますか？	P.162
	テレビアンテナを伸ばしていますか？	P.162
	視聴している場所が選択している地域と合っていますか？	P.162
	電池残量が不足していませんか？	P.56 P.161

こんなときは	ご確認ください	参照
連絡先の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、連絡先の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。 また、連絡先のグループ音声着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上連絡先に登録されていませんか？	P.80
画像がウェブページに表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.138
NFC／おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか？	P.40
	「NFC／おサイフケータイロック」が設定されていませんか？	P.209
	本製品のFeliCaマークがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.208
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.217
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.220
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.40 P.140
	本体の温度が高くなっていませんか？	P.140
LG Tag+が認識されない	LG Tag+をLG Tag+の認識エリアにかざしていますか？	P.36

さらに詳しい内容については、お客さまセンターにお問い合わせください。
一般電話からは
0077-7-111（通話料無料）
au 電話からは
局番なしの157（通話料無料）

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
更新は、次の方法があります。

- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- パソコンに接続してソフトウェアを本製品に転送して更新する

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェアの更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（連絡先、メール、フォト、楽曲データなど）や設定情報は変更されません。ただし、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

- ソフトウェア更新中に電池パックを取り外さないでください。電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が実行できない場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

パケット通信またはWi-Fi®ネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、本製品から直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [アップデートを確認]**

新しいソフトウェアがあるか確認します。
ソフトウェアを更新できる場合はソフトウェア更新画面が表示されます。

2 **通信方式を選択**

ソフトウェアのダウンロードに利用する通信方式を選択します。

3 **[ダウンロード]**

新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

4 **[インストールする]**

ソフトウェアの更新が開始されます。
ソフトウェア更新中は本製品の再起動を1、2回ほど行います。

5 **[OK]**

■ ソフトウェア更新をWi-Fi®のみでダウンロードする場合

ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定] ▶ [デバイス情報] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [アップデートを確認] ▶ [Wi-Fi接続でダウンロード] と操作します。Wi-Fi®通信を利用して更新する場合、Wi-Fi®通信が不安定になると自動的にパケット通信に切り替わり、通信料が発生することがありますのでご注意ください。

最新のソフトウェア更新を自動確認する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動確認します。更新がある場合、ステータスバーに が表示されます。

1 **ホーム画面 ▶ [☰] ▶ [システム設定]**

2 **[デバイス情報] ▶ [ソフトウェア更新]**

3 **「自動確認」にチェックを入れる**

memo

- 自動検索するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

付録・索引

パソコンに接続して更新する

LG PC Suite（▶P.235）を利用して本製品のソフトウェアを更新できます。

1 パソコンで、LG PC Suiteを起動する
2 LG PC Suiteで、[デバイス]▶[デバイス接続]▶[USB接続ケーブル]
3 本製品とパソコンをmicroUSBケーブルで接続する
4 USB接続モード画面▶[LGソフトウェア]
5 LG PC Suiteで、[デバイス]▶[デバイスソフトウェアのアップグレード]
6 パソコンの画面に従って操作

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後４年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています(月額399円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card(LTE)について

au Micro IC Card(LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について）

一般電話からは　　フリーコール 0077-7-113（通話料無料）

au電話からは　　局番なしの113（通話料無料）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは フリーコール 0120-925-919（通話料無料）

受付時間9:00～21:00（年中無休）

■ auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">サービス内容</th><th colspan="2">安心ケータイサポートプラス</th></tr>
<tr><th>会員</th><th>非会員</th></tr>
<tr><td rowspan="3">交換用携帯電話機お届けサービス</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td rowspan="3">補償なし</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td rowspan="2">お客様負担額
1回目：5,250円
2回目：8,400円</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損、水漏れ、全損、盗難、紛失</td></tr>
<tr><td rowspan="4">預かり修理</td><td rowspan="2">自然故障</td><td>1年目</td><td>無料</td><td>無料</td></tr>
<tr><td>2年目以降</td><td>無料（3年保証）</td><td rowspan="2">実費負担</td></tr>
<tr><td colspan="2">部分破損</td><td>お客様負担額
上限5,250円</td></tr>
<tr><td colspan="2">水漏れ、全損、盗難、紛失</td><td>補償なし</td><td>補償なし（機種変更対応）</td></tr>
</table>

※ 金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

- au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
  ※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

- 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

データの登録先一覧

データの種類と登録先の対応は次のとおりです。

■ 画像の登録先一覧

データの種類＼登録先		壁紙画像	通話中背景画像	連絡先の連絡先画像	プロフィール画像
JPEG	jpg/jpeg	○	○	○	○
デコレーション絵文字 (JPEG)	jpg/jpeg	○	○	○	○
GIF	gif	○	○	○	○
デコレーション絵文字 (GIF)	gif	○	○	○	○
Image:PNG	png	○	○	○	○
Image:BMP	bmp	○	○	○	○
Image:WBMP	wbmp	○	○	○	○
Image:WEBP	webp	○	○	○	○

○:登録可能

memo

- 著作権保護が設定されているデータは､登録できない場合があります。
- データの種類や形式、容量、サイズにより登録操作は異なります。

■ 音の登録先一覧

データの種類＼登録先		アラーム音	音声着信音	メール受信音※	通知音
Audio:AMR（1 ～ 2ch）	amr	○	○	○	○
Audio:MP3（1 ～ 2ch）	mp3	○	○	○	○
Audio:WMA（1 ～ 2ch）	wma	○	○	▲	○
Audio:ogg（1ch）	ogg	○	○	○	○
Audio:AAC（1 ～ 2ch）	aac	○	○	○	○
Audio:PCM	wav	○	○	○	○
Audio:MIDI	mid	○	○	○	○

○:登録可能　▲:Gmailのみ登録可能
※:Gmail及びEメール（@ezweb.ne.jp）に対応

memo

- 著作権保護が設定されているデータは､登録できない場合があります。
- データの種類や形式､容量によっては､登録できない場合があります。
- データの種類により登録操作は異なります。

表示／再生できるムービー・オーディオ・S画像

データの種類	拡張子
ムービー	mp4, 3gp, wmv, avi, mkv, flv, asf, m4v
オーディオ	mp3, m4a, wav, amr, wma, aac, mid, mka
画像	jpeg, jpg, png, bmp, wbmp, gif, webp

- サイズによっては表示／再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ		約4.7インチ、約1677万色、IPS液晶
		1280×720ドット（HD）
質量		約143g（電池パック含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）		約69mm × 137mm × 9.6mm（最厚部10.3mm）
連続通話時間	国内	約770分
	海外（GSM）	約610分
	海外（CDMA）	約880分:アメリカ本土／中国本土／ハワイ • 対象国は2012年9月時点
連続待受時間※	国内	約420時間（LTE使用時） 約440時間（3G使用時）
	海外（GSM）	約440時間
	海外（CDMA）	約420時間：アメリカ本土／中国本土 約460時間：ハワイ • 対象国は2012年9月時点
連続Wi-Fi®テザリング時間		約310分（LTE使用時） 約400分（3G使用時）
テザリング同時接続台数		10台

※ 連続待受時間は、静止待受け状態での測定値です。

付録・索引

memo

- 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 充電時間

ACアダプタ	約110分（共通ACアダプタ04（別売）使用時）
DCアダプタ	約280分（共通DCアダプタ03（別売）使用時）

■ 無線LAN（Wi-Fi®）

通信方式	IEEE802.11a/b/g/n準拠
使用周波数帯	2.4GHz帯／5GHz帯

■ Bluetooth®

通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.4.0 BLE
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class1
通信距離※1	見通しの良い状態で最大10m
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) OPP(Object Push Profile) SPP(Serial Port Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)※3 HID(Human Interface Device Profile)
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

■ SMS ／ Eメール

SMS	SMS センター	保存件数	保存件数：無制限 保存期間：SMSセンターに蓄積されてから72時間まで
Eメール	新規作成	宛先	30件（To ／ Cc ／ Bccを含む）
		件名	全角50 ／半角100文字
		本文	全角約5,000 ／半角10,000文字
		添付データ	最大5件（合計2MB以下）
	受信	件名	全角約50 ／半角約100文字
		本文	全角約5,000 ／半角約10,000文字
		添付データ	最大2MB
	サーバ	保存容量	12MBまたは最大500件
		保存期間	30日
受信ボックス		保存件数	最大2,000件（Eメール）※
			最大1,000件（SMS）※
送信ボックス		保存件数	最大1,000件※

※ 本体の空き容量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

■ アウトカメラ

撮影素子		CMOS	
有効画素数		約1300万画素	
フォト	撮影サイズ	W1M 1,536×864	4倍ズーム
		1M 1,280×960	
		W3M 2,304×1,296	
		3M 2,048×1,536	
		5M 2,560×1,920	
		W6M 3,264×1,836	
		8M 3,264×2,448	
		13M 4,208×3,120	
ムービー	撮影サイズ	QCIF 176×144	4倍ズーム
		QVGA 320×240	
		VGA 640×480	
		TV 720×480	
		HD 1,280×720	
		Full HD 1,920×1,088	

■ インカメラ

撮影素子		CMOS	
有効画像数		約130万画素	
フォト	撮影サイズ	VGA 640×480	ズームなし
		W1M 1,280×720	
		1M 1,280×960	
ムービー	撮影サイズ	QCIF 176×144	ズームなし
		QVGA 320×240	
		VGA 640×480	
		TV 720×480	
		HD 1,280×720	

■ 本体内の容量

保存可能容量	約11GB

■ テレビ（ワンセグ）

連続視聴可能時間	約6時間50分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【LGL21】の携帯電話は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準[※1]ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR : Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.380W/kgです。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI 推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA) (別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します[※2]。

KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○auのホームページ:
http://www.au.kddi.com/
○LG Electronics Inc.のホームページ:
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.46 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.71 W/kg.

Body-worn Operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID ZFLGL21.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

■おサイフケータイ®対応サービスについて

- おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
- おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

■FeliCaチップ内のデータの取扱い等について

- お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
- FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
- おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。

■ FeliCaチップの固有の番号等の通知について

- おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
- 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
- auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。

■ 不正利用について

- お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。但し、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
- おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。
- 機種変更や廃棄等によりおサイフケータイ®のご利用を中止される場合には、不正に利用されることを防ぐため、必ずFeliCaチップ内のデータを全て削除してください。なお、かかるデータの削除の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ その他

- おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
- おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内のデータの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

NFC サービスご利用上の注意

■ NFCについて

- NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。主に、非接触ICカード機能、リーダー／ライター機能、機器間通信機能などがあります。
- NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau Micro IC Card(LTE)へ、サービスのご利用に必要となるデータ（以下、NFCデータといいます）を書き込みする場合があります。
- NFC機能を使った各サービスは、サービスプロバイダー（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供する対応サービス（以下、NFCサービスといいます）をご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。NFCサービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
- SPが提供するNFCサービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- LG Tag+に本製品本体のLG Tag+認識エリアをかざすことでご利用になれます（▶P.35）。他のNFCカードとは、認識エリアが異なりますのでご注意ください。

■ NFCデータの取り扱い等について

- お客さまがNFCサービスをご利用するにあたり、お客さまのau電話に挿入されたau Micro IC Card(LTE)へのNFCデータの書き込み、書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
- au電話並びにau Micro IC Card(LTE)内のNFCデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
- au電話本体並びにau Micro IC Card(LTE)の故障等により、NFCデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- SPがお客さまに提供するNFCデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるサービスの提供条件によります。NFCサービスのご利用開始前に必ず、当該NFCサービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりNFCデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他NFCデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、NFCサービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにNFCサービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社は、いかなる場合もNFCデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他への移し替え等を行うことはできません。

■ au電話並びにau Micro IC Card(LTE)固有の番号等の通知について

- NFCサービスによっては、お客さまのau電話及びau Micro IC Card(LTE)を特定するために、当該のau電話並びにau Micro IC Card(LTE)の固有番号が、当該SPに送信される場合があります。
- 当社は、SPがNFCサービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのau電話並びにau Micro IC Card(LTE)固有の番号と、NFCデータが消去されているか否か、及びau電話並びにau Micro IC Card(LTE)の解約処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

■ 不正利用について

- お客さまのau電話並びにau Micro IC Card(LTE)の紛失・盗難等により、NFCデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。NFCデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 万一、au電話並びにau Micro IC Card(LTE)の紛失・盗難等があった場合であっても、当社ではNFC機能を停止させることはできません。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

■その他

- NFCサービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ、他のau電話にau電話をかざしてNFCサービスを利用される際には通信料は発生しません。
- NFCサービスのご利用開始後に契約名義又は電話番号の変更があった場合、NFCサービスのご利用及びお客さまご自身でのNFCデータの削除ができなくなることがあります。なお、当該NFCサービスのデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店によりau Micro IC Card(LTE)内の全てのNFCデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
- 電池パックを外した場合は、NFCサービスをご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。
- 機内モードまたは、電波OFFモード設定中は、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG. Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play、Google Playロゴ、Google Latitude、Playムービー、Gmail、Googleマップ、Googleマップナビ、Google+、Googleプレイス、Googleウォレット、Googleトーク、YouTubeおよびYouTubeロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
- © Gracenote, Inc. 2012-present
- 「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。

  Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:

  http://www.gracenote.com/

  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:

  Copyright© 2000 - present Gracenote.

  Gracenote Software:

  Copyright© 2000 - present Gracenote.

  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:

  #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、

  #6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、

  およびその他の取得済みまたは申請中の特許。

  一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。

  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。

  GracenoteのロゴとロゴタイプPowered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

  Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:

  http://www.gracenote.com/corporate/

- 「おサイフケータイ®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

  FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- ♫は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Copyright © 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」「マイミク」は、株式会社ミクシィの登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- 本製品には、絵文字画像として株式会社ＮＴＴドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks & DTS 2.0 is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA,L.L.C.にお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

■Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。
お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。
お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

付録・索引

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。
Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。

Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。**

  Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。
株式会社ワイヤ･アンド･ワイヤレス（以下「当社」といいます。）は、この利用規約（以下「本規約」といいます。）に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者（以下「KDDI等」といいます。）の通信サービスの契約者（以下の（3）項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。）に対して、『au Wi-Fi SPOT 』（以下「本サービス」といいます）を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

（1）当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの（以下「お客さま」といいます。）はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

（2）当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

（3）本サービスの提供対象者は、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。

（4）本サービスの提供は（3）項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

（5）本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。
お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

（6）国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
①お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
②お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
③当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
④お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等（知的財産権その他の権利の侵害等をいう。）の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
⑤お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。

(7) 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。
　1）利用可能エリア（国、地域等）はWeb等に掲載します。
　2）通信料金は、別に定める「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
　3）国際ローミングサービスの通信料金は、KDDI等から請求します。

(8) 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。

(9) お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

(10) 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。

(11) 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
- サービスの紹介、提案、および申込受付のため
- サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
- サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
- サービスの提供に関する妥当性の判断のため
- 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
- お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
- 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
- ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
- サービスの終了後の管理のため
- その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

(12) 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本規約は、2011年6月30日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年3月1日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年7月20日から実施します。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの 157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの 113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（通話料無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）

フリーコール 0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から
フリーコール 0120-925-919

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。取扱説明書リサイクルにご協力ください。このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

発売元　KDDI株式会社
　　　　沖縄セルラー電話株式会社
輸入元　LG Electronics Japan株式会社
製造元　LG Electronics Inc.

2012年10月 第1版
MBM63840001